

木曾福島都市計画
基礎調査報告書

(概要版)

令和3年3月
長野県 木曾町

木曾福島都市計画基礎調査

目 次

1. 人 口

C0101-1	人口総数及び増加数	1
C0101-2	年齢・性別人口	2
C0103	将来人口	4
C0104	人口増減	6
C0105	通勤・通学移動	8

2. 産 業

C0201-1	産業大分類別就業者数	10
■	産業大分類別人口の推計	14
C0201-2	職業大分類別就業者数	15
C0202-1	産業大分類別事業所・従業者数・売上金額	17
C0202-2	産業中分類別工業出荷額	21
■	工業出荷額の推計	24
C0202-3	産業中分類別商業販売額	25
■	商業販売額の推計	29

3. 土地利用

C0302	土地利用現況	30
C0304	宅地開発状況	32
C0305	農地転用状況	32
C0307	新築動向	33
C0308	条例・協定	35

4. 建 物

C0401-2②	地区別木造率現況表	36
C0401-3, -4	地区別建蔽率・容積率現況	38
C0401-5	地区別・用途別の建物延べ床面積現況	40
C0401-6②	建物年齢別現況	41
C0402	大規模小売店舗等の立地状況	43

5. 都市施設		
C0501① 都市施設調書	_____	43
6. 交通		
C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	_____	44
C0603 鉄道・路面電車等の状況	_____	46
7. 地価		
C0701 地価の状況	_____	47
8. 自然的環境等		
C0802 気象状況	_____	48
C0803 緑の状況	_____	50
9. 災害		
C0901 災害の発生状況	_____	51
C0902 防災拠点・避難場所	_____	51

-
- 項目の番号については都市計画基礎調査実施要綱と同一の番号です。
 - 数字の単位未満は、四捨五入を原則としました。したがって総数と内容の計が一致しない場合もあります。
 - 表中の符号は、次のとおりです。
 - (-) 該当数字なし
 - (x) 統計法により公表をひかえたもの
 - (0) 単位未満
 - (△) マイナス
 - (…) 未収、未調査

1. 人 口

C0101-1 人口総数及び増加数

本町の平成27年の総人口は11,826人で、平成22年国勢調査の総人口12,743人から917人減少している。

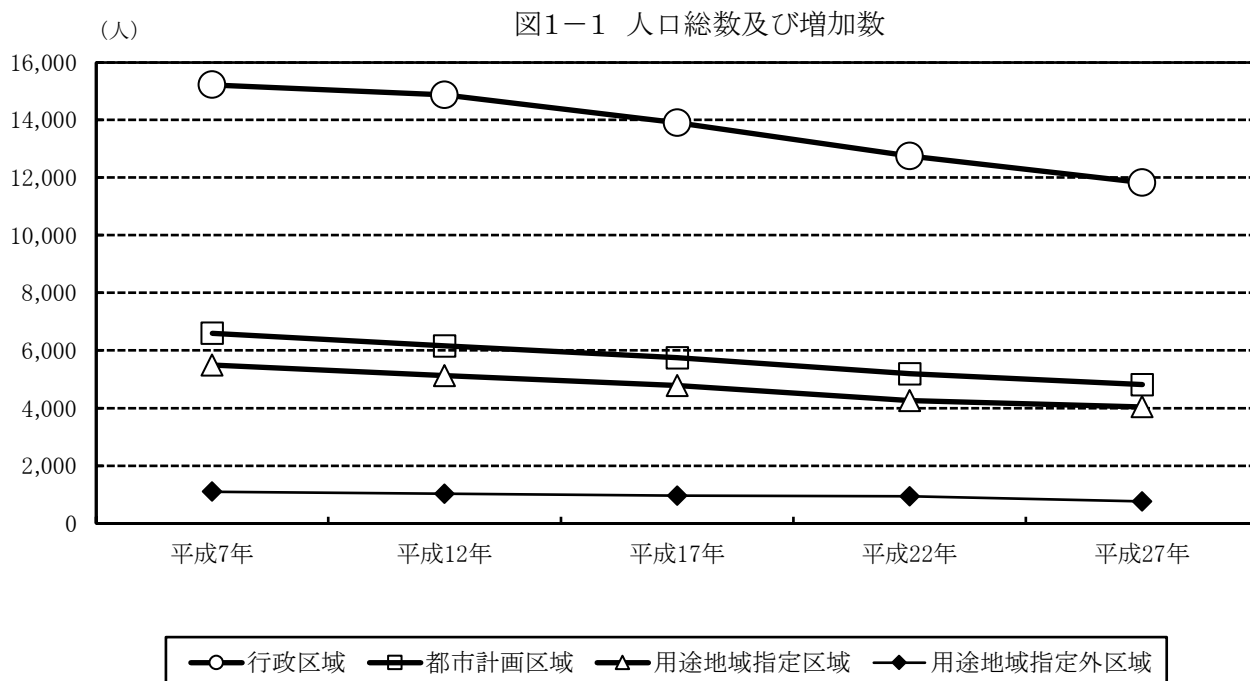
平成27年における区域別の人口構成をみると、都市計画区域内の人口は4,817人(全人口の40.7%)で、用途地域指定区域の人口は4,048人(全人口の34.2%)、用途地域指定外区域の人口は769人(全人口の6.5%)である。平成22年から平成27年の人口の推移を区域別に見ると、行政区域で-7.2%、都市計画区域で-7.4%、用途地域指定区域で-5.0%、用途地域指定外区域で-18.0%の人口増減率となっている。

表1-1 人口総数及び増加数

区 域	平成7年 人口	7年～12年 の増減		平成12年 人口	12年～17年 の増減		平成17年 人口	17年～22年 の増減		平成22年 人口	22年～27年 の増減		平成27年 人口
		人口	率		人口	率		人口	率		人口	率	
行政区域	人 15,221	人 △ 355	% △ 2.3	人 14,866	人 △ 966	% △ 6.5	人 13,900	人 △ 1,157	% △ 8.3	人 12,743	人 △ 917	% △ 7.2	人 11,826
都市計画区域	6,604	△ 447	△ 6.8	6,157	△ 411	△ 6.7	5,746	△ 546	△ 9.5	5,200	△ 383	△ 7.4	4,817
用途地域 指定区域	5,497	△ 373	△ 6.8	5,124	△ 336	△ 6.6	4,788	△ 526	△ 11.0	4,262	△ 214	△ 5.0	4,048
用途地域 指定外区域	1,107	△ 74	△ 6.7	1,033	△ 75	△ 7.3	958	△ 20	△ 2.1	938	△ 169	△ 18.0	769

(注)人口集中地区境界未設定

資料:国勢調査(各年10月1日)



C0101-2 年齢・性別人口

平成27年の年齢別人口は、年少人口(0～14歳)は1,205人(行政人口の10.2%)、生産年齢人口(15～64歳)は5,993人(行政人口の50.7%)、老年人口(65歳以上)は4,586人(行政人口の38.8%)となっており、老年人口比は県平均(29.8%)や木曾郡部平均(39.5%)と比べて高い割合となっている。

年少人口及び生産年齢人口が減少傾向にあり、年少人口は20年間で1,019人、生産年齢人口は3,469人減少している。それに対し老年人口は伸びており、20年間で1,051人増加している。

年齢構成指数では、平成7年から平成27年までの20年間で年少人口指数は3.4%の減少、老年人口指数は39.1%の増加となっている。老年化指数については平成7年の158.9%に対し、平成27年には221.7%増加の380.6%と高い値を示している。

表1-2 年齢・性別人口(行政区)

(単位:人)

階層	平成7年			平成12年			平成17年			平成22年			平成27年		
	総計	男	女	総計	男	女	総計	男	女	総計	男	女	総計	男	女
0～4	714	361	353	607	302	305	504	270	234	411	225	186	352	164	188
5～9	690	356	334	675	339	336	558	279	279	476	247	229	393	209	184
10～14	820	429	391	682	349	333	638	326	312	526	267	259	460	239	221
年少人口	2,224	1,146	1,078	1,964	990	974	1,700	875	825	1,413	739	674	1,205	612	593
15～19	804	431	373	727	378	349	562	301	261	522	274	248	454	238	216
20～24	645	321	324	513	259	254	425	215	210	320	179	141	338	173	165
25～29	753	375	378	791	411	380	581	284	297	444	223	221	418	215	203
30～34	825	430	395	794	415	379	727	397	330	569	300	269	438	216	222
35～39	819	442	377	843	444	399	733	388	345	664	344	320	537	295	242
40～44	1,000	550	450	806	437	369	800	424	376	702	362	340	663	341	322
45～49	1,174	617	557	1,008	555	453	810	450	360	775	421	354	678	353	325
50～54	1,072	533	539	1,198	645	553	984	534	450	784	437	347	754	416	338
55～59	1,174	576	598	1,028	493	535	1,186	618	568	964	514	450	768	412	356
60～64	1,196	608	588	1,160	557	603	1,017	464	553	1,118	573	545	945	493	452
生産年齢人口	9,462	4,883	4,579	8,868	4,594	4,274	7,825	4,075	3,750	6,862	3,627	3,235	5,993	3,152	2,841
65～69	1,188	535	653	1,145	571	574	1,089	509	580	967	437	530	1,102	563	539
70～74	908	343	565	1,088	472	616	1,074	523	551	1,013	458	555	914	399	515
75～79	711	267	444	805	291	514	964	397	567	950	442	508	897	386	511
80～84	431	152	279	561	183	378	655	217	438	805	300	505	802	351	451
85～90	214	68	146	291	93	198	406	103	303	444	116	328	545	173	372
90～	83	21	62	144	32	112	187	38	149	279	57	222	326	70	256
老年人口	3,535	1,386	2,149	4,034	1,642	2,392	4,375	1,787	2,588	4,458	1,810	2,648	4,586	1,942	2,644
年齢不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	7	3	42	29	13
総計	15,221	7,415	7,806	14,866	7,226	7,640	13,900	6,737	7,163	12,743	6,183	6,560	11,826	5,735	6,091

資料：国勢調査(各年10月1日)

図1-2 年齢・性別人口(行政区)

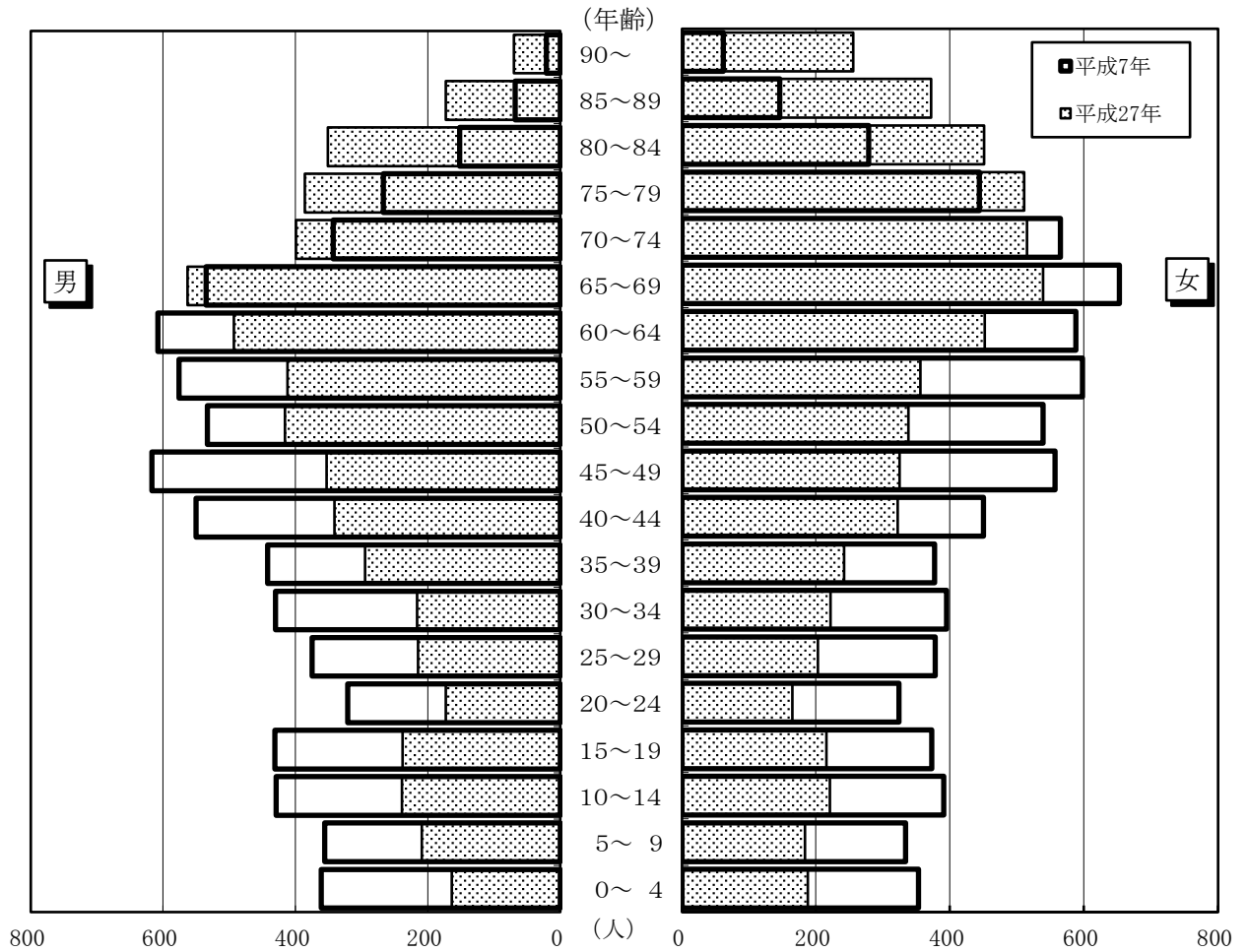


表1-3 年齢構成指数の推移 (単位:%)

	年少人口 指数	老年人口 指数	従属人口 指数	老年化 指数
平成7年	23.5	37.4	60.9	158.9
平成12年	22.1	45.5	67.6	205.4
平成17年	21.7	55.9	77.6	257.4
平成22年	20.6	65.0	85.6	315.5
平成27年	20.1	76.5	96.6	380.6

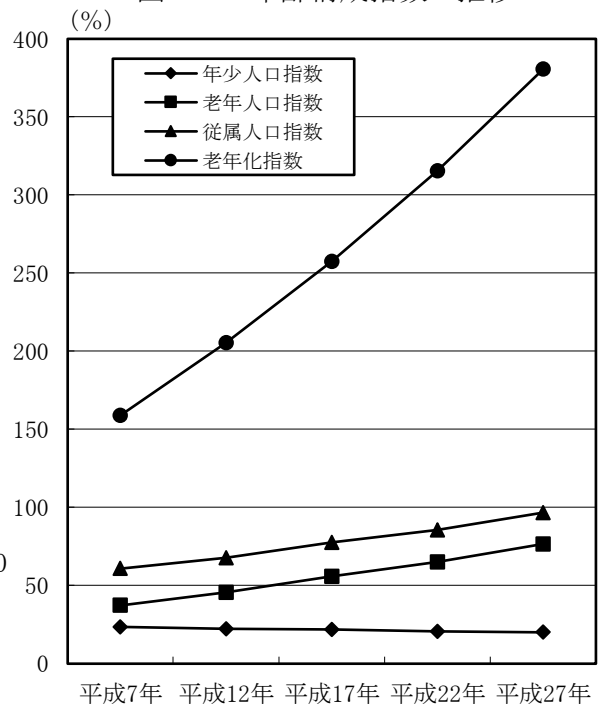
年少人口指数=年少人口/生産年齢人口×100

老年人口指数=老年人口/生産年齢人口×100

従属人口指数=(年少人口+老年人口)/生産年齢人口×100

老年化指数=老年人口/年少人口×100

図1-3 年齢構成指数の推移



C0103 将来人口(年齢・性別将来人口)

平成22年と平成27年の5歳階級別年齢人口を基に行った、日本の市区町村別将来推計人口〔国立社会保障・人口問題研究所(平成30年推計)〕による10年後、20年後の推計結果は、令和7年9,842人、令和17年で8,074人と推計され、各年とも人口が減少するという結果になった。

平成27年から令和17年までの増減率は、令和7年で-16.8%(1,984人減少)、令和17年で-31.7%(3,752人減少)である。

図1-4 年齢別人口の将来推計

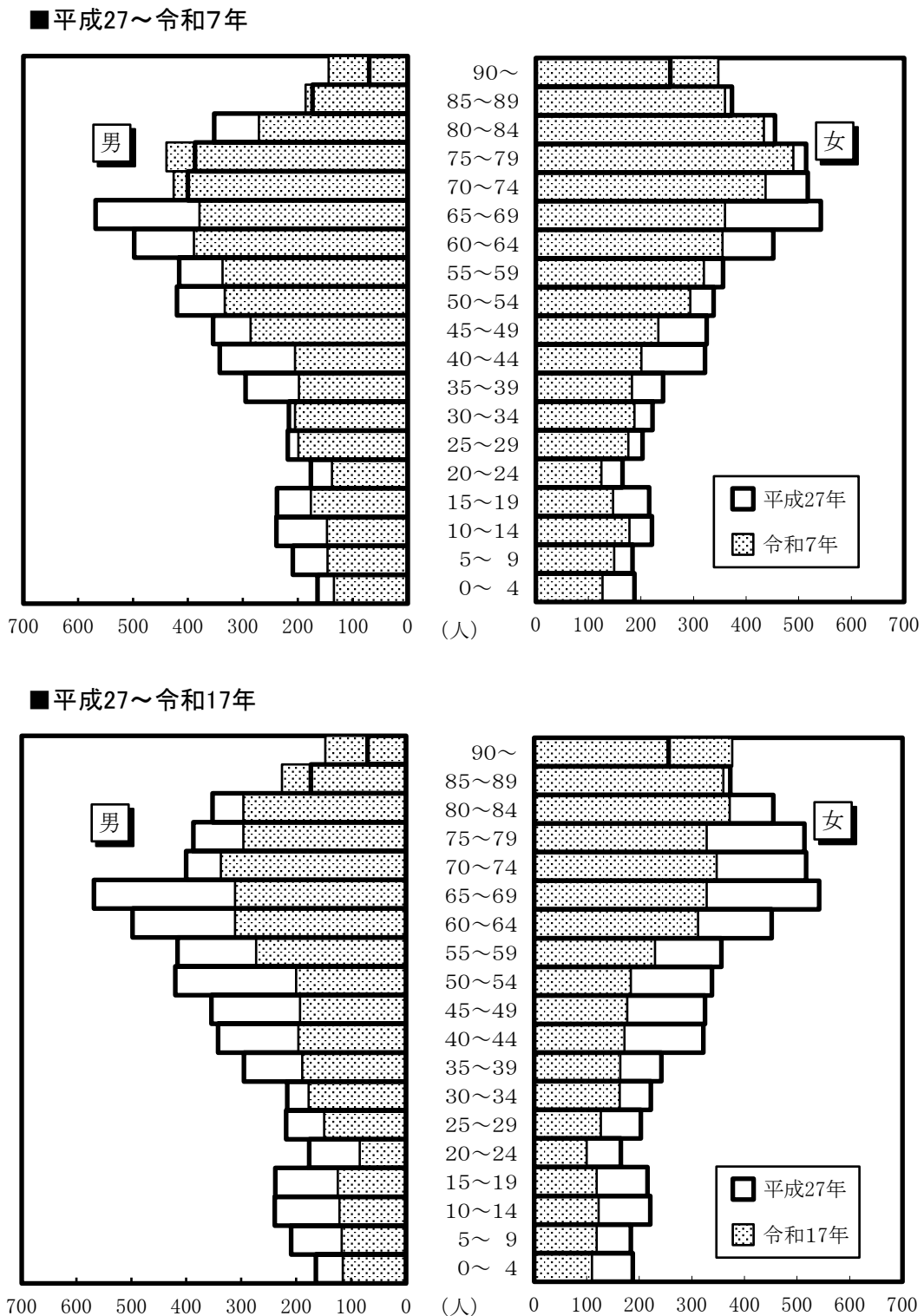


表1-4 年齢・性別将来人口

単位：人

年 階層	推 計 値																				
	実 績			令和2年			令和7年			令和12年			令和17年			令和22年			令和27年		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
0～4	352	164	188	307	157	150	261	134	127	244	125	119	225	115	110	203	104	99	181	93	88
5～9	393	209	184	336	152	184	295	146	149	252	125	127	236	117	119	218	108	110	198	98	100
10～14	460	239	221	380	202	178	325	147	178	286	142	144	244	121	123	228	113	115	212	105	107
15～19	454	238	216	392	209	183	323	176	147	275	128	147	243	124	119	208	106	102	194	99	95
20～24	341	176	165	303	156	147	263	138	125	216	116	100	184	84	100	162	81	81	138	69	69
25～29	421	218	203	402	217	185	375	199	176	335	177	158	276	149	127	235	108	127	208	105	103
30～34	438	216	222	410	207	203	393	205	188	377	196	181	340	177	163	281	150	131	240	109	131
35～39	537	295	242	406	206	200	381	198	183	367	197	170	353	189	164	321	172	149	265	145	120
40～44	664	342	322	537	293	244	406	205	201	382	197	185	368	196	172	356	189	167	323	172	151
45～49	679	354	325	642	334	308	519	286	233	392	200	192	370	193	177	358	193	165	346	186	160
50～54	758	420	338	663	353	310	627	333	294	509	286	223	384	200	184	362	193	169	351	193	158
55～59	772	416	356	747	400	347	657	337	320	622	319	303	503	273	230	381	191	190	359	184	175
60～64	950	498	452	766	403	363	744	389	355	658	329	329	623	311	312	503	267	236	382	187	195
65～69	1,110	568	542	915	467	448	739	379	360	721	367	354	639	311	328	606	294	312	489	253	236
70～74	917	400	517	1,046	518	528	863	426	437	699	347	352	684	337	347	608	286	322	577	271	306
75～79	901	387	514	813	336	477	929	439	490	768	362	406	624	296	328	612	288	324	547	246	301
80～84	807	352	455	771	308	463	705	271	434	807	358	449	668	296	372	547	244	303	540	240	300
85～89	546	173	373	556	208	348	546	186	360	508	166	342	586	226	360	486	187	299	403	157	246
90～	326	70	256	431	109	322	491	144	347	520	151	369	524	147	377	585	179	406	547	169	378
不詳	0	0	0																		
総計	11,826	5,735	6,091	10,823	5,235	5,588	9,842	4,738	5,104	8,938	4,288	4,650	8,074	3,862	4,212	7,260	3,453	3,807	6,500	3,081	3,419

資料：日本の市区町村別将来推計人口〔国立社会保障・人口問題研究所（平成30年推計）〕

C0104 人口増減

本町の平成7年から令和元年までの人口増減の推移をみると、各年で死亡者数が出生数を上回っているため自然増は減少している。出生数は平成7年の122人と比較すると、令和元年は44人であり63.9%減少し、死亡者数は平成7年の149人と比較すると、令和元年は195人と増加傾向にある。

社会増は、平成11年、平成14年に転入者数が転出者数を上回り増加を示したが、それ以外の年では転出者が転入者を上回っており、社会増は減少となっている。

平成22年以降、社会増の減少より自然増の減少が上回っていることから、近年の人口停滞の要因として自然増の減少による影響が大きい。

表1-5 人口増減の内訳 (単位:人)

行政区	年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
		出生数	122	127	121	123	101	81	85	92	71	85	81	85
死亡者数	149	170	183	173	166	154	181	206	152	187	154	181	206	
自然増減	-27	-43	-62	-50	-65	-73	-96	-114	-81	-102	-73	-96	-114	
転入者数	842	794	860	827	855	784	857	839	851	731	690	506	558	
転出者数	977	865	912	833	810	894	931	804	990	850	891	650	622	
社会増減	-135	-71	-52	-6	45	-110	-74	35	-139	-119	-201	-144	-64	
その他増減	25	2	3	6	7	-10	-3	5	2	1	0	-1	-5	
人口増減計	-137	-112	-111	-50	-13	-193	-173	-74	-218	-220	-274	-241	-183	
累計	-926	-1,038	-1,149	-1,199	-1,212	-1,405	-1,578	-1,652	-1,870	-2,090	-2,364	-2,605	-2,788	
都市計画区域	出生数	53	55	53	53	44	34	35	38	29	35	33	35	38
	死亡者数	65	74	79	75	72	64	75	85	63	77	64	75	85
	自然増減	-12	-19	-26	-22	-28	-30	-40	-47	-34	-42	-31	-40	-47
	転入者数	365	345	373	359	371	325	355	347	352	303	285	209	230
	転出者数	424	375	396	362	352	370	385	333	410	352	368	268	257
	社会増減	-59	-30	-23	-3	19	-45	-30	14	-58	-49	-83	-59	-27
	人口増減計	-71	-49	-49	-25	-9	-75	-70	-33	-92	-91	-114	-99	-74
	累計	-445	-494	-543	-568	-577	-652	-722	-755	-847	-938	-1,052	-1,151	-1,225
用途地域指定区域	出生数	44	46	44	44	36	28	29	32	24	29	28	29	32
	死亡者数	54	61	66	62	60	53	62	71	52	65	53	62	71
	自然増減	-10	-15	-22	-18	-24	-25	-33	-39	-28	-36	-25	-33	-39
	転入者数	304	287	310	299	309	270	296	289	294	252	237	174	192
	転出者数	353	312	329	301	292	308	321	277	342	293	307	224	214
	社会増減	-49	-25	-19	-2	17	-38	-25	12	-48	-41	-70	-50	-22
	人口増減計	-59	-40	-41	-20	-7	-63	-58	-27	-76	-77	-95	-83	-61
	累計	-371	-411	-452	-472	-479	-542	-600	-627	-703	-780	-875	-958	-1,019
行政区	年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	
	出生数	71	85	72	79	68	80	75	63	56	49	51	44	
	死亡者数	152	187	186	233	198	204	193	214	247	212	197	195	
	自然増減	-81	-102	-114	-154	-130	-124	-118	-151	-191	-163	-146	-151	
	転入者数	484	453	470	432	426	381	369	382	374	335	345	317	
	転出者数	638	610	493	469	518	466	443	420	429	440	442	408	
	社会増減	-154	-157	-23	-37	-92	-85	-74	-38	-55	-105	-97	-91	
	その他増減	4	-2	7	6	1	4	1	3	-3	1	-3	0	
	人口増減計	-231	-261	-130	-185	-221	-205	-191	-186	-249	-267	-246	-242	
	累計	-3,019	-3,280	-3,410	-3,595	-3,816	-4,021	-4,212	-4,398	-4,647	-4,914	-5,160	-5,402	
都市計画区域	出生数	29	35	29	32	28	33	31	26	23	20	21	18	
	死亡者数	63	77	76	95	81	83	79	87	101	86	80	79	
	自然増減	-34	-42	-47	-63	-53	-50	-48	-61	-78	-66	-59	-61	
	転入者数	200	187	192	176	174	155	151	155	152	136	140	129	
	転出者数	263	252	201	191	211	190	181	171	175	179	180	166	
	社会増減	-63	-65	-9	-15	-37	-35	-30	-16	-23	-43	-40	-37	
	人口増減計	-97	-107	-56	-78	-90	-85	-78	-77	-101	-109	-99	-98	
	累計	-1,322	-1,429	-1,485	-1,563	-1,653	-1,738	-1,816	-1,893	-1,994	-2,103	-2,202	-2,300	
用途地域指定区域	出生数	24	29	24	26	23	27	25	22	19	17	17	15	
	死亡者数	52	64	62	78	66	68	64	73	84	73	67	67	
	自然増減	-28	-35	-38	-52	-43	-41	-39	-51	-65	-56	-50	-52	
	転入者数	166	156	157	144	142	127	123	131	128	115	118	108	
	転出者数	219	210	165	157	173	156	148	144	147	150	151	140	
	社会増減	-53	-54	-8	-13	-31	-29	-25	-13	-19	-35	-33	-32	
	人口増減計	-81	-89	-46	-65	-74	-70	-64	-64	-84	-91	-83	-84	
	累計	-1,100	-1,189	-1,235	-1,300	-1,374	-1,444	-1,508	-1,572	-1,656	-1,747	-1,830	-1,914	

注:都市計画区域、用途地域指定区域の数値は、行政区に占める人口の割合により按分した数値。

:平成7年の累計値は平成2年からの累計。

資料:毎月人口異動調査(各年10月1日)

図1-5 人口増減の累計

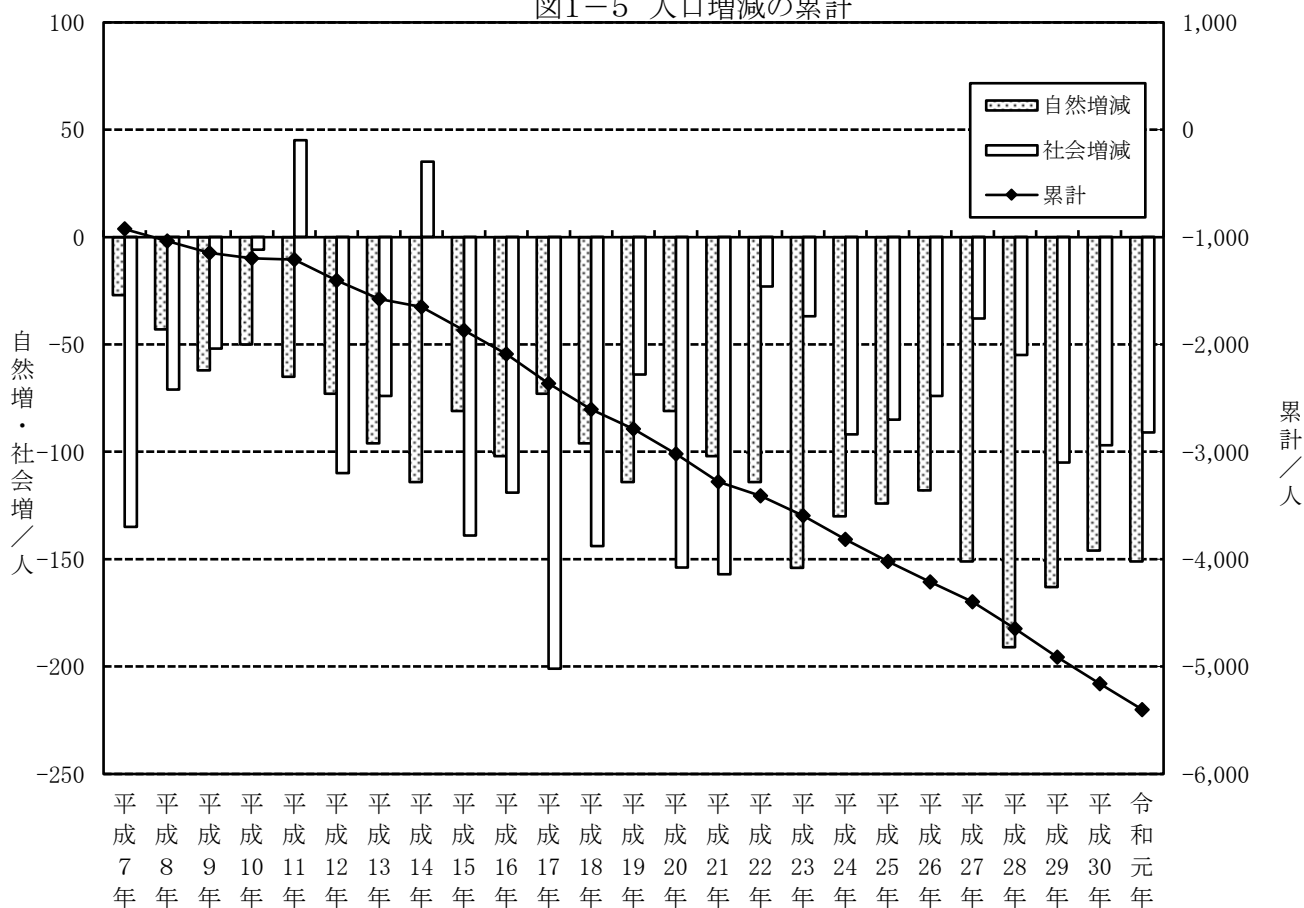
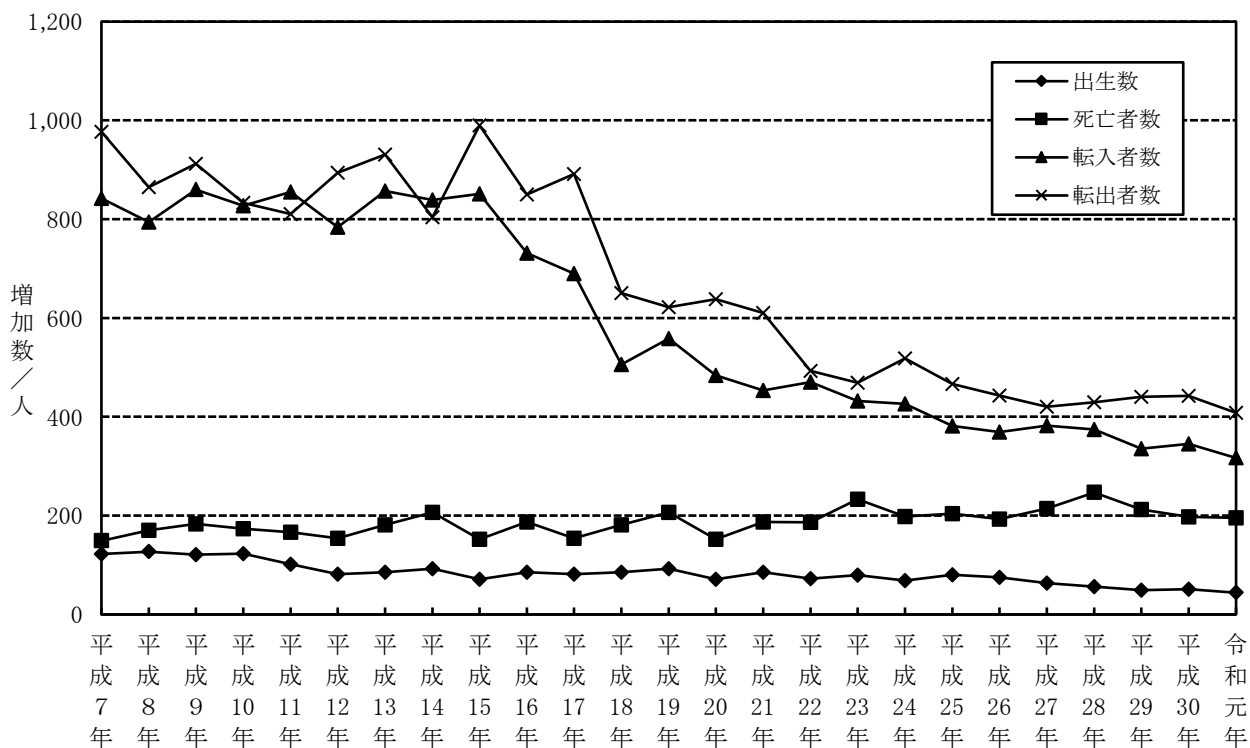


図1-6 人口増減の内訳



C0105 通勤・通学移動(流出・流入別人口)

平成27年の就業者数の流出・流入状況は、流出率18.2%、流入率23.5%で、流入数が流出数を上回っている。流出先は上松町405人、大桑村120人、塩尻市102人の順となっている。流入先においては、上松町390人、木祖村284人、塩尻市208人の順となっている。

平成27年の通学者の流出・流入状況は、流出率24.3%、流入率46.5%で、流入数が流出率を上回っている。流出先は松本市36人、南木曾町19人、塩尻市14人の順となっている。流入先においては、大桑村77人、上松町72人、木祖村43人の順となっている。

表1-6 通勤・通学者流出入状況表(就業者)

年	流出			流入			従/常 就業者比
	常住地による就業者数 人	就業者数 人	流出率 %	従業地による就業者数 人	就業者数 人	流入率 %	
平成7年	4,653	1,001	21.5	5,434	1,782	32.8	116.8
平成12年	4,381	935	21.3	5,171	1,725	33.4	118.0
平成17年	4,006	1,021	25.5	4,633	1,648	35.6	115.7
平成22年	6,353	1,159	18.2	6,828	1,610	23.6	107.5
平成27年	6,107	1,114	18.2	6,531	1,536	23.5	106.9

資料：国勢調査(各年10月1日)

表1-7 流出先・流入先別人口の推移(就業者)

年	流出先														
	市町村名	流出者数 人	流出率 %	市町村名	流出者数 人	流出率 %	市町村名	流出者数 人	流出率 %	市町村名	流出者数 人	流出率 %	市町村名	流出者数 人	流出率 %
平成7年	日義村	263	5.7	上松町	233	5.0	木祖村	105	2.3	松本市	85	1.8	三岳村	58	1.2
平成12年	日義村	230	5.2	上松町	207	4.7	木祖村	93	2.1	三岳村	88	2.0	松本市	82	1.9
平成17年	上松町	271	6.8	日義村	221	5.5	三岳村	85	2.1	大桑村	68	1.7	塩尻市	66	1.6
平成22年	上松町	437	6.9	塩尻市	115	1.8	木祖村	110	1.7	大桑村	101	1.6	松本市	100	1.6
平成27年	上松町	405	6.6	大桑村	120	2.0	塩尻市	102	1.7	木祖村	97	1.6	松本市	90	1.5

年	流入先														
	市町村名	流入者数 人	流入率 %	市町村名	流入者数 人	流入率 %	市町村名	流入者数 人	流入率 %	市町村名	流入者数 人	流入率 %	市町村名	流入者数 人	流入率 %
平成7年	上松町	391	7.2	日義村	326	6.0	三岳村	193	3.6	木祖村	190	3.5	大桑村	135	2.5
平成12年	上松町	356	6.9	日義村	327	6.3	木祖村	174	3.4	三岳村	168	3.2	塩尻市	110	2.1
平成17年	上松町	332	7.2	日義村	309	6.7	木祖村	193	4.2	塩尻市	184	4.0	三岳村	138	3.0
平成22年	上松町	408	6.0	木祖村	313	4.6	塩尻市	238	3.5	大桑村	141	2.1	松本市	107	1.6
平成27年	上松町	390	6.0	木祖村	284	4.3	塩尻市	208	3.2	大桑村	112	1.7	松本市	94	1.4

資料：国勢調査(各年10月1日)

表1-8 通勤・通学者流出入状況表(通学者)

年	流出			流入			従/常 通学者比
	常住地による通学者数 人	通学者数 人	流出率 %	従業地による通学者数 人	通学者数 人	流入率 %	
平成7年	491	53	10.8	1,125	687	61.1	229.1
平成12年	387	51	13.2	1,004	668	66.5	259.4
平成17年	290	36	12.4	811	557	68.7	279.7
平成22年	489	91	18.6	797	397	49.8	163.0
平成27年	445	108	24.3	632	294	46.5	142.0

資料：国勢調査(各年10月1日)

表1-9 流出先・流入先別人口の推移(通学者)

年	流出先														
	市町村名	流出者数 人	流出率 %	市町村名	流出者数 人	流出率 %	市町村名	流出者数 人	流出率 %	市町村名	流出者数 人	流出率 %	市町村名	流出者数 人	流出率 %
平成7年	松本市	32	6.5	南木曾町	11	2.2	塩尻市	5	1.0	上松町	2	0.4	岡谷市	1	0.2
平成12年	松本市	33	8.5	南木曾町	8	2.1	塩尻市	6	1.6	上松町	1	0.3	-	0	0.0
平成17年	松本市	20	6.9	南木曾町	7	2.4	上松町	4	1.4	塩尻市	2	0.7	-	0	0.0
平成22年	松本市	47	9.6	南木曾町	17	3.5	塩尻市	9	1.8	上松町	3	0.6	茅野市	2	0.4
平成27年	松本市	36	8.1	南木曾町	19	4.3	塩尻市	14	3.1	上田市 伊那市	3	0.7	駒ヶ根市	2	0.4

年	流入先														
	市町村名	流入者数 人	流入率 %	市町村名	流入者数 人	流入率 %	市町村名	流入者数 人	流入率 %	市町村名	流入者数 人	流入率 %	市町村名	流入者数 人	流入率 %
平成7年	上松町	160	14.2	木祖村	96	8.5	大桑村	89	7.9	日義村	68	6.0	三岳村	52	4.6
平成12年	上松町	147	14.6	木祖村	86	8.6	日義村	82	8.2	大桑村	63	6.3	三岳村	59	5.9
平成17年	上松町	140	17.3	木祖村	73	9.0	日義村	62	7.6	大桑村	52	6.4	三岳村	42	5.2
平成22年	上松町	120	15.1	大桑村	71	8.9	南木曾町	58	7.3	木祖村	56	7.0	塩尻市	39	4.9
平成27年	大桑村	77	12.2	上松町	72	11.4	木祖村	43	6.8	南木曾町	35	5.5	塩尻市	27	4.3

資料：国勢調査(各年10月1日)

注1 常住地による就業者・通学者数とは、当該都市に常住する(夜間人口ベース)就業者・通学者をいう。

従業地による就業者・通学者数とは、当該都市に従業する(昼間人口ベース)就業者・通学者をいう。

注2 流出率=流出就業者数/常住地による就業者・通学者数×100

流入率=流入就業者数/従業地による就業者・通学者数×100

注3 (従/常)就業者比率=従業地による就業者・通学者数/常住地による就業者・通学者数×100

※平成17年までの市町村名は、合併以前の名称(木曾福島町・日義村・開田村・三岳村→木曾町、檜川村→塩尻市)

※平成17年までは旧木曾福島町の数値

図1-7 流出・流入状況図(就業者数) 平成27年

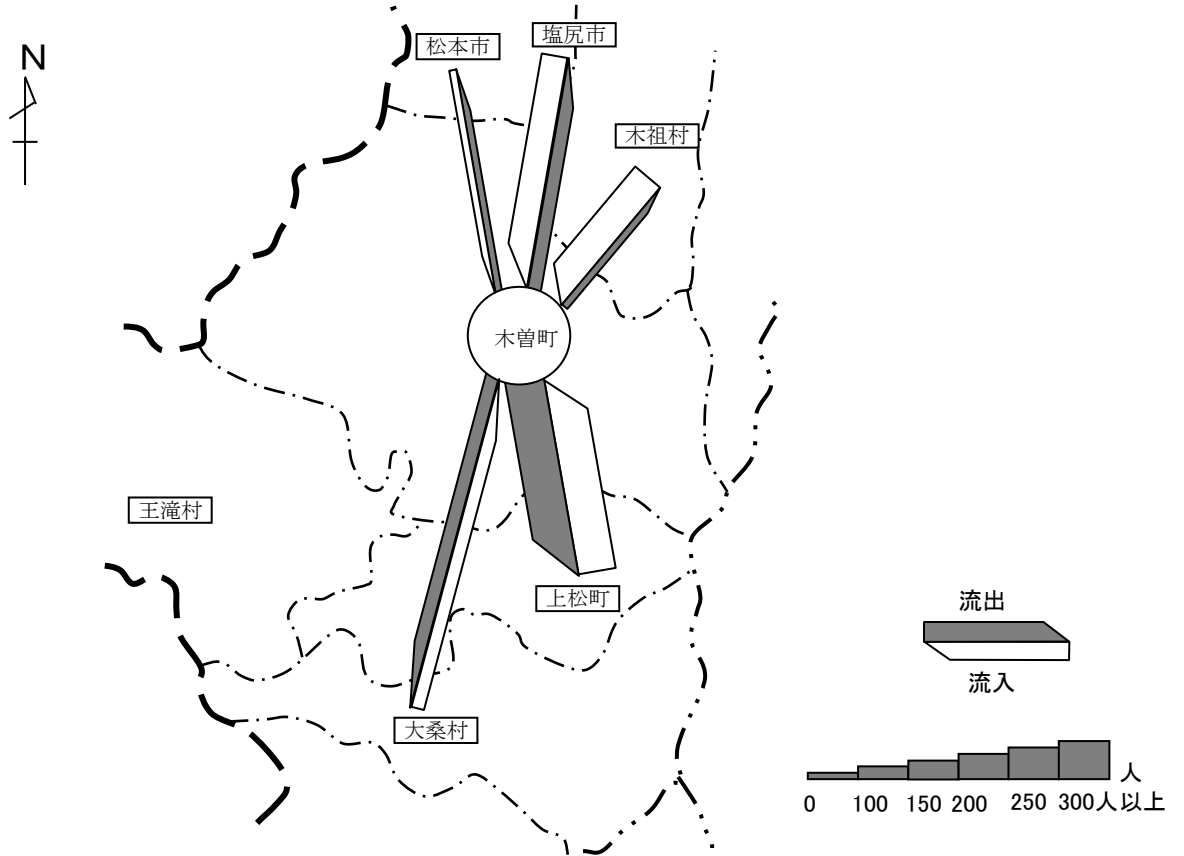
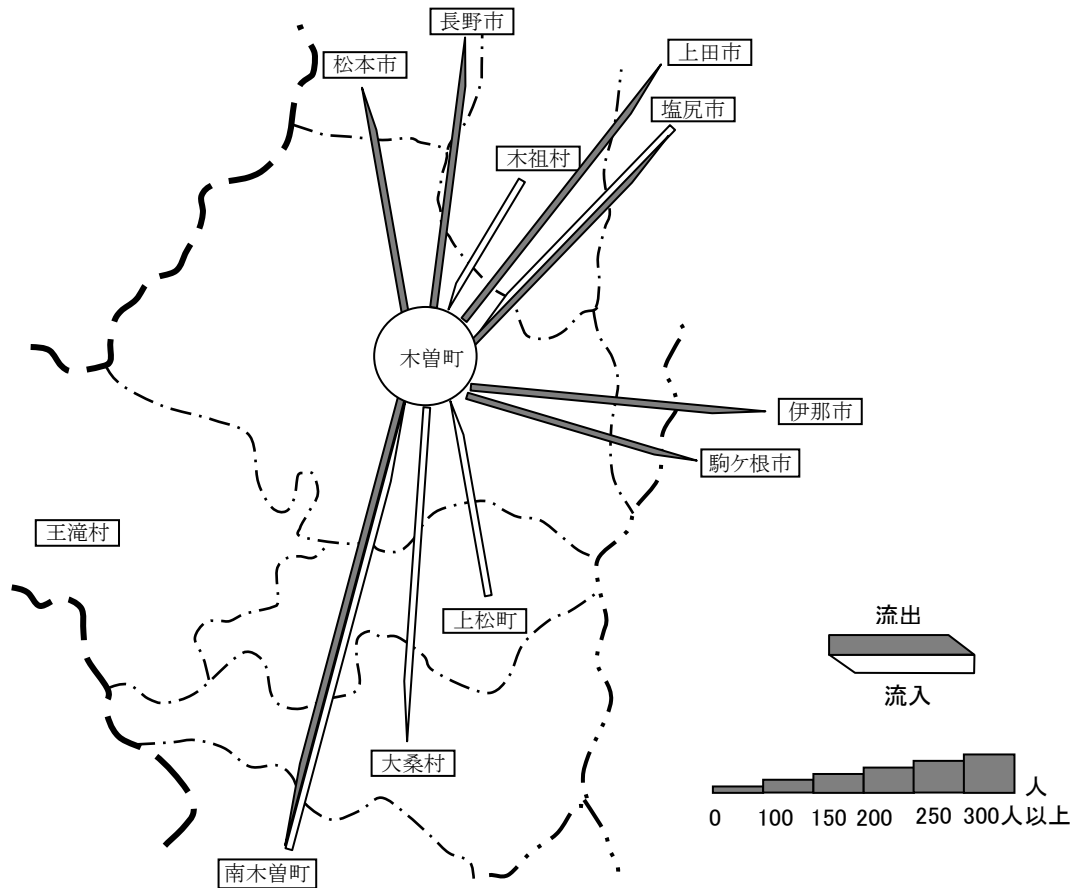


図1-8 流出・流入状況図(通学者数) 平成27年



2. 産 業

C0201-1 産業大分類別就業者数

本町の平成27年の常住地における就業者数は6,107人で、総人口に対する就業率は51.6%である。産業別就業人口の構成比は、第1次産業8.1%、第2次産業22.1%、第3次産業69.0%であり、第3次産業の就業者数の割合が最も高くなっている。

平成7年から平成27年にかけての産業別就業人口の推移を見ると、第1次産業は430人、構成比で2.8%減少、第2次産業は1,090人、構成比で6.8%減少、第3次産業は874人減少しているが構成比では8.8%の増加となっている。

平成27年の従業地における就業者数は6,531人で産業別就業人口の構成比は、第1次産業7.4%、第2次産業18.7%、第3次産業73.3%となっており、第3次産業の就業者数の割合が最も高くなっている。業種別では医療、福祉14.9%、卸売・小売業12.6%、宿泊業、飲食サービス業9.9%などとなっている。

表2-1-1 産業大分類別常住地・従業地別就業者数

■常住地

産 業 大 分 類	平成7年		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
A. 農 業 ， 林 業	916	10.8	824	10.2	728	10.0	542	8.5	491	8.0
うち 農 業	743	8.8	710	8.8	652	9.0	427	6.7	366	6.0
B. 漁 業	10	0.1	2	0.0	4	0.1	8	0.1	5	0.1
第 1 次 産 業 合 計	926	10.9	826	10.2	732	10.1	550	8.7	496	8.1
C. 鉱 業	20	0.2	42	0.5	25	0.3	16	0.3	17	0.3
D. 建 設 業	1,131	13.4	1,120	13.9	850	11.7	605	9.5	536	8.8
E. 製 造 業	1,291	15.3	1,054	13.1	913	12.6	819	12.9	799	13.1
第 2 次 産 業 合 計	2,442	28.9	2,216	27.4	1,788	24.6	1,440	22.7	1,352	22.1
F. 電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	91	1.1	82	1.0	59	0.8	48	0.8	47	0.8
G. 情 報 通 信 業	455	5.4	452	5.6	45	0.6	39	0.6	31	0.5
H. 運 輸 業 ， 郵 便 業					280	3.9	313	4.9	261	4.3
I. 卸 売 ・ 小 売 業	1,366	16.1	1,371	17.0	915	12.6	816	12.8	727	11.9
J. 金 融 ・ 保 険 業	108	1.3	99	1.2	82	1.1	79	1.2	86	1.4
K. 不 動 産 業 ， 物 品 賃 貸 業	28	0.3	22	0.3	20	0.3	54	0.8	45	0.7
L. 学 術 研 究 ， 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	2,566	30.3	2,540	31.5			124	2.0	125	2.0
M. 宿 泊 業 ， 飲 食 サ ー ビ ス 業					806	11.1	652	10.3	617	10.1
N. 生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 ， 娯 楽 業							338	5.3	295	4.8
O. 教 育 ， 学 習 支 援 業					316	4.4	318	5.0	298	4.9
P. 医 療 ， 福 祉					657	9.1	760	12.0	834	13.7
Q. 複 合 サ ー ビ ス 事 業					211	2.9	116	1.8	156	2.6
R. サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)					902	12.4	325	5.1	343	5.6
S. 公 務 (他 に 分 類 さ れ る も の を 除 く)	475	5.6	459	5.7	440	6.1	370	5.8	350	5.7
第 3 次 産 業 合 計	5,089	60.2	5,025	62.2	4,733	65.2	4,352	68.5	4,215	69.0
T. 分 類 不 能	3	0.0	7	0.1	6	0.1	11	0.2	44	0.7
合 計	8,460	100.0	8,074	100.0	7,259	100.0	6,353	100.0	6,107	100.0

注：平成17年までは旧町村の合算値。

表2-1-2 産業大分類別常住地・従業地別就業者数

■従業地

産業大分類	平成7年		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
A. 農業，林業	829	9.4	786	9.2	673	8.8	530	7.8	478	7.3
うち農業	838	9.5	789	9.2	677	8.8	538	7.9	483	7.4
B. 漁業	9	0.1	3	0.0	4	0.1	8	0.1	5	0.1
第1次産業合計	838	9.5	789	9.2	677	8.8	538	7.9	483	7.4
C. 鉱業	23	0.3	44	0.5	27	0.4	16	0.2	16	0.2
D. 建設業	1,167	13.2	1,175	13.7	881	11.5	638	9.3	567	8.7
E. 製造業	1,212	13.7	950	11.1	750	9.8	651	9.5	640	9.8
第2次産業合計	2,402	27.1	2,169	25.4	1,658	21.6	1,305	19.1	1,223	18.7
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	103	1.2	95	1.1	60	0.8	55	0.8	55	0.8
G. 情報通信業	465	5.2	453	5.3	39	0.5	33	0.5	26	0.4
H. 運輸業，郵便業					289	3.8	315	4.6	265	4.1
I. 卸売・小売業	1,455	16.4	1,475	17.2	1,011	13.2	932	13.6	820	12.6
J. 金融・保険業	150	1.7	123	1.4	117	1.5	95	1.4	92	1.4
K. 不動産業，物品賃貸業	26	0.3	27	0.3	23	0.3	50	0.7	59	0.9
L. 学術研究，専門・技術サービス業	2,906	32.8	2,897	33.9	/	/	165	2.4	160	2.4
M. 宿泊業，飲食サービス業					827	10.8	695	10.2	649	9.9
N. 生活関連サービス業，娯楽業					/	/	403	5.9	351	5.4
O. 教育，学習支援業					387	5.1	384	5.6	341	5.2
P. 医療，福祉					759	9.9	892	13.1	973	14.9
Q. 複合サービス事業					277	3.6	173	2.5	202	3.1
R. サービス業（他に分類されないもの）					1,046	13.7	362	5.3	372	5.7
S. 公務（他に分類されるものを除く）					517	5.8	517	6.0	487	6.4
第3次産業合計	5,622	63.4	5,587	65.3	5,322	69.5	4,973	72.8	4,784	73.3
T. 分類不能	3	0.0	6	0.1	6	0.1	12	0.2	41	0.6
合計	8,865	100.0	8,551	100.0	7,663	100.0	6,828	100.0	6,531	100.0

注：平成17年までは旧町村の合算値。

資料：国勢調査(各年10月1日)

図2-1 産業大分類別常住地・従業地別就業者数

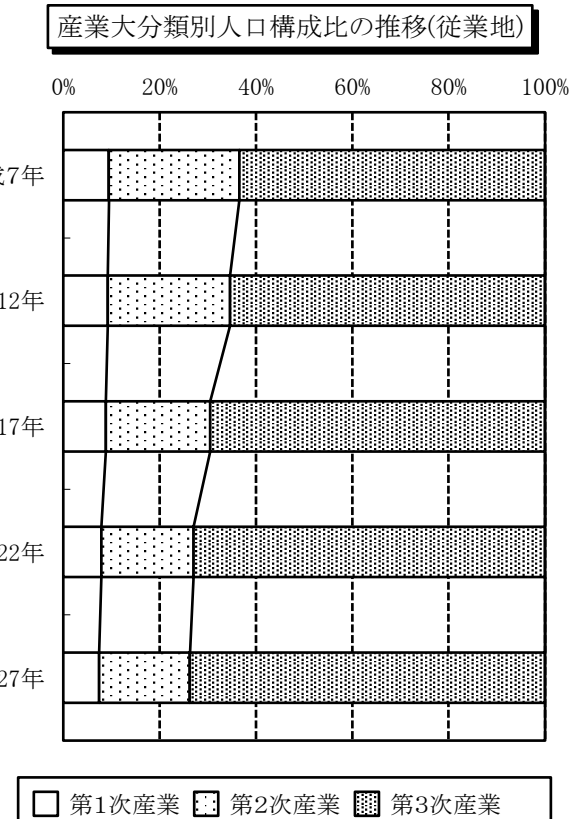
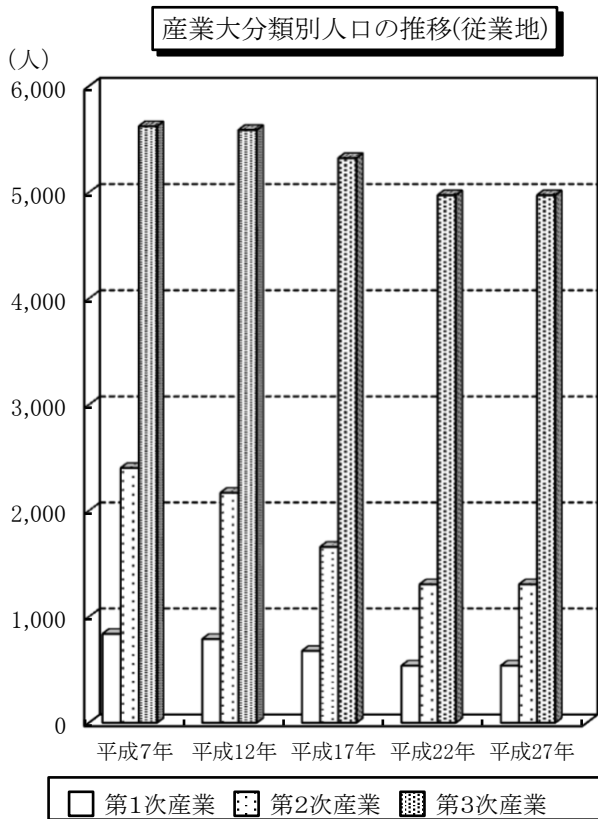
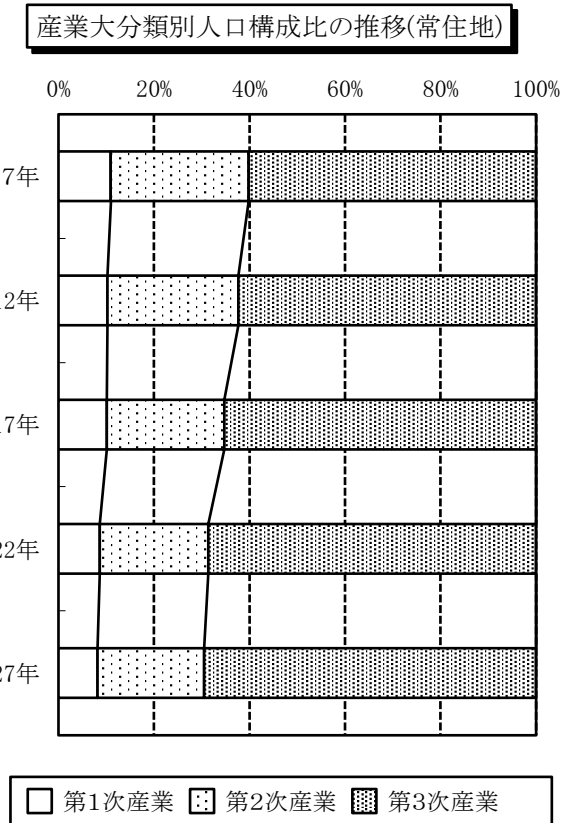
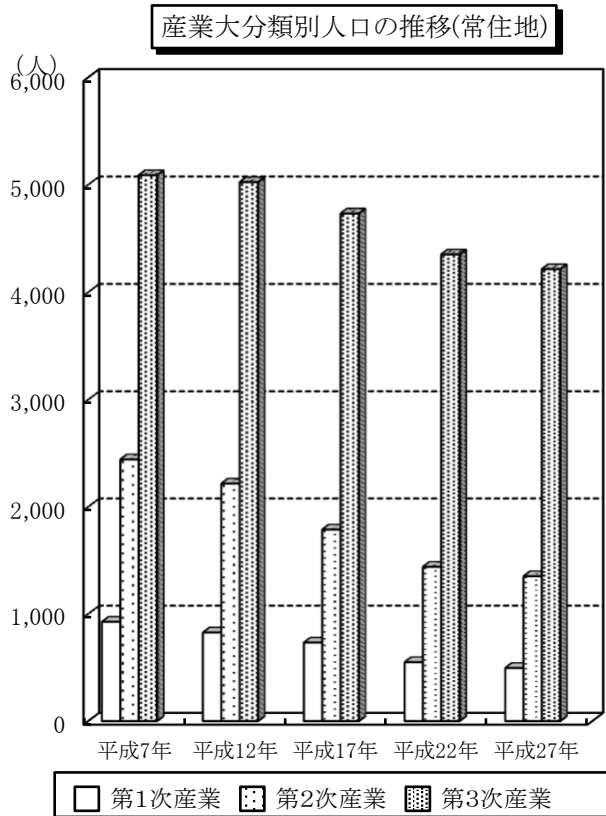


図2-2 平成27年産業大分類別人口構成比(常住地)

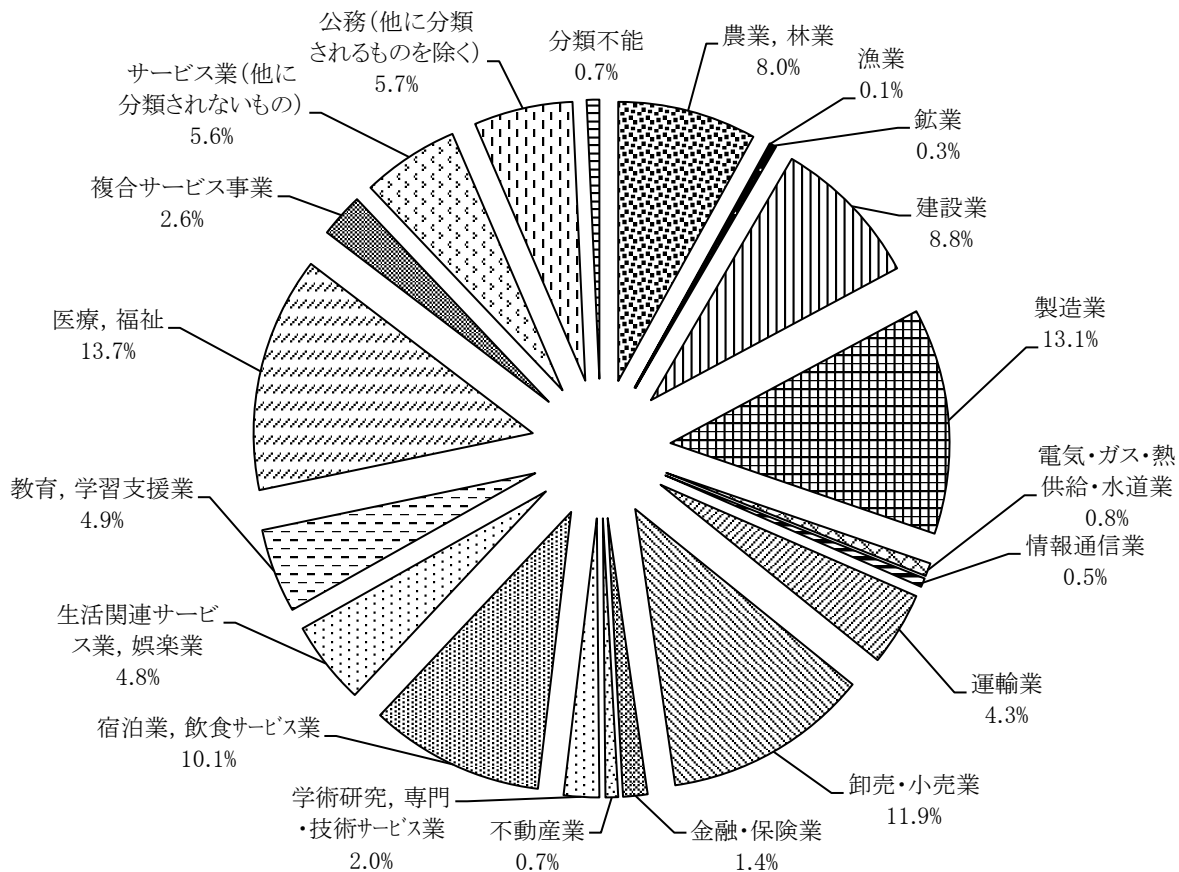
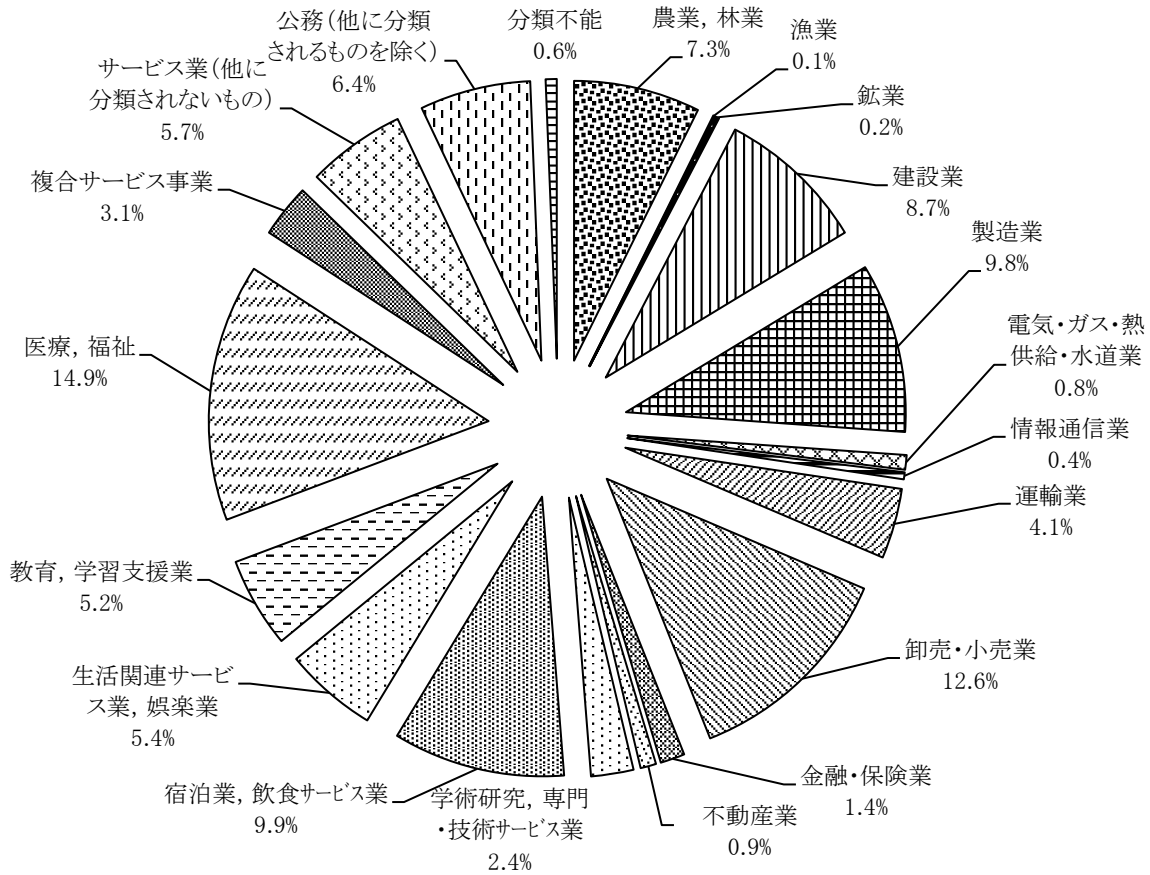


図2-3 平成27年産業大分類別人口構成比(従業地)



■ 産業大分類別人口の推計

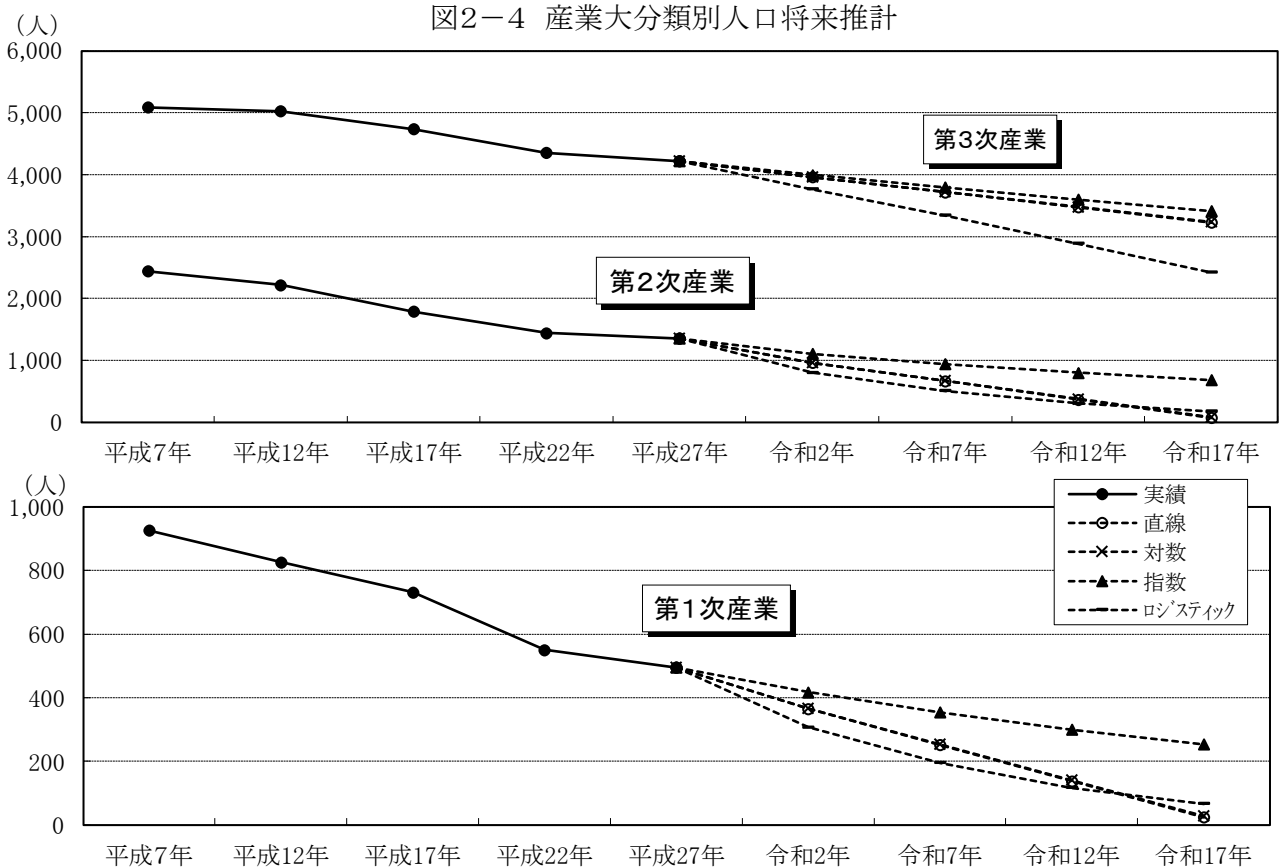
回帰式による平成27年を基準年とした令和17年における産業大分類別推計人口は、第1次産業で24～254人、第2次産業で74～683人、第3次産業で2,423～3,417人と推計され、平成27年から令和17年までの増減率は、第1次産業48.8～95.2%の減少、第2次産業49.5～94.5%の減少、第3次産業18.9～42.5%の減少が見込まれる。

表2-2 産業大分類別人口の推計

	推 計 名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	備 考
第1次産業	実 数 値	926	826	732	550	496					(決定係数)
	直線: $y=ax+b$						365	252	138	24	0.97830
	対数: $y=a\log x+b$						366	254	141	29	0.97831
	指数: $y=ab^x$						418	354	300	254	0.96923
	ロジスティック: $y=k/(1+a\exp^{-bx})$						307	195	117	68	0.97123
第2次産業	実 数 値	2,442	2,216	1,788	1,440	1,352					(決定係数)
	直線: $y=ax+b$						961	665	370	74	0.96622
	対数: $y=a\log x+b$						963	670	378	86	0.96651
	指数: $y=ab^x$						1,109	943	803	683	0.97137
	ロジスティック: $y=k/(1+a\exp^{-bx})$						801	509	306	177	0.94644
第3次産業	実 数 値	5,089	5,025	4,733	4,352	4,215					(決定係数)
	直線: $y=ax+b$						3,957	3,714	3,472	3,230	0.95634
	対数: $y=a\log x+b$						3,959	3,719	3,479	3,241	0.95610
	指数: $y=ab^x$						3,994	3,792	3,599	3,417	0.95411
	ロジスティック: $y=k/(1+a\exp^{-bx})$						3,764	3,337	2,882	2,423	0.96215

※各推計値は小数点以下第1位を四捨五入した数値である。

資料: 現況数値: 国勢調査(各年10月1日)



C0201-2 職業大分類別就業者数

平成27年の常住地における職業大分類別人口の構成比は、サービス職業従事者が18.0%と最も高くなっており、次いで事務従事者が16.5%、生産工程従事者が13.7%、専門的・技術的職業従事者が13.0%、販売従事者が8.3%、農林漁業従事者が7.6%の順となっている。

平成27年の従業地における職業大分類別人口の構成比は、事務従事者とサービス職業従事者が18.1%と最も高くなっており、次いで専門的・技術的職業従事者14.6%、生産工程従事者11.1%、販売従事者8.6%、農林漁業従事者が7.3%の順となっている。

図2-5 平成27年 職業大分類別就業者数(常住地)

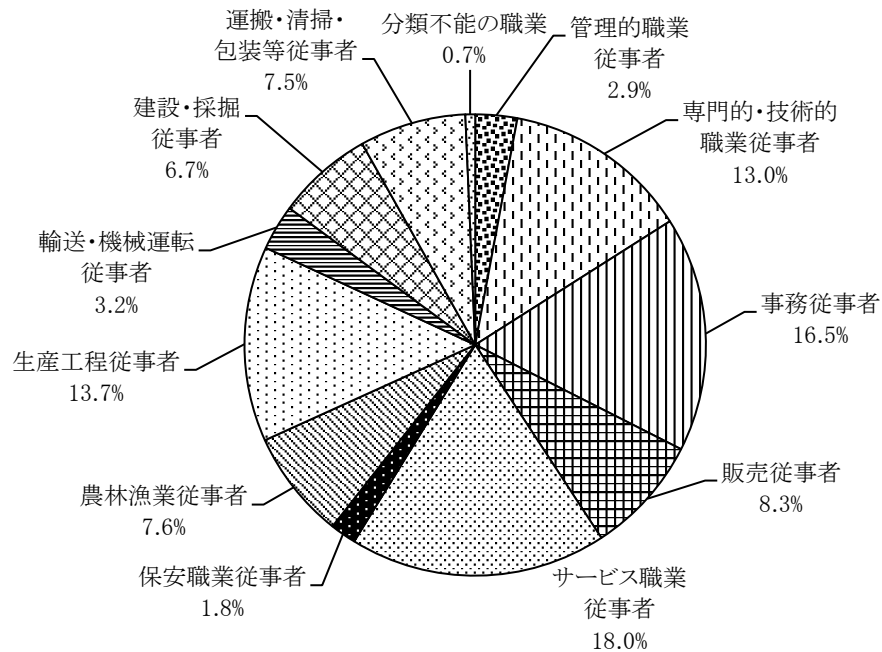


図2-6 平成27年 職業大分類別就業者数(従業地)

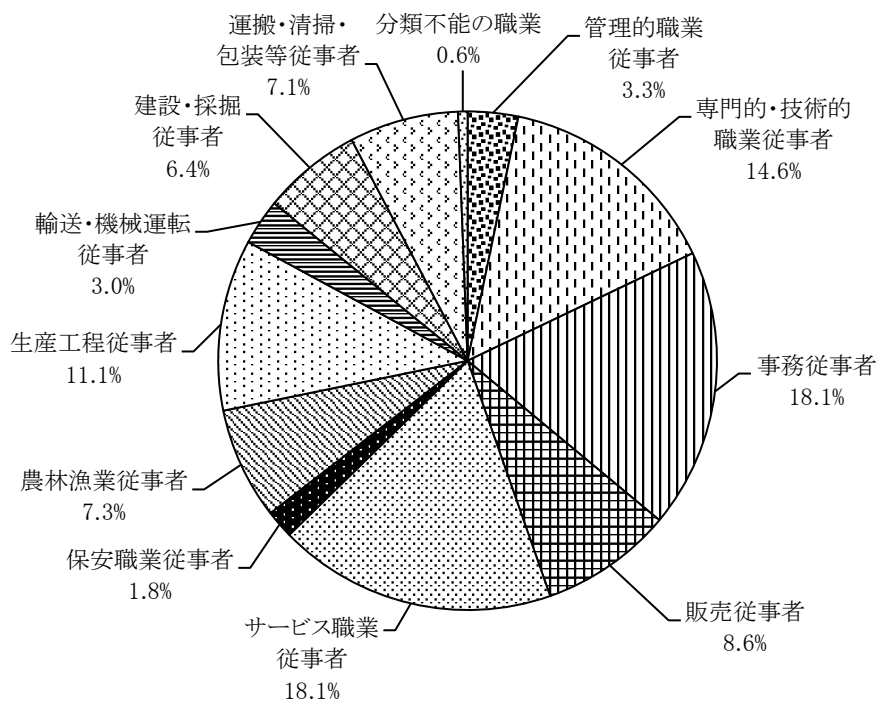


表2-3 職業大分類別常驻地・従業地別就業者数

職業大分類	平成7年			平成12年			平成17年			平成22年			平成27年							
	常驻地による		構成比 %	常驻地による		構成比 %	常驻地による		構成比 %	常驻地による		構成比 %	常驻地による		構成比 %					
	就業者数	人		就業者数	人		就業者数	人		就業者数	人		就業者数	人		就業者数	人			
専門的・技術的 A.職業従事者	869	10.3	992	11.2	926	11.5	1,074	12.6	840	11.6	1,013	13.2	162	2.5	182	2.7	180	2.9	214	3.3
B.管理的職業従事者	331	3.9	359	4.0	243	3.0	281	3.3	162	2.2	187	2.4	784	12.3	960	14.1	796	13.0	955	14.6
C.事務従事者	1,264	14.9	1,387	15.6	1,365	16.9	1,511	17.7	1,168	16.1	1,326	17.3	1,015	16.0	1,174	17.2	1,006	16.5	1,185	18.1
D.販売従事者	756	8.9	822	9.3	710	8.8	765	8.9	646	8.9	714	9.3	560	8.8	631	9.2	508	8.3	561	8.6
E.サービス職業 従事者	1,226	14.5	1,289	14.5	1,207	14.9	1,290	15.1	1,176	16.2	1,235	16.1	1,170	18.4	1,260	18.5	1,100	18.0	1,179	18.1
F.保安職業従事者	105	1.2	128	1.4	96	1.2	118	1.4	105	1.4	113	1.5	105	1.7	113	1.7	112	1.8	120	1.8
G.農林漁業従事者	920	10.9	897	10.1	814	10.1	795	9.3	739	10.2	719	9.4	533	8.4	556	8.1	464	7.6	474	7.3
H.運輸・通信従事者	323	3.8	281	3.2	264	3.3	243	2.8	212	2.9	196	2.6	912	14.4	797	11.7	836	13.7	726	11.1
I.生産工程・ 労務作業者	2,663	31.5	2,707	30.5	2,442	30.2	2,468	28.9	2,206	30.4	2,155	28.1	216	3.4	216	3.2	196	3.2	195	3.0
J.分類不能の職業	3	0.0	3	0.0	7	0.1	6	0.1	5	0.1	5	0.1	10	0.2	11	0.2	42	0.7	40	0.6
合計	8,460	100.0	8,865	100.0	8,074	100.0	8,551	100.0	7,259	100.0	7,663	100.0	6,353	100.0	6,828	100.0	6,107	100.0	6,531	100.0

注1:平成7年の職業大分類I生産工程・労務作業者には、採鉱・採石,技能工,採掘作業者を含む。

注2:平成17年までは旧町村の合算値。

資料:国勢調査(各年10月1日)

C0202-1 産業大分類別事業所・従業者数・売上金額

平成28年の事業所数は858事業所であり、そのうち最も多い産業は宿泊業，飲食，サービス業で185事業所、次いで卸売・小売業(183事業所)、建設業(114事業所)の順となっている。従業者数は5,724人であり、卸売，小売業が最も多く1,176人、次いで、宿泊業，飲食サービス業(786人)、医療，福祉(784人)、製造業(605人)、建設業(538人)の順となっている。従業者規模別では従業者数1～4人以下の小規模企業が全体の67.6%(民営)を占めている。

図2-7 事業所数及び従業者数の推移

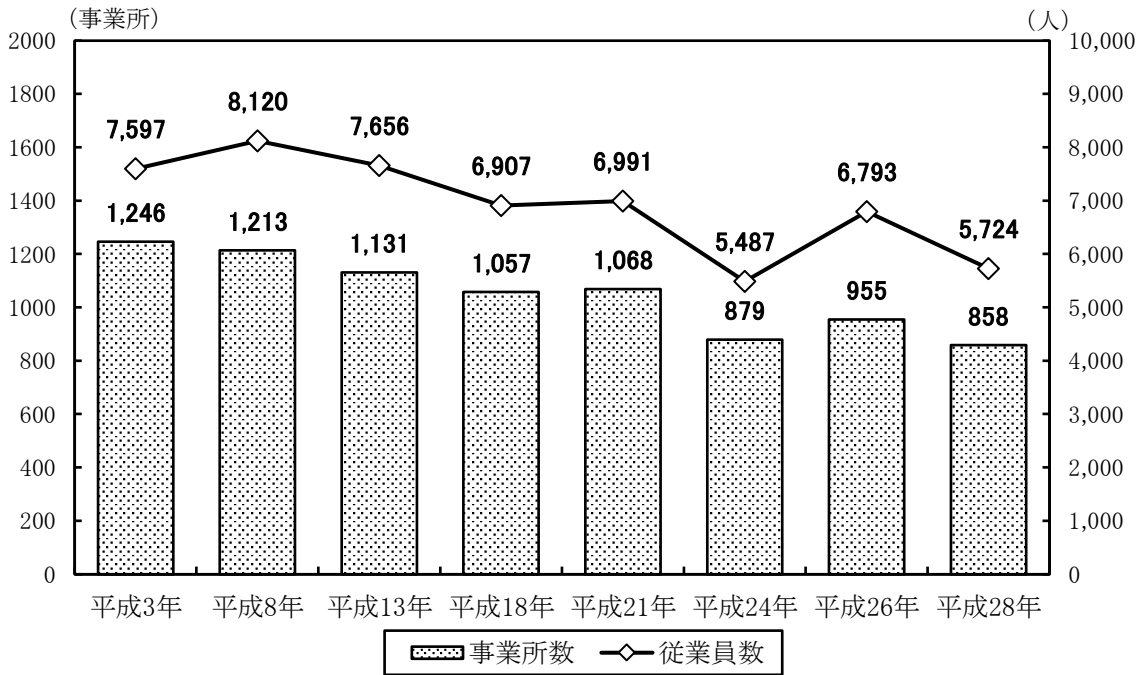


図2-8 事業所数の規模別構成比(民営)

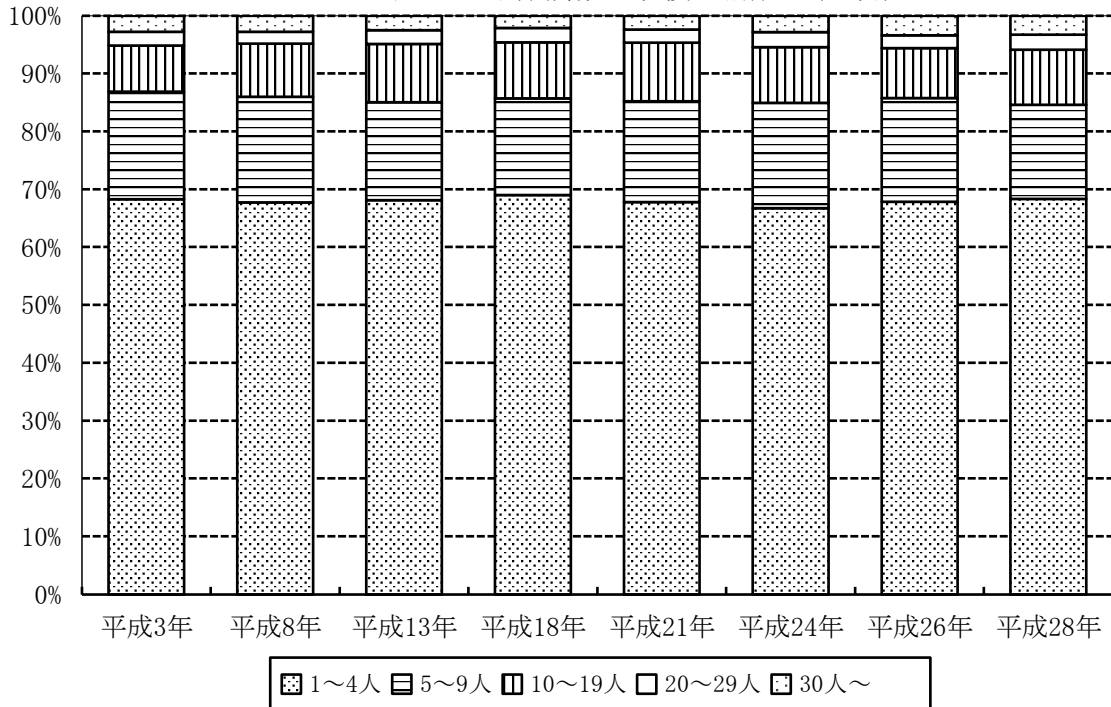


表2-4-1 産業大分類別事業所・従業者数・売上金額

産業大分類	平成3年										平成8年										平成13年									
	事業所数	従業者規模別事業所数(民営)				国・地方公共団体	従業者数	事業所数	従業者規模別事業所数(民営)				国・地方公共団体	従業者数	事業所数	従業者規模別事業所数(民営)				国・地方公共団体	派遣従業者のみ	事業所数	従業者規模別事業所数(民営)				国・地方公共団体	派遣従業者のみ	従業者数	
		1~4	5~9	10~19	20~29				30~	1~4	5~9	10~19				20~29	30~	1~4	5~9				10~19	20~29	30~	1~4				5~9
A.B.C.農林漁業	11	4	-	-	-	7	108	8	3	1	-	-	-	4	39	10	4	3	1	-	-	-	-	-	-	2	53			
D.鉱業	1	-	-	1	-	-	17	2	-	-	-	2	-	-	28	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	31			
E.建設業	150	78	37	21	9	-	942	156	80	41	24	6	5	-	951	149	89	25	26	5	4	-	-	-	-	-	969			
F.製造業	89	35	22	16	7	1	1,065	77	28	19	15	8	7	-	970	55	18	16	9	6	6	-	-	-	-	-	798			
G.電気・ガス・熱供給・水道業	12	2	3	-	-	1	82	12	5	-	-	-	1	6	72	13	3	2	-	-	1	-	-	-	-	7	74			
H.運輸・通信業	37	16	5	5	1	4	557	32	9	7	5	1	4	6	512	31	11	5	2	2	5	-	-	-	-	6	512			
I.卸売・小売業	445	330	81	27	1	5	1,739	417	315	70	22	4	4	2	1,790	386	292	57	32	1	3	-	-	-	-	1	1,670			
J.金融・保険業	11	3	1	4	2	1	146	13	4	2	6	-	1	-	146	14	5	2	7	-	-	-	-	-	-	-	111			
K.不動産業	10	6	2	2	-	-	37	10	8	1	1	-	-	-	31	6	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	29			
L.サービス業	453	305	61	15	7	8	2,507	460	299	61	29	2	9	60	3,111	438	267	60	22	10	7	5	5	67	2,940					
M.公務	27	-	-	-	-	27	397	26	-	-	-	-	-	26	470	27	-	-	-	-	-	-	-	-	27	469				
N.分類不能の産業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
合計	1,246	779	212	91	27	32	7,597	1,213	751	202	102	23	31	104	8,120	1,131	692	172	102	24	26	5	110	7,656						

資料：事業所・企業統計調査(各年10月1日)

注1:平成8年までは、事業所数に派遣・下請従業者のみも含む。
注2:平成13年までは旧町村の合算。

表2-4-2 産業大分類別事業所・従業者数・売上金額

産業大分類	平成18年				平成21年				平成24年				売上金額													
	事業所数	従業者規模別事業所数(民営)			事業所数	従業者規模別事業所数(民営)			事業所数	従業者規模別事業所数(民営)				従業者数												
		1～4	5～9	10～19		20～29	30～	国・地方公共団体		1～4	5～9	10～19			20～29	30～	派遣従業者のみ									
A～B農林水産業	13	4	3	1	-	-	5	70	14	5	4	1	-	1	-	3	137	13	8	2	2	-	1	-	126	509
C. 鉱業，採石業，砂利採取業	2	-	-	2	-	-	-	28	4	2	-	2	-	-	-	-	31	1	-	-	-	1	-	-	23	ㄵ
D. 建設業	143	91	26	24	1	1	-	730	150	103	27	18	1	1	-	-	657	125	78	33	10	4	-	-	592	(7,950)
E. 製造業	48	20	10	6	8	4	-	627	56	26	12	6	8	4	-	-	640	66	36	8	11	7	4	-	705	10,263
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	4	1	1	-	1	-	1	57	9	6	-	-	1	2	-	-	48	7	6	-	-	-	1	-	48	(4,927)
G. 情報通信業	8	5	2	1	-	-	-	36	10	6	2	-	-	1	1	1	28	6	5	-	1	-	-	-	22	(213)
H. 運輸業，郵便業	21	9	6	2	-	4	-	278	23	8	6	3	1	5	-	-	352	22	5	7	4	-	6	-	416	(7,063)
I. 卸売業，小売業	241	178	36	19	3	4	-	1,220	233	169	35	20	5	3	1	-	1,185	188	126	33	20	2	5	2	998	(16,311)
J. 金融業，保険業	12	5	2	5	-	-	-	85	13	5	3	4	1	-	-	-	101	14	4	5	3	1	1	-	215	(3,858)
K. 不動産業，物品賃貸業	9	6	2	1	-	-	-	29	16	11	4	1	-	-	-	-	58	14	11	2	1	-	-	-	43	448
L. 学術研究，専門・技術サービス業									42	33	5	-	-	-	-	-	167	33	27	6	-	-	-	-	94	480
M. 宿泊業，飲食サービス業	249	189	39	16	3	1	-	988	225	157	38	26	-	2	1	1	1,032	187	132	37	15	1	-	2	778	4,887
N. 生活関連サービス業，娯楽業									78	59	6	4	3	3	-	-	490	69	55	4	4	4	2	-	391	2,820
O. 教育，学習支援業	32	5	2	-	-	-	-	378	34	11	3	-	-	-	-	-	362	12	11	1	-	-	-	-	24	(33)
P. 医療，福祉	54	18	8	6	2	1	-	769	54	18	7	6	3	2	-	-	832	44	23	7	8	3	3	-	637	5824
Q. 複合サービス事業	20	8	4	5	1	2	-	264	13	5	5	2	-	1	-	-	176	10	6	3	1	-	-	-	46	(ㄵ)
R. サービス業（他に分類されないもの）	176	131	21	6	5	4	-	903	69	43	14	7	-	1	1	3	311	68	50	11	4	-	2	1	329	(1,568)
S. 公務（他に分類されるものを除く）	25	-	-	-	-	-	-	445	25	-	-	-	-	-	-	25	384									
合計	1,057	670	162	94	24	21	0	6,907	1,068	667	171	100	22	24	6	78	6,991	879	583	159	84	23	25	5	5,487	(67,758)

注1:平成21年より「派遣従業者のみ」の項目を追加掲載。

注2:平成24年の公務・地方公共団体は非掲載。

注3:売上(収入)金額は、外国の会社及び法人でない団体を除いた値。

注4:売上(収入)金額の()内の値は試算値。

資料:事業所・企業統計調査(10月1日)

平成21年経済センサス-基礎調査(平成21年7月1日)

平成24年経済センサス-活動調査(平成24年7月1日)

表2-4-3 産業大分類別事業所・従業者数・売上金額

産業大分類	平成26年										平成28年									
	事業所数		従業者規模別事業所数(民営)				派遣従業者のみ	国・地方公共団体	従業者数	売上金額(百万円)	事業所数		従業者規模別事業所数(民営)				派遣従業者のみ	国・地方公共団体	従業者数	売上金額(百万円)
	1～4	5～9	10～19	20～29	30～					1～4	5～9	10～19	20～29	30～						
A～B農林水産業	17	5	6	2	-	1	-	3	151	820	14	7	3	3	1	-	-	125	911	
C. 鉱業，採石採掘業	1	-	-	-	1	-	-	-	23	χ	1	-	-	1	-	-	22	χ		
D. 建設業	119	83	20	13	2	1	-	-	543	(7,723)	114	82	17	11	3	1	-	538	(10,863)	
E. 製造業	62	30	12	11	4	5	-	-	699	9,443	58	30	8	13	3	4	-	605	8,346	
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	6	5	-	-	-	1	-	-	47	(4,623)	6	5	-	-	1	-	-	46	(χ)	
G. 情報通信業	8	5	1	-	-	1	-	1	70	(264)	7	6	-	1	-	-	23	(1,828)		
H. 運輸業，郵便業	21	10	4	2	1	4	-	-	264	(6,406)	21	9	5	2	1	4	-	262	(6,980)	
I. 卸売業，小売業	192	129	40	17	1	5	-	-	1,005	17,475	183	120	36	18	4	4	1	1,176	16,817	
J. 金融業，保険業	11	4	2	4	1	-	-	-	86	(2,431)	12	5	3	3	1	-	-	90	(3,468)	
K. 不動産業，物品賃貸業	12	10	2	-	-	-	-	-	31	435	13	10	3	-	-	-	-	38	638	
L. 学術研究，専門・技術サービス業	35	28	3	-	-	-	-	4	142	418	32	27	5	-	-	-	-	90	457	
M. 宿泊業，飲食サービス業	196	144	34	12	1	1	3	1	796	2,987	185	132	31	14	1	1	6	786	2,469	
N. 生活関連サービス業，娯楽業	74	54	6	7	2	3	-	2	420	4,250	71	53	7	5	2	4	-	427	2,783	
O. 教育，学習支援業	34	13	2	1	-	-	-	18	390	(43)	16	15	-	1	-	-	-	43	(177)	
P. 医療，福祉	63	25	12	5	5	4	-	12	954	6,868	51	25	11	7	4	4	-	784	7,052	
Q. 複合サービス事業	11	5	3	-	1	2	-	-	241	(χ)	11	7	1	-	1	2	-	230	(2,542)	
R. サービス業(他に分類されないもの)	68	49	11	2	1	2	-	3	507	(1,262)	63	47	8	3	1	2	2	439	(1,558)	
S. 公務(他に分類されるものを除く)	25	-	-	-	-	-	-	25	424											
合計	955	599	158	76	20	30	3	69	6,793	(66,062)	858	580	138	81	22	28	9	5,724	(73,188)	

注1:平成28年の公務・地方公共団体は非掲載。

注2:売上(収入)金額は、外国の会社及び法人でない団体を除いた値。

注3:売上(収入)金額の()内の値は試算値。

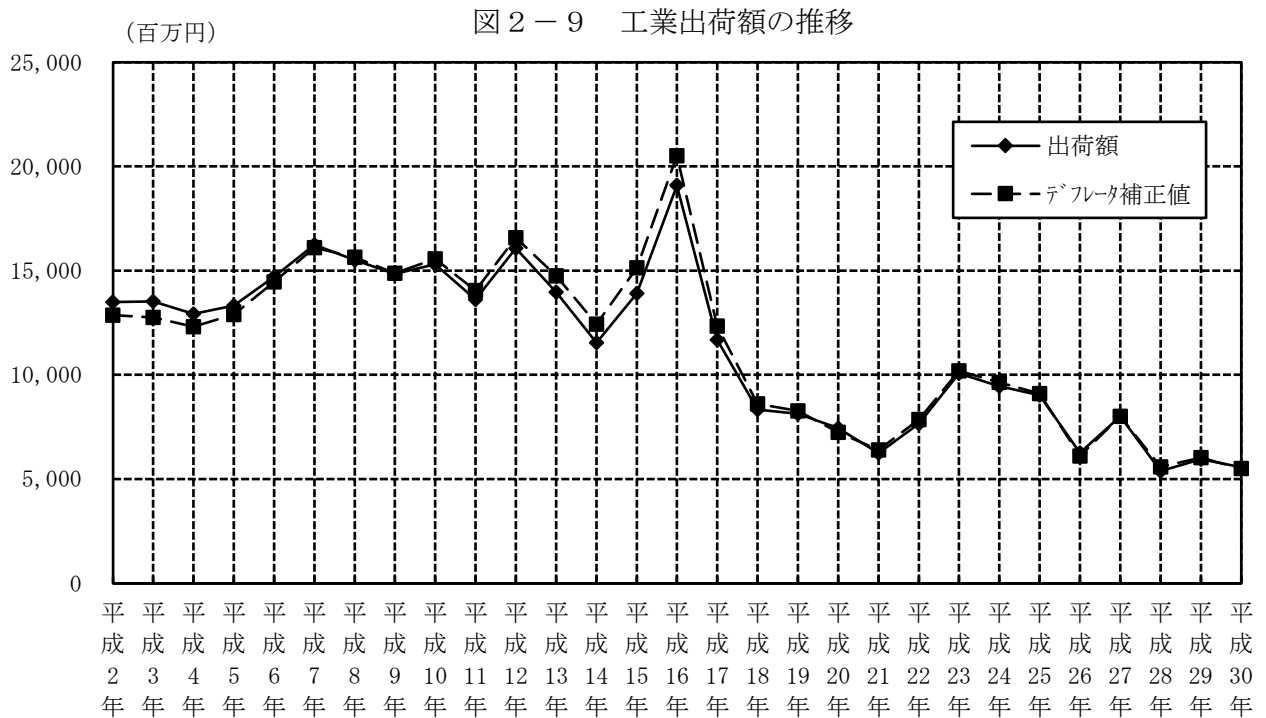
資料:平成26年経済センサス-基礎調査(平成26年7月1日)

平成28年経済センサス-活動調査(平成28年6月1日)

C0202-2 産業中分類別工業出荷額

工業出荷額(実質)の推移を見ると、ほぼ横這いにあった出荷額は、平成16年に増加したが、その後平成21年にかけて減少が続き出荷額は64億円まで減少した。近年は、50億円から100億円の間で推移している。

平成30年の工業出荷額の内訳は、食料品が34.1%、電子部品・デバイス・電子回路が30.5%、飲料・たばこ・飼料が12.6%を占めている。



- ・平成14年以降は従業者4人以上の事業所。
- ・平成16年以前は旧木曾福島町・旧日義村・旧開田村・旧三岳村の合計値。

図2-10 産業別実質工業出荷額構成比(平成30年)

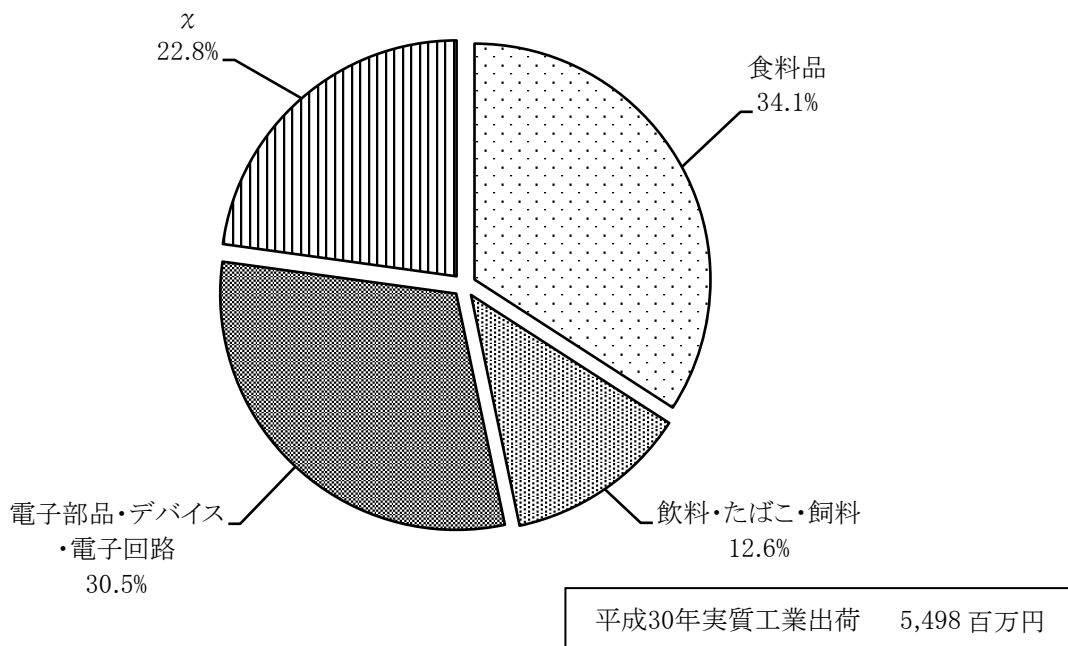


表2-5 工業出荷額の推移

(単位:百万円)

	木曾町(旧町村合算)		旧木曾福島町		旧日義村		旧開田村		旧三岳村	
	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值
平成2年	13,483	12,854	10,542	10,050	2,151	2,051	447	426	343	327
平成3年	13,514	12,750	10,431	9,841	2,300	2,170	462	436	321	303
平成4年	12,926	12,311	9,903	9,431	2,173	2,070	508	484	342	326
平成5年	13,322	12,883	9,915	9,589	2,206	2,133	908	878	293	283
平成6年	14,694	14,449	10,532	10,356	2,551	2,508	1,343	1,321	268	264
平成7年	16,229	16,100	12,182	12,085	2,419	2,400	1,377	1,366	251	249
平成8年	15,505	15,630	11,265	11,356	2,419	2,439	1,533	1,545	288	290
平成9年	14,845	14,876	11,265	11,288	1,827	1,831	1,493	1,496	260	261
平成10年	15,300	15,564	11,529	11,728	1,905	1,938	1,508	1,534	358	364
平成11年	13,604	14,038	9,694	10,004	2,007	2,071	1,609	1,660	294	303
平成12年	16,061	16,574	11,881	12,261	2,288	2,361	1,577	1,627	315	325
平成13年	13,966	14,748	10,291	10,867	2,003	2,115	1,672	1,766	χ	χ
平成14年	11,533	12,427	9,853	10,617	1,680	1,810	χ	χ	χ	χ
平成15年	13,903	15,129	10,674	11,615	1,495	1,627	1,734	1,887	χ	χ
平成16年	19,092	20,507	15,992	17,177	1,453	1,561	1,647	1,769	χ	χ
平成17年	11,671	12,337								
平成18年	8,324	8,608								
平成19年	8,129	8,261								
平成20年	7,444	7,234								
平成21年	6,232	6,392								
平成22年	7,648	7,852								
平成23年	10,058	10,180								
平成24年	9,442	9,635								
平成25年	9,016	9,089								
平成26年	6,247	6,101								
平成27年	8,008	8,008								
平成28年	5,385	5,580								
平成29年	5,943	6,021								
平成30年	5,569	5,498								

注:デフレータ補正值は、平成22年を100とした国内卸売物価指数で補正した数値。

資料:工業統計調査(各年12月31日)

表2-6 産業中分類別工業出荷額

(単位:百万円)

産業中分類	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年	
	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值
合計	6,247	6,101	8,008	8,008	5,385	5,580	5,943	6,021	5,569	5,498
09. 食 料 品	1,878	1,834	1,920	1,920	1,903	1,972	1,887	1,912	1,901	1,877
10. 飲料・たばこ・飼料	1,106	1,080	682	682	779	807	767	777	699	690
11. 織 維	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12. 木材・木製品 (家具を除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13. 家具・装備品	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
14. パルプ・紙 ・紙加工品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15. 印刷・同関連	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
16. 化 学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17. 石油製品 ・石炭製品	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
18. プラスチック製品 (別掲を除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19. ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20. なめし革・同 製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21. 窯業・土石製品	×	×	624	624	×	×	×	×	×	×
22. 鉄 鋼	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
23. 非 鉄 金 属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24. 金 属 製 品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25. はん用機械器具	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26. 生産用機械器具	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27. 業務用機械器具	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28. 電子部品・デバイ ス・電子回路	2,036	1,988	3,438	3,438	1,462	1,515	1,924	1,949	1,698	1,676
29. 電気機械器具	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30. 情報通信機械器具	-	-	×	×	×	×	×	×	×	×
31. 輸送用機械器具	-	-	×	×	×	×	×	×	×	×
32. そ の 他	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

注：・デフレータ補正值は、平成27年を100とした国内企業物価指数(総平均)で補正した数値。

資料：工業統計調査(各年12月31日)

・従業者4人以上の事業所。

■ 工業出荷額の推計(実質出荷額)

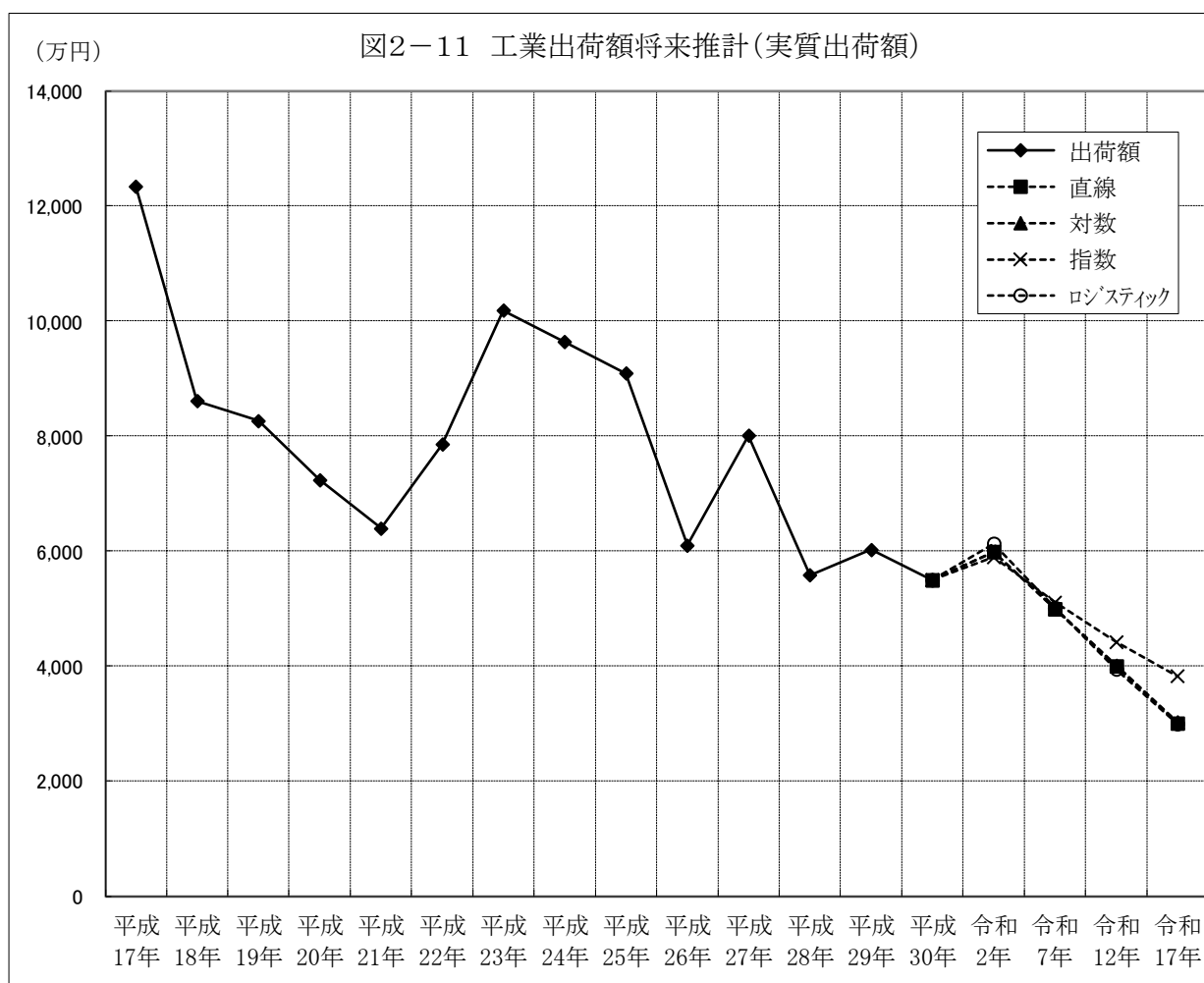
平成18年から平成30年までの工業出荷額を基に行った推計結果は、平成30年の工業出荷額55億円が令和17年には29～38億円の幅で推計され、そのうち決定係数の一番高い回帰式によると30億円と推測される。

表2-7 工業出荷額将来推計

(単位:百万円)

推計方法	平成30年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年
直線: $y=ax+b$	(実質値) 5,498	5,982	4,987	3,991	2,996
対数: $y=a\log x+b$		5,985	4,996	4,009	3,025
指数: $y=ab^x$		5,893	5,101	4,416	3,823
ロジスティック: $y=k/(1+a\exp^{-bx})$		6,125	5,009	3,939	2,987
推 計 式					
直線	$y=-199.016483516484x+407994.934065934$				決定係数=0.3922
対数	$y=-400134.865565559\log x+3051352.79659272$				決定係数=0.2438
指数	$y=1.21256815143262E+29*0.971557755342164^x$				決定係数=0.2870
ロジスティック	$y=11198/(1+5.81824078603239E-71\exp^{-0.0799674087113926x})$				決定係数=0.1814

注: 合併後の平成18年～平成30年の数値(デフレーター補正值)により推計。



C0202-3 産業中分類別商業販売額

平成28年の商業販売額(実質)は147億円で、そのうち卸売業が18.9%、小売業が81.1%の構成比となっている。

卸売業は平成14年、小売業は平成6年をピークに減少傾向が続き、平成19年から24年にかけては販売額が大きく落ち込んだが、その後平成26年の販売額は卸売業、小売業ともに増加に転じ、平成28年はほぼ横這いで推移している。

図2-12 商業販売額の推移

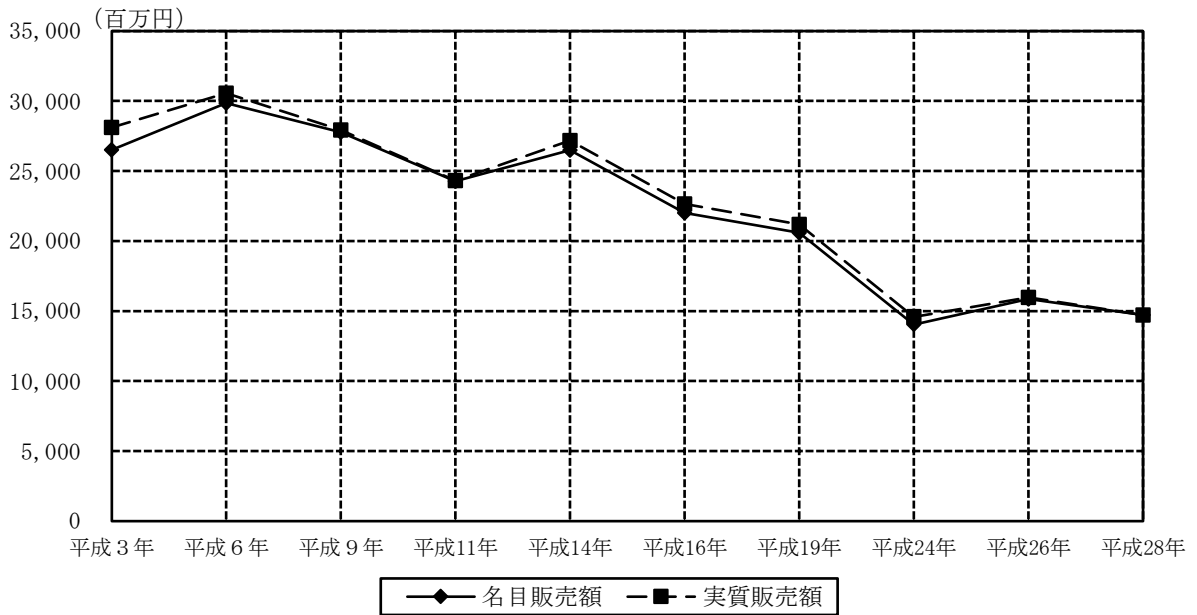


図2-13 業種別販売額の推移(デフレータ補正值)

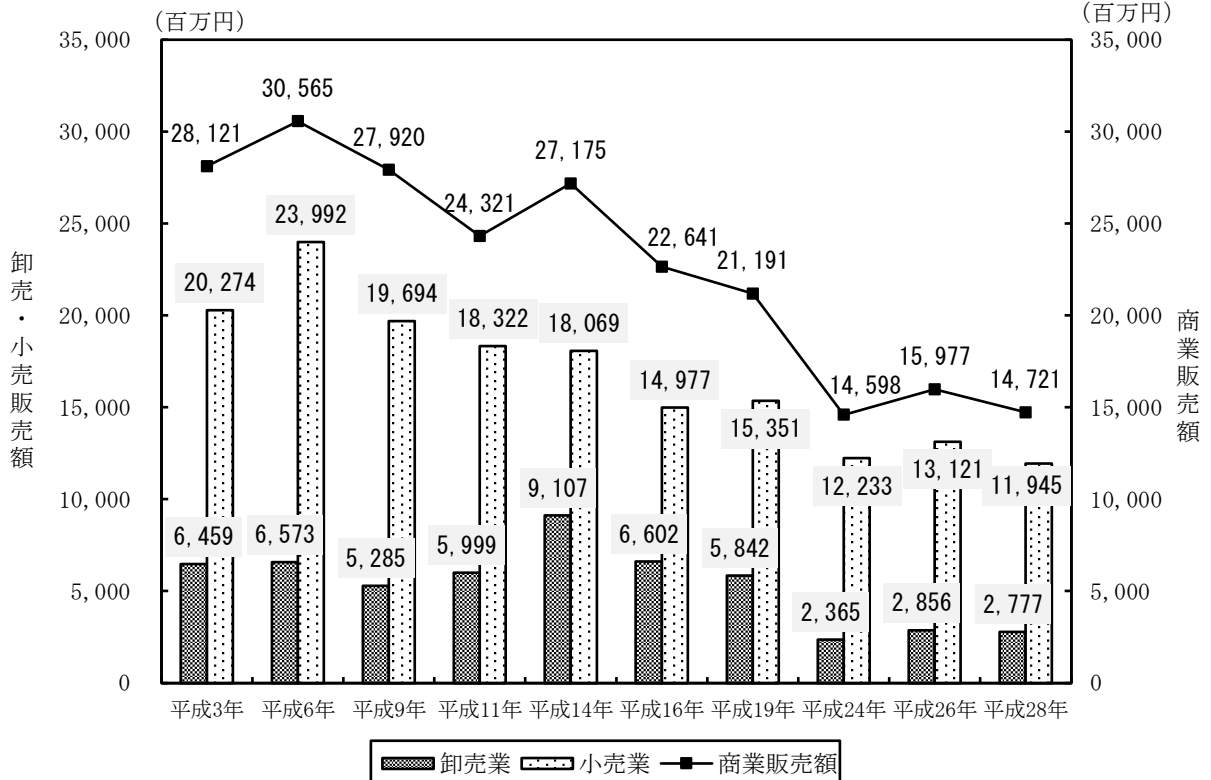


表2-8 商業販売額の推移

(単位:百万円)

	木曾町(旧町村合算)		旧木曾福島町		旧日義村		旧開田村		旧三岳村	
	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值
昭和63年	33,497	38,725	19,009	21,976	1,975	2,283	1,178	1,362	11,335	13,104
平成3年	26,518	28,121	21,306	22,594	2,442	2,590	1,308	1,387	1,462	1,550
平成6年	29,862	30,565	23,741	24,300	3,370	3,449	1,366	1,398	1,385	1,418
平成9年	27,780	27,920	22,338	22,450	2,924	2,939	1,251	1,257	1,267	1,273
平成11年	24,272	24,321	18,699	18,736	3,441	3,448	1,065	1,067	1,067	1,069
平成14年	26,496	27,175	20,676	21,206	3,589	3,681	1,380	1,415	851	873
平成16年	22,007	22,641	17,046	17,537	3,204	3,296	1,032	1,062	725	746
平成19年	20,598	21,191								
平成24年	14,043	14,598								
平成26年	15,849	15,977								
平成28年	14,706	14,721								

注:デフレータ補正值は、平成27年を100とした国内卸売物価指数で補正した数値。

資料:商業統計調査

表2-9-1 産業中分類別商業販売額

(単位:百万円)

産業中分類	平成3年		平成6年		平成9年		平成11年		平成14年		平成16年	
	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值
合計	26,518	28,121	29,862	30,565	27,780	27,920	24,272	24,321	26,496	27,175	22,007	22,641
卸売業計	6,091	6,459	6,422	6,573	5,259	5,285	5,987	5,999	8,879	9,107	6,417	6,602
49 各種商品卸売業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50 繊維・衣服等卸売業	2,834	3,005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
51 飲食料品卸売業			3,783	3,872	2,964	2,979	2,561	2,566	2,026	2,078	1,437	1,478
52 建築材料、鉱物金属等卸売業	3,047	3,231	993	1,016	χ	χ	1,391	1,394	5,180	5,313	2,248	2,313
53 機械器具卸売業			1,004	1,028	1,461	1,468	1,283	1,286	1,457	1,494	1,840	1,893
54 その他の卸売業	-	-	516	528	χ	χ	78	78	153	157	62	64
小売業計	19,118	20,274	23,440	23,992	19,596	19,694	18,285	18,322	17,617	18,069	14,558	14,977
55 各種商品小売業	χ	χ	χ	χ	χ	χ	110	110	χ	χ	χ	χ
56 繊維・衣服・身の回品小売業	1,120	1,188	930	952	119	120	589	590	161	165	405	417
57 飲食料品小売業	9,988	10,592	6,748	6,907	6,812	6,846	7,497	7,512	4,861	4,986	4,892	5,033
58 自動車・自転車小売業	4,382	4,647	4,499	4,605	3,479	3,496	3,155	3,161	3,071	3,150	274	282
59 家具・じゅう器等小売業	1,959	2,077	2,339	2,394	2,203	2,214	1,507	1,510	414	425	685	705
60 その他の小売業	1,173	1,244	587	601	5,950	5,980	4,948	4,958	5,599	5,743	4,784	4,922

注:・デフレータ補正值は、平成27年を100とした全国(総合)消費者物価指数で補正した数値。

資料:商業統計調査(各年6月1日)

表2-9-2 産業中分類別商業販売額

(単位:百万円)

産業中分類		平成19年		産業中分類		平成24年		平成26年		平成28年	
		販売額	デフレータ補正值			販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值
合計		20,598	21,191	合計		14,043	14,598	15,849	15,977	14,706	14,721
卸売業計		5,678	5,842	卸売業計		2,275	2,365	2,833	2,856	2,774	2,777
49	各種商品卸売業	-	-	50	各種商品卸売業	-	-			-	-
50	繊維・衣服等卸売業	χ	χ	51	繊維・衣服等卸売業	-	-			-	-
51	飲食料品卸売業	1,223	1,258	52	飲食料品卸売業	94	98			χ	χ
52	建築材料、鉱物金属等卸売業	3,214	3,307	53	建築材料、鉱物金属等卸売業	1,648	1,713			1,917	1,919
53	機械器具卸売業	1,142	1,175	54	機械器具卸売業	346	360			636	637
54	その他の卸売業	χ	χ	55	その他の卸売業	187	194			χ	χ
小売業計		14,921	15,351	小売業計		11,768	12,233	13,016	13,121	11,933	11,945
55	各種商品小売業	χ	χ	56	各種商品小売業	-	-	80	81	-	-
56	繊維・衣服・身の回品小売業	257	264	57	繊維・衣服・身の回品小売業	141	147	165	166	156	156
57	飲食料品小売業	6,530	6,718	58	飲食料品小売業	1,204	1,252	5,234	5,276	4,164	4,168
58	自動車・自転車小売業	2,517	2,590	59	機械器具小売業	236	245	1,830	1,845	2,317	2,319
59	家具・じゅう器等小売業	401	413	60	その他の小売業	χ	χ	5,600	5,645	5,221	5,226
60	その他の小売業	χ	χ	61	無店舗小売業	χ	χ	106	107	75	75

注:・デフレータ補正值は、平成27年を100とした全国(総合)消費者物価指数で補正した数値。

資料:商業統計調査(各年6月1日、平成26年は7月1日)平成24年は経済センサス-活動調査(平成24年2月)

・平成26年卸売業の50~55の産業中分類は公表されていない。平成28年経済センサス-活動調査(平成28年6月1日)

■ 商業販売額の推計(実質販売額)

平成19年から平成28年までの商業販売額を基に行った推計結果は、卸売業においては平成28年の商業販売額28億円が令和17年には0.1～4.7億円の幅で推計され、そのうち決定係数の最も高い0.1億円と推測される。

小売業は、平成28年の商業販売額119億円が令和17年には18～73億円の幅で推計され、そのうち決定係数の最も高い回帰式によると18億円と推測される。

表2-10 商業販売額将来推計(合計)

(単位:百万円)

推計方法	平成28年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年
直線: $y=ax+b$	(実績値)	11,125	7,579	4,033	486
対数: $y=a\log x+b$	14,721	11,135	7,607	4,088	578
指数: $y=ab^x$		12,094	9,927	8,148	6,688
ロジスティック: $y=k/(1+a\exp^{-bx})$		8,823	4,312	1,818	712

表2-11 商業販売額将来推計(卸売業)

(単位:百万円)

推計方法	平成28年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年
直線: $y=ax+b$	(実績値)	715	0	0	0
対数: $y=a\log x+b$	2,777	720	0	0	0
指数: $y=ab^x$		1,671	1,091	712	465
ロジスティック: $y=k/(1+a\exp^{-bx})$		767	190	44	10

推計方法	推計式	
直線	$y=-354.189944134078x+716178.715083799$	決定係数=0.7287
対数	$y=-712636.410749332\log x+5424490.44695928$	決定係数=0.7292
指数	$y=1.03698263361423E+78*0.918277335055138^x$	決定係数=0.6689
ロジスティック	$y=6426.2/(1+6.2799586064422E-262\exp^{-0.298732038217428x})$	決定係数=0.7509

表2-12 商業販売額将来推計(小売業)

(単位:百万円)

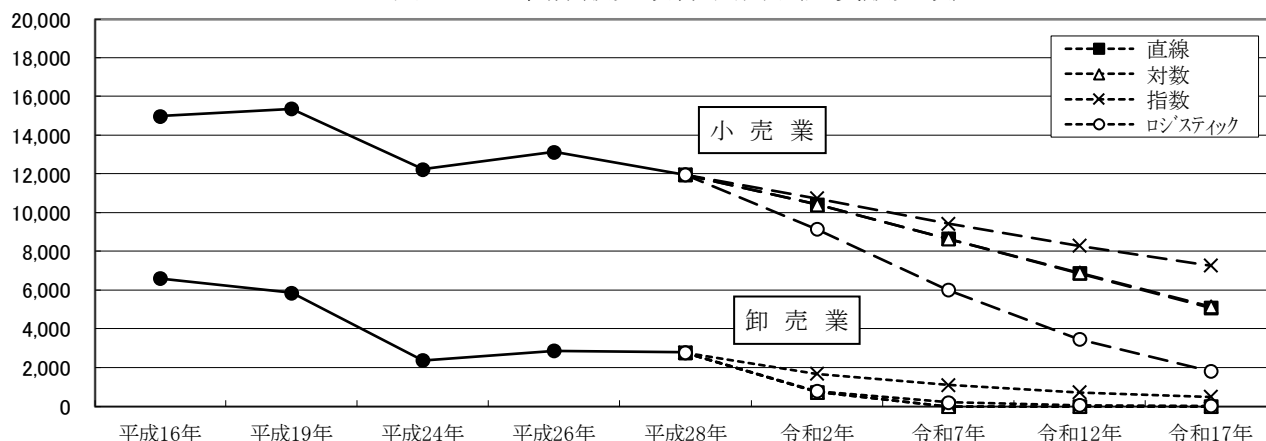
推計方法	平成28年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年
直線: $y=ax+b$	(実績値)	10,410	8,634	6,858	5,082
対数: $y=a\log x+b$	11,945	10,415	8,648	6,886	5,128
指数: $y=ab^x$		10,717	9,415	8,272	7,267
ロジスティック: $y=k/(1+a\exp^{-bx})$		9,144	5,994	3,446	1,802

推計方法	推計式	
直線	$y=-355.206703910615x+727927.189944134$	決定係数=0.7911
対数	$y=-714556.31032014\log x+5448797.63719327$	決定係数=0.7914
指数	$y=5.55665308440149E+26*0.974439928838988^x$	決定係数=0.7822
ロジスティック	$y=16886.1/(1+8.5200511872038E-135\exp^{-0.152742689501047x})$	決定係数=0.8137

注:平成16年～平成28年の数値(デフレータ補正值)により推計。

(百万円)

図2-14 商業販売額将来推計(実質販売額)



3. 土地利用

C0302 土地利用現況

土地利用の状況を土地利用区分別にみると、行政区域面積47,603haのうち山林91.9%、農地1.8%などとなっており、水面等を含めた自然的土地利用は96.5%である。残りの3.5%は宅地等の都市的土地利用である。

都市計画区域における土地利用の状況は、区域面積577haの67.4%が自然的土地利用で、残りの32.6%が都市的土地利用となっている。自然的土地利用の内訳は山林50.1%、農地7.1%などとなっており、山林の占める割合が多くなっている。

用途地域指定区域においては、面積192haのうち自然的土地利用は25.5%、都市的土地利用は74.5%であり、そのうち住宅用地が28.8%で最も多く、商業用地の5.6%、工業用地の1.0%を併せた宅地全体では35.4%を占めている。また、可住地面積は区域面積の62.8%にあたる120.6haである。

表3-1 土地利用別面積

(単位:ha)

区 分	用途地域指定区域	用途地域指定外区域	都市計画区域	都市計画区域外	行政区域	
自然的土地利用	田	9.1	16.7	185.0	201.7	
	畑	12.9	11.5	652.7	677.1	
	農地小計	20.5	20.6	837.7	878.8	
	山林	16.8	272.1	288.9	43,475.4	43,764.3
	水面	0.2	19.3	19.5	338.8	358.3
	その他自然地	11.4	27.9	39.3	889.6	928.9
小計	48.9	339.9	388.8	45,541.5	45,930.3	
都市的土地利用	住宅用地	55.3	14.3	69.6	328.5	398.1
	商業用地	10.8	2.9	13.7	68.0	81.7
	工業用地	1.9	2.3	4.2	41.4	45.6
	宅地小計	68.0	19.5	87.5	437.9	525.4
	公共・公益用地	33.4	5.0	38.4	118.0	156.4
	道路用地	26.6	17.1	43.7	480.0	523.7
	交通施設用地	6.2	1.4	7.6	12.9	20.5
	その他の公的用地	—	—	—	—	—
	その他の空地	8.9	2.1	11.0	435.7	446.7
小計	143.1	45.1	188.2	1,484.5	1,672.7	
合計	192.0	385.0	577.0	47,026.0	47,603.0	
可住地	120.6	324.6	445.2	2,356.3	2,801.5	
非可住地	71.4	60.4	131.8	44,669.7	44,801.5	

注1. 「公共・公益用地」は土地利用現況図の「公共施設用地」と「公共空地」の合計。

注2. 非可住地は以下の通りとする。

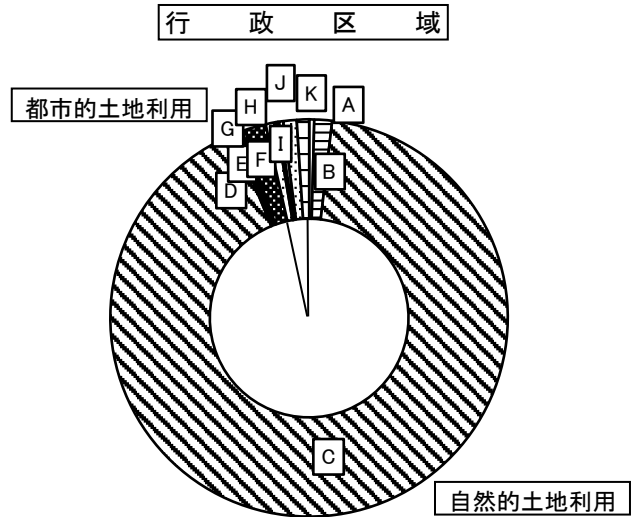
「水面」、「その他の自然地(耕作放棄地は含まない)」、「公共・公益用地」、「道路用地」、「交通施設用地」、「その他の公的施設用地」のほか大規模商業、工業用地、土地利用に関係なく都市計画区域外の山林も非可住地とした。

図3-1 土地利用別面積

■土地利用別面積(行政区域)

利用区分	行政区域	構成比
A-田	201.70	0.4
B-畑	677.10	1.4
C-山林	43,764.30	91.9
D-水面	358.30	0.8
E-その他自然地	928.90	2.0
F-住宅用地	398.10	0.8
G-商業用地	81.70	0.2
H-工業用地	45.60	0.1
I-公共・公益用地	156.40	0.3
J-道路用地	523.70	1.1
K-その他都市的土地利用	467.20	1.0
合計	47,603.00	100.0

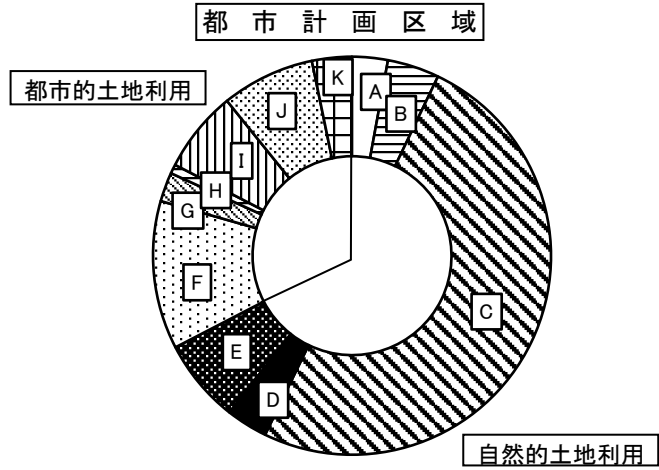
(単位:ha、%)



■土地利用別面積(都市計画区域)

利用区分	都市計画区域	構成比
A-田	16.70	2.9
B-畑	24.40	4.2
C-山林	288.90	50.1
D-水面	19.50	3.4
E-その他自然地	39.30	6.8
F-住宅用地	69.60	12.1
G-商業用地	13.70	2.4
H-工業用地	4.20	0.7
I-公共・公益用地	38.40	6.7
J-道路用地	43.70	7.6
K-その他都市的土地利用	18.60	3.2
合計	577.00	100.0

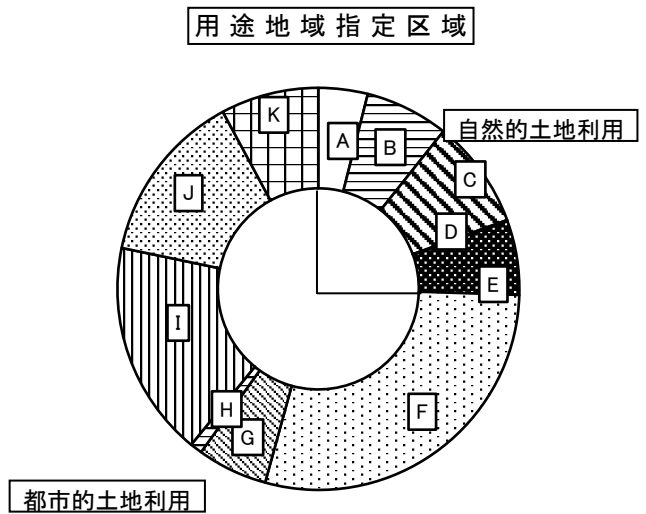
(単位:ha、%)



■土地利用別面積(用途地域指定区域)

利用区分	用途地域指定区域	構成比
A-田	7.60	4.0
B-畑	12.90	6.7
C-山林	16.80	8.8
D-水面	0.20	0.1
E-その他自然地	11.40	5.9
F-住宅用地	55.30	28.8
G-商業用地	10.80	5.6
H-工業用地	1.90	1.0
I-公共・公益用地	33.40	17.4
J-道路用地	26.60	13.9
K-その他都市的土地利用	15.10	7.9
合計	192.00	100.0

(単位:ha、%)



C0304 宅地開発状況

都市計画区域における宅地開発の状況は、これまで3,000㎡以上の宅地開発・開発行為は行われなかったが、令和元年に工業が1件、面積15,074.1㎡の開発が行われている。

表3-2 開発許可状況

年次	都市計画区域					
	住宅	商業	工業	農林漁業	その他	合計
令和元年	() ㎡ (件)	()	15,074.10 (1)	()	()	15,074.10 (1)

C0305 農地転用状況

都市計画区域における農地転用状況は平成27年から令和元年までの5年間で23件、面積21,541.70㎡であり、そのうち用途地域指定区域が18件、面積が18,310.70㎡、用途地域指定外区域が5件、面積が3,231.00㎡となっている。

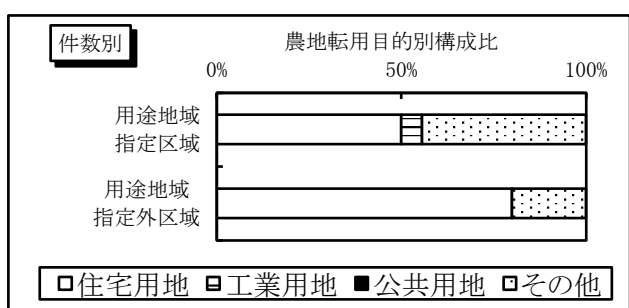
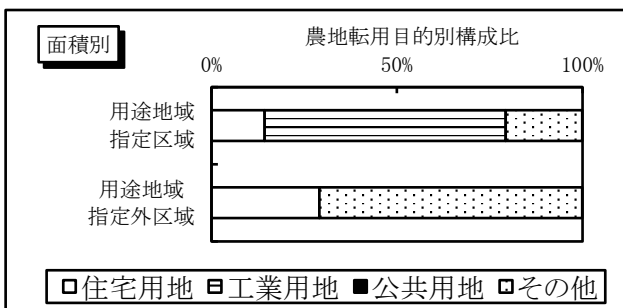
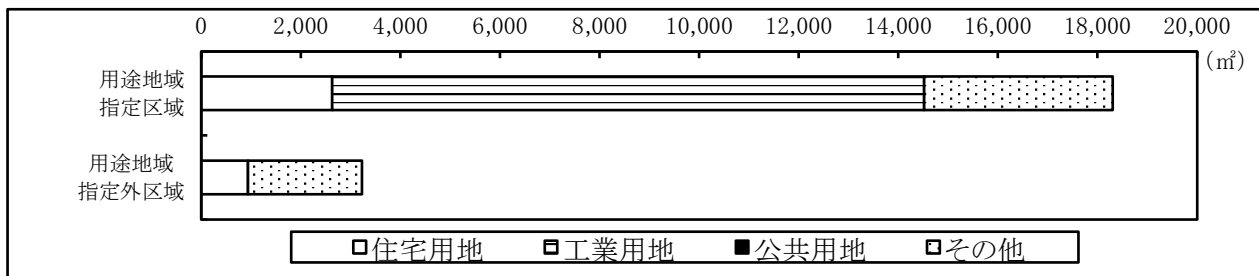
表3-3 農地転用状況

(単位:件、㎡)

		住宅用地		工業用地		公共用地		その他		合計		前年度の農地面積(ha)	転用率(%)
		件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積		
指用 定途 区地 域	平成27年	1	494.00	0	0.00	0	0.0	2	451.00	3	945.00	22.32	0.4
	平成28年	2	725.00	0	0.00	0	0.0	2	161.00	4	886.00	22.23	0.4
	平成29年	0	0.00	0	0.00	0	0.0	2	323.60	2	323.60	22.14	0.2
	平成30年	4	1,181.00	0	0.00	0	0.0	2	2,853.57	6	4,034.57	22.11	1.8
	令和元年	2	230.53	1	11,891.00	0	0.0	0	0.00	3	12,121.53	21.71	5.6
	合計	9	2,630.53	1	11,891.00	0	0.0	8	3,789.17	18	18,310.70		8.2
指用 定外 区地 域	平成27年	0	0.00	0	0.00	0	0.0	0	0.00	0	0.00	20.92	0.0
	平成28年	3	796.00	0	0.00	0	0.0	1	2,290.00	4	3,086.00	20.92	1.5
	平成29年	0	0.00	0	0.00	0	0.0	0	0.00	0	0.00	20.61	0.0
	平成30年	1	145.00	0	0.00	0	0.0	0	0.00	1	145.00	20.61	0.1
	令和元年	0	0.00	0	0.00	0	0.0	0	0.00	0	0.00	20.60	0.0
	合計	4	941.00	0	0.00	0	0.0	1	2,290.00	5	3,231.00		1.5
都 市 計 画 区 域	平成27年	1	494.00	0	0.00	0	0.0	2	451.00	3	945.00	43.24	0.2
	平成28年	5	1,521.00	0	0.00	0	0.0	3	2,451.00	8	3,972.00	43.15	0.9
	平成29年	0	0.00	0	0.00	0	0.0	2	323.60	2	323.60	42.75	0.1
	平成30年	5	1,326.00	0	0.00	0	0.0	2	2,853.57	7	4,179.57	42.72	1.0
	令和元年	2	230.53	1	11,891.00	0	0.0	0	0.00	3	12,121.53	42.31	2.9
	合計	13	3,571.53	1	11,891.00	0	0.0	9	6,079.17	23	21,541.70		5.0

資料:農地転用受付簿

図3-2 農地転用状況(平成27年~令和元年)



C0307 新築動向

都市計画区域における平成27年から令和元年までの5年間の新築件数は47件で、敷地面積が24,997.30㎡、建築面積が4,942.81㎡、延べ床面積が9,073.60㎡である。用途別の件数の比率は住宅が87.2%、商業が6.4%、その他が6.4%となっている。

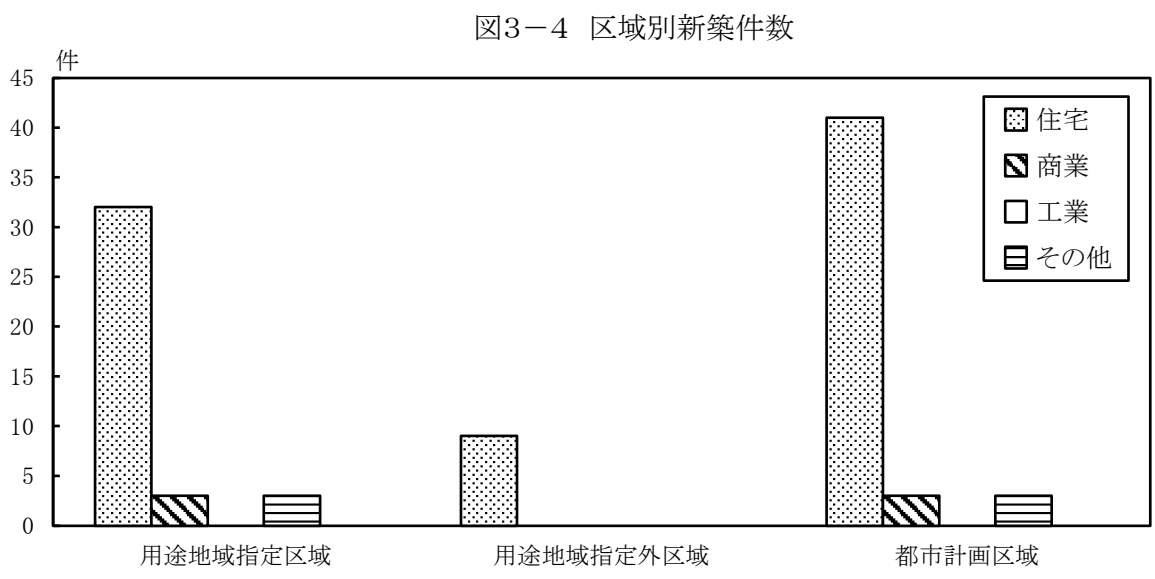
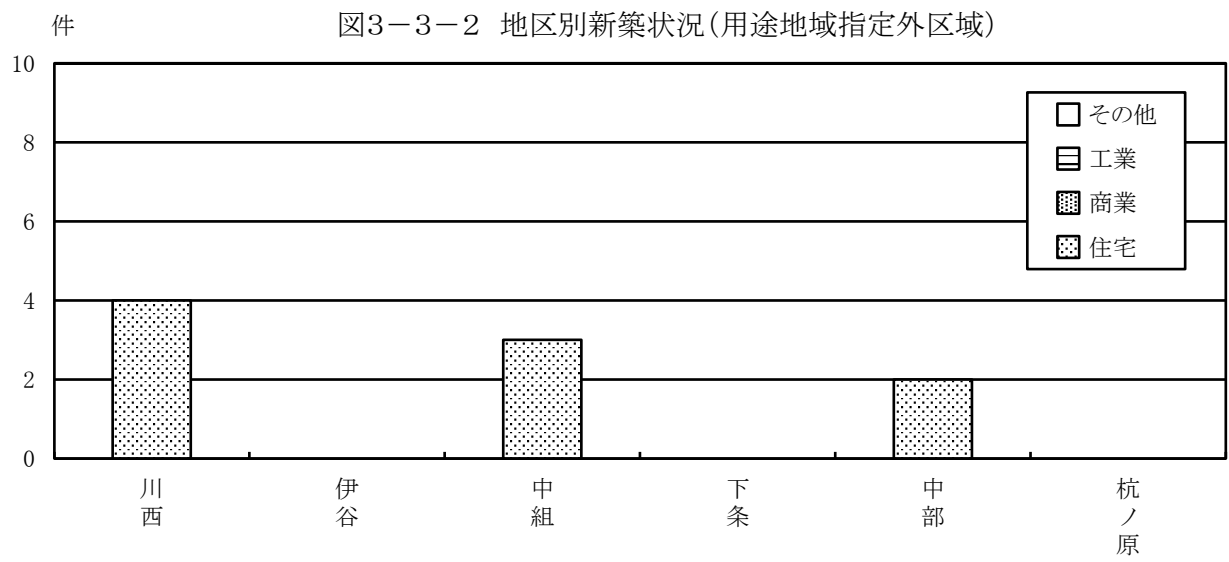
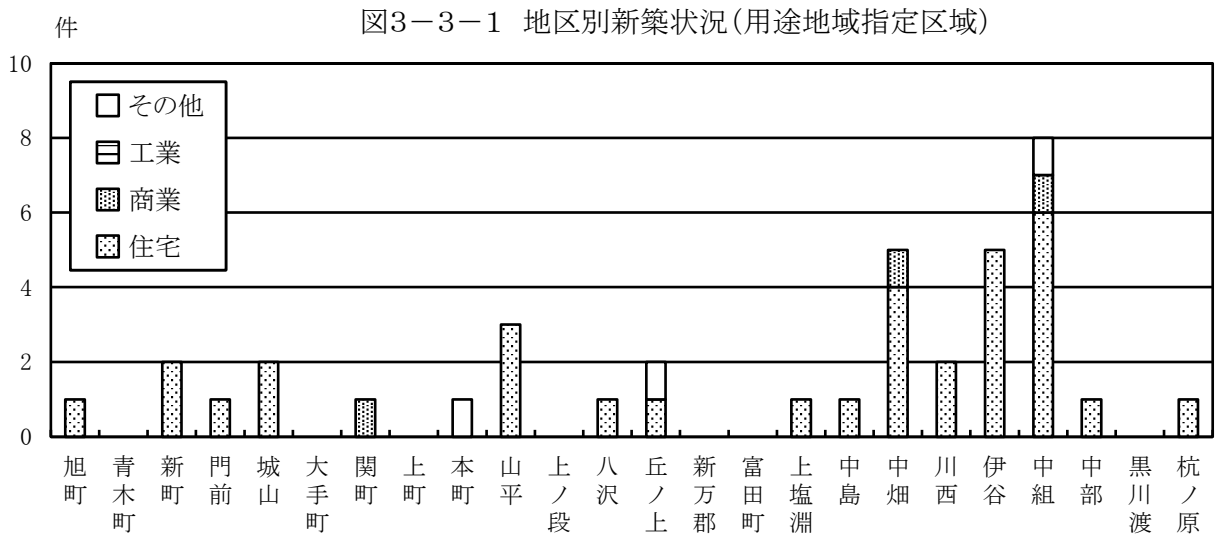
用途地域指定区域の新築状況については、件数38件のうち住宅が32件(84.2%)を占めている。敷地面積は21,958.40㎡、建築面積は4,370.68㎡、延べ床面積は7,995.09㎡であり、平均建蔽率、容積率はそれぞれ19.9%、36.4%になっている。

表3-4 地区別新築状況

(単位:㎡、%)

地区名	新築件数					敷地面積 合計	平均敷地 面積	建築面積 合計	平均 建蔽率	延床面積 合計	平均 容積率
	合計	住宅	商業	工業	その他						
旭町	1	1	0	0	0	781.50	781.50	59.69	7.6	115.25	14.7
青木町	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0
新町	2	2	0	0	0	934.90	467.45	200.39	21.4	200.39	21.4
門前	1	1	0	0	0	950.50	950.50	78.90	8.3	122.37	12.9
城山	2	2	0	0	0	537.20	268.60	121.55	22.6	222.39	41.4
大手町	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0
関町	1	0	1	0	0	148.20	148.20	28.40	19.2	28.40	19.2
上町	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0
本町	1	0	0	0	1	124.20	124.20	30.37	24.5	30.37	24.5
山平	3	3	0	0	0	842.30	280.77	218.03	25.9	267.71	31.8
上ノ段	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0
八沢	1	1	0	0	0	320.80	320.80	114.27	35.6	228.54	71.2
丘ノ上	2	1	0	0	1	1,174.10	587.05	108.39	9.2	160.56	13.7
新万郡	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0
富田町	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0
上塩淵	1	1	0	0	0	426.40	426.40	71.38	16.7	136.14	31.9
中島	1	1	0	0	0	310.40	310.40	86.75	27.9	173.50	55.9
中畑	5	4	1	0	0	3,284.20	656.84	552.84	16.8	1,012.28	30.8
川西	2	2	0	0	0	1,196.30	598.15	165.19	13.8	291.88	24.4
伊谷	5	5	0	0	0	2,642.50	528.50	323.16	12.2	609.88	23.1
中組	8	6	1	0	1	7,044.50	880.56	1,981.48	28.1	3,949.99	56.1
中部	1	1	0	0	0	719.90	719.90	157.59	21.9	315.18	43.8
黒川渡	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0
杭ノ原	1	1	0	0	0	520.50	520.50	72.30	13.9	130.26	25.0
用途地域 指定区域	38	32	3	0	3	21,958.40	577.85	4,370.68	19.9	7,995.09	36.4
川西	4	4	0	0	0	1,281.80	320.45	263.47	20.6	495.46	38.7
伊谷	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0
中組	3	3	0	0	0	1,355.60	451.87	192.93	14.2	362.47	26.7
下条	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0
中部	2	2	0	0	0	401.50	200.75	115.73	28.8	220.58	54.9
杭ノ原	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0
用途地域 指定外区域	9	9	0	0	0	3,038.90	337.66	572.13	18.8	1,078.51	35.5
都市計画 区域	47	41	3	0	3	24,997.30	531.86	4,942.81	19.8	9,073.60	36.3

資料:固定資産土地・家屋課税データ(令和元年12月31日)



C0308 条例・協定

表3-5 都市計画に関する条例・要綱等

決定主体	条例・要綱等の名称	公布・決定年月日		概要・主旨等
		当初	最終変更	
木曾町	木曾町都市計画審議会条例	平成17年11月1日 条例第159号	-	木曾町都市計画審議会を設置する
木曾町	木曾町福島宿周辺区域街なみ環境整備要綱	平成17年11月1日 条例第60号	-	木曾町福島宿周辺内の景観づくりに関して必要な事項を定める
木曾町	木曾町民間空間修景事業補助金交付要綱	平成17年11月1日 告示第61号	平成23年10月12日 告示第37号	建造物等の修理、修景に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付することについて必要な事項を定める
木曾町	木曾町屋外広告物違反処理要領	平成17年11月1日 告示第62号	平成30年3月14日 告示第13号	違反広告物に対する除却その他必要な措置に係る手続に関し、必要な事項を定める
木曾町	木曾町駐車場条例	平成17年11月1日 条例第160号	令和2年6月16日 条例第26号	市街地における自動車の駐車需要に応じ、もって町民等の利便に資するため、駐車場を設置する。
木曾町	木曾町日義自然景観保護条例	平成17年11月1日 条例第161号	-	自然との調和のとれた開発が行われるよう必要な規制を行い、もってこの地の自然景観を将来に向けて保護することを目的とする
木曾町	木曾町御嶽山麓地域開発基本条例	平成17年11月1日 条例第162号	平成30年6月14日 条例第20号	御嶽山が木曾町のシンボル(平成29年告示第1号)に指定されたことに鑑み、この地域の景観と自然環境及び住民の生活環境の保全を図るため、地域の開発造成に当たり、必要な施策の基本となる事項を定める
木曾町	木曾町御嶽山麓地域建築協定条例	平成17年11月1日 条例第170号	平成29年6月16日 条例第21号	建築基準法(昭和25年法律第201号。以下「法」という。)第4章に規定する建築協定の実施に関し、必要な事項を定める
木曾町	木曾町開田高原屋根ペンキ塗り事業補助金交付要綱	平成28年5月13日 告示第45号	-	住宅の屋根を自然に同調する色に塗装又はふき替えをした場合に、その経費の一部を補助することに関し、木曾町補助金等交付規則(平成17年木曾町規則第35号)に定めるもののほか、必要な事項を定める
木曾町	木曾町地区計画等の案の作成手続に関する条例	令和元年6月14日 条例第18号	-	地区計画等の案の内容となるべき事項の提示方法及び意見の提出方法並びに地区計画等に関する都市計画の決定若しくは変更又は地区計画等の原案の申出方法に関し必要な事項を定める
木曾町	木曾町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例	令和元年12月10日 条例第35号	-	建築基準法(昭和25年法律第201号)第68条の2第1項の規定に基づき、地区計画の区域内における建築物に関する制限を定める
木曾町	木曾町環境基本条例	平成20年6月27日 条例第275号	-	良好な環境の保全と創造について、基本理念を定め、町、町民及び事業者それぞれの責務を明らかにし、総合的かつ計画的に推進するための施策の基本となる事項を定める
木曾町	木曾町公共下水道条例	平成17年11月1日 条例第163号	令和元年12月10日 条例第33号	下水道法(昭和33年法律第79号)その他法令で定めるもののほか、必要な事項を定める
木曾町	木曾町町道の構造の技術的基準等に関する条例	平成25年3月13日 条例第12号	-	道路法(昭和27年法律第180号。)第30条第3項、第45条第3項及び第48条の3ただし書の規定により、町道の構造の技術的基準、町道に設ける道路標識の寸法及び自動車専用道路と道路等との交差の方式の特例について定める

資料:例規集

表3-6 地区計画等決定状況

地区計画等の名称	決定期日	計画の内容	備考
田尻地区計画	令和元年10月30日	1 区域の整備・開発及び保全の方針 ・地区計画の目標 ・土地利用の方針 ・地区施設の整備の方針 ・建築物等の整備の方針 2 地区整備計画 ・建築物等の用途の制限 ・建築物等の形態又は意匠の制限 ・垣又はさくの構造の制限 ・現に存する樹林地、草地等で良好な居住環境を確保するため必要なものの保全に関する事項	法12条の5第1項地区面積: 約6.4ha

表3-7 都市地域(用途地域指定区域・用途地域指定外区域面積)

(単位:ha)

指定区域外	用途地域別面積														備考
	総面積	住居専用地域	住居第1種低層	住居第2種低層	住居第1種中高層	住居第2種中高層	住居第1種地域	住居第2種地域	準住居地域	田園住居地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	
385	192	23	-	47	16	45	-	23	-	0.8	12	19	6.4	-	用途地域決定年月日 昭和49年12月2日 最終用途地域決定年月日 令和元年10月30日 人口総数 11,826(平成27年国勢調査)

4. 建 物

C0401-2② 地区別木造率現況表

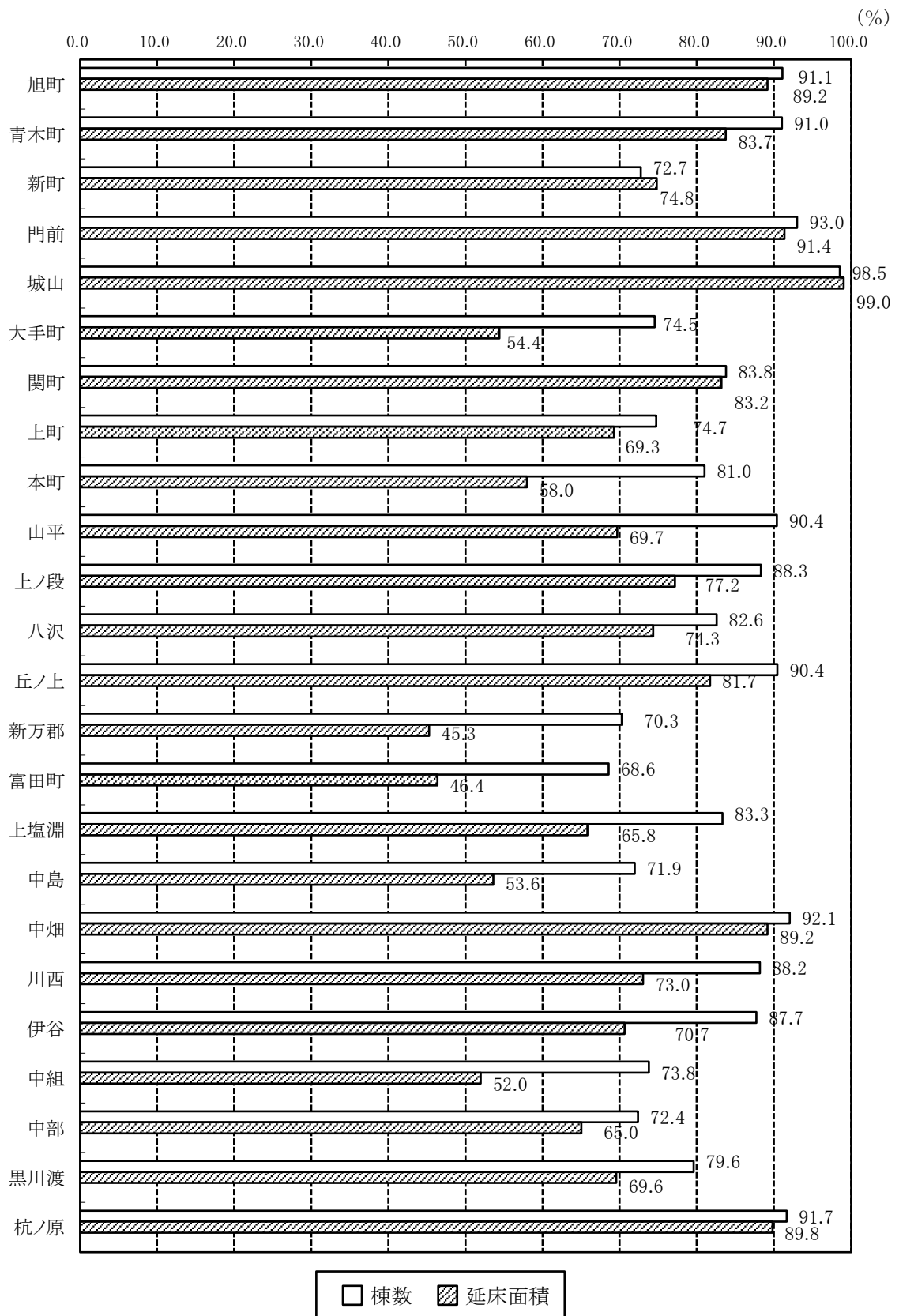
本町の用途地域指定区域における木造建物の棟数は2,361棟、延床面積は229,732.47㎡であり、用途地域指定区域全建物の棟数では83.7%、延床面積では68.8%を占めている。

表4-1 地区別木造率現況(用途地域区域)

地区名	全建物棟数	全建物延床面積	木 造 建 物			
			棟数	比 率	延床面積	比 率
	棟	㎡	棟	%	㎡	%
旭 町	135	11,540.00	123	91.1	10,292.06	89.2
青 木 町	67	6,615.92	61	91.0	5,540.54	83.7
新 町	44	4,831.69	32	72.7	3,614.12	74.8
門 前	86	8,093.14	80	93.0	7,393.35	91.4
城 山	137	11,777.53	135	98.5	11,663.29	99.0
大 手 町	55	9,120.51	41	74.5	4,962.23	54.4
関 町	37	3,503.32	31	83.8	2,914.92	83.2
上 町	95	13,076.64	71	74.7	9,058.87	69.3
本 町	137	22,330.13	111	81.0	12,948.93	58.0
山 平	208	23,120.55	188	90.4	16,111.01	69.7
上 ノ 段	120	12,936.01	106	88.3	9,981.52	77.2
八 沢	132	15,188.45	109	82.6	11,292.50	74.3
丘 ノ 上	136	12,067.73	123	90.4	9,861.99	81.7
新 万 郡	138	20,848.68	97	70.3	9,443.00	45.3
富 田 町	70	11,374.21	48	68.6	5,272.73	46.4
上 塩 淵	66	7,117.57	55	83.3	4,683.87	65.8
中 島	196	26,605.47	141	71.9	14,266.63	53.6
中 畑	189	19,675.70	174	92.1	17,545.20	89.2
川 西	220	28,117.55	194	88.2	20,539.27	73.0
伊 谷	106	13,946.57	93	87.7	9,853.44	70.7
中 組	225	30,284.79	166	73.8	15,742.23	52.0
中 部	76	7,404.51	55	72.4	4,815.41	65.0
黒 川 渡	49	5,075.90	39	79.6	3,531.42	69.6
杭 ノ 原	96	9,355.01	88	91.7	8,403.94	89.8
用途地域指定区域	2,820	334,007.58	2,361	83.7	229,732.47	68.8

資料: 固定資産土地・家屋課税データ(令和元年12月31日)

図4-1 地区別建物木造比率(用途地域指定区域)



C0401-3, -4 地区別建蔽率・容積率現況

用途地域指定区域における宅地面積は786,154.07㎡で、用途地域全面積(192ha)の40.9%を占めており、建築面積は215,884.22㎡で平均建蔽率は27.5%、延床面積は334,007.58㎡で平均容積率は42.5%である。

地区別の建蔽率については、商業地域に指定されている上町、本町、商業地域が含まれている富田町、八沢が40%を越えており、それぞれ48.3%、45.4%、48.5%、45.7%である。

地区別の容積率は、建蔽率と同じ状況で商業地域に指定されている本町、上町、商業地域が含まれている富田町、八沢が高くなっており、それぞれが101.5%、89.3%、80.2%、71.5%である。

表4-2 地区別建蔽率・容積率現況

地区名	地区面積 (ha)	宅地面積合計 (㎡)	建築面積合計 (㎡)	建蔽率(%)		延床面積合計 (㎡)	容積率(%)	
				ネット	グロス		ネット	グロス
旭町	4.6	32,651.10	8,206.41	25.1	17.8	11,540.00	35.3	25.1
青木町	1.8	10,542.34	4,195.35	39.8	23.3	6,615.92	62.8	36.8
新町	1.4	10,282.42	3,170.72	30.8	22.6	4,831.69	47.0	34.5
門前	4.3	23,373.46	5,533.35	23.7	12.9	8,093.14	34.6	18.8
城山	6.7	27,654.70	7,994.80	28.9	11.9	11,777.53	42.6	17.6
大手町	4.3	19,338.43	4,645.22	24.0	10.8	9,120.51	47.2	21.2
関町	8	9,519.52	2,241.65	23.5	2.8	3,503.32	36.8	4.4
上町	2.1	14,635.88	7,067.25	48.3	33.7	13,076.64	89.3	62.3
本町	3.2	22,001.68	9,993.73	45.4	31.2	22,330.13	101.5	69.8
山平	14.8	43,375.51	15,017.82	34.6	10.1	23,120.55	53.3	15.6
上ノ段	3.6	20,517.75	8,326.05	40.6	23.1	12,936.01	63.0	35.9
八沢	4.7	21,242.29	9,701.05	45.7	20.6	15,188.45	71.5	32.3
丘ノ上	9.9	35,039.99	8,783.81	25.1	8.9	12,067.73	34.4	12.2
新万郡	13.6	43,248.89	12,423.59	28.7	9.1	20,848.68	48.2	15.3
富田町	2.8	14,179.02	6,877.51	48.5	24.6	11,374.21	80.2	40.6
上塩淵	3.2	15,809.15	4,589.90	29.0	14.3	7,117.57	45.0	22.2
中島	7.2	52,691.15	17,593.49	33.4	24.4	26,605.47	50.5	37.0
中畑	6.7	36,961.11	13,347.41	36.1	19.9	19,675.70	53.2	29.4
川西	18.2	117,705.55	18,749.57	15.9	10.3	28,117.55	23.9	15.4
伊谷	20.3	46,101.42	9,163.70	19.9	4.5	13,946.57	30.3	6.9
中組	21.8	82,226.56	21,901.82	26.6	10.0	30,284.79	36.8	13.9
中部	6.6	19,923.62	5,442.99	27.3	8.2	7,404.51	37.2	11.2
黒川渡	6.3	12,811.85	3,852.41	30.1	6.1	5,075.90	39.6	8.1
杭ノ原	15.9	54,320.68	7,064.62	13.0	4.4	9,355.01	17.2	5.9
用途地域 指定区域	192.0	786,154.07	215,884.22	27.5	11.2	334,007.58	42.5	17.4

資料: 固定資産土地・家屋課税データ(令和元年12月31日)

図4-2 地区別建蔽率現況(用途地域指定区域)

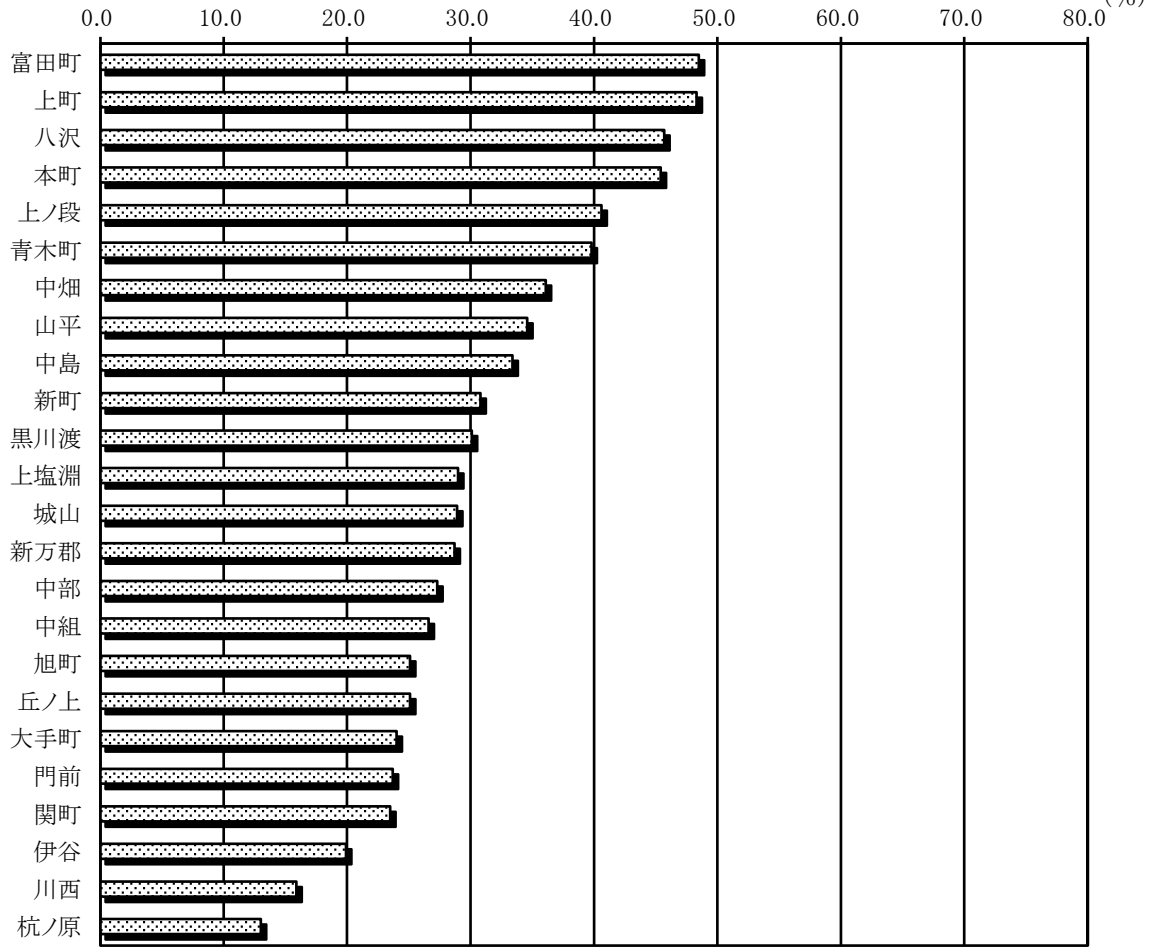
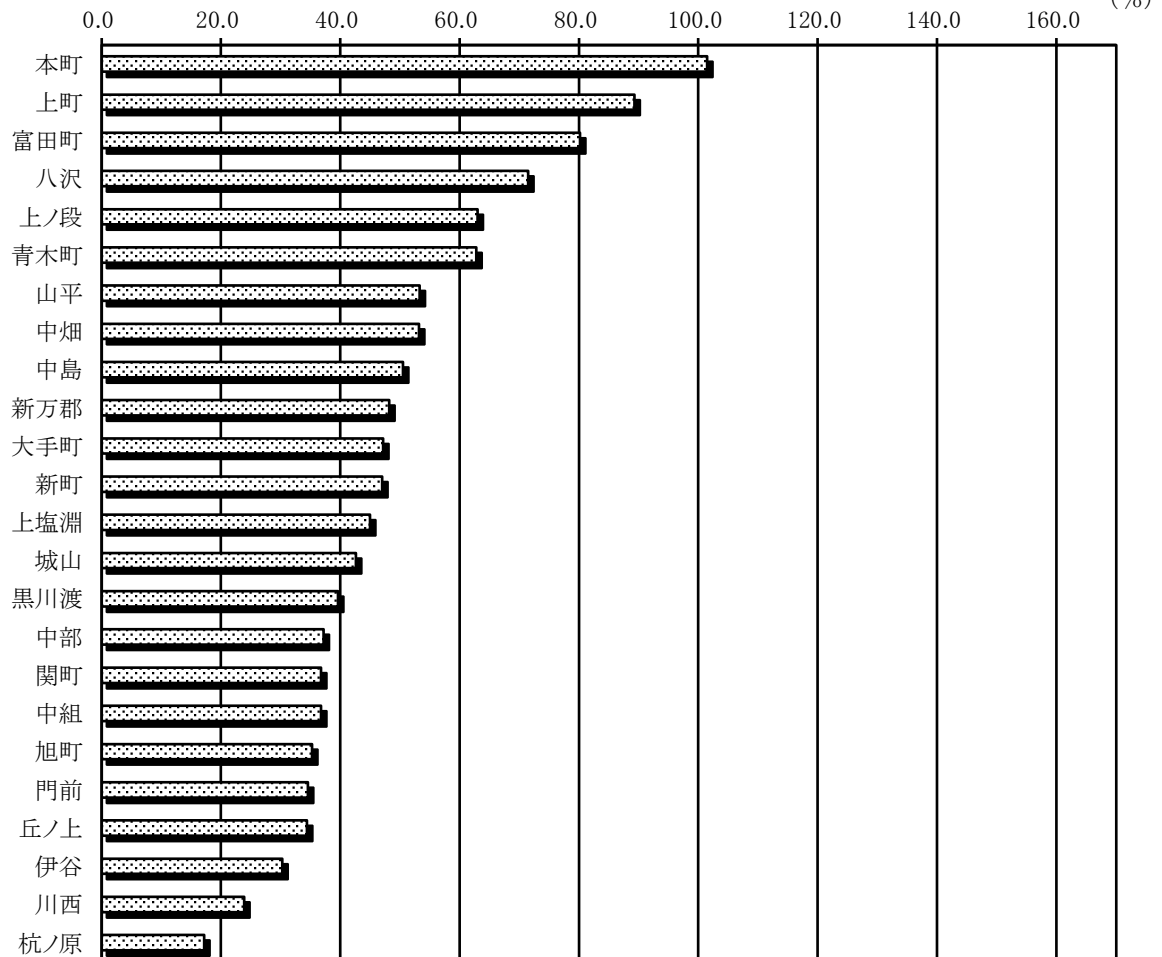


図4-3 地区別容積率現況(用途地域指定区域)



C0401-5 地区別・用途別の建物延べ床面積現況

用途地域指定区域における全建物延床面積は334,007.58㎡であり、建物の用途別では住宅が209,846.05㎡で全体の62.8%を占めており、次いで専用店舗・事務所が53,174.60㎡(15.9%)、店舗・事務所併用住宅が41,722.69㎡(12.5%)、専用工場・倉庫が24,462.68㎡(7.3%)などとなっている。

地区別では、ほとんどの地区において住宅の占める割合が多くなっているが、地区の全域や一部が商業地域、近隣商業地域に指定されているところでは店舗・事務所併用住宅、専用店舗・事務所の占める割合が多くなっている。上町、本町は店舗・事務所併用住宅の占める割合が最も高く、それぞれ46.1%、37.7%となっている。富田町は専用店舗・事務所の占める割合が最も高く47.8%となっている。

表4-3 地区別・用途別の建物延べ床面積現況

		住 宅	工場・倉庫 併用住宅	専用工場 ・倉庫	店舗・事務所 併用住宅	専用店舗 ・事務所	そ の 他	合 計
旭 町	面積(㎡)	9,276.62	0.00	502.12	1,427.30	333.96	0.00	11,540.00
	構成比(%)	80.4	0.0	4.4	12.4	2.9	0.0	100.0
青 木 町	面積(㎡)	5,172.70	0.00	411.50	382.22	0.00	649.50	6,615.92
	構成比(%)	78.2	0.0	6.2	5.8	0.0	9.8	100.0
新 町	面積(㎡)	3,398.24	0.00	184.12	261.14	24.79	963.40	4,831.69
	構成比(%)	70.3	0.0	3.8	5.4	0.5	19.9	100.0
門 前	面積(㎡)	7,001.22	63.32	75.95	952.65	0.00	0.00	8,093.14
	構成比(%)	86.5	0.8	0.9	11.8	0.0	0.0	100.0
城 山	面積(㎡)	11,259.99	0.00	49.58	201.65	266.31	0.00	11,777.53
	構成比(%)	95.6	0.0	0.4	1.7	2.3	0.0	100.0
大 手 町	面積(㎡)	4,452.12	0.00	262.36	1,692.96	2,713.07	0.00	9,120.51
	構成比(%)	48.8	0.0	2.9	18.6	29.7	0.0	100.0
関 町	面積(㎡)	2,649.07	233.57	149.43	223.85	247.40	0.00	3,503.32
	構成比(%)	75.6	6.7	4.3	6.4	7.1	0.0	100.0
上 町	面積(㎡)	5,130.45	0.00	482.71	6,026.89	1,436.59	0.00	13,076.64
	構成比(%)	39.2	0.0	3.7	46.1	11.0	0.0	100.0
本 町	面積(㎡)	4,755.10	571.40	2,116.34	8,411.31	6,475.98	0.00	22,330.13
	構成比(%)	21.3	2.6	9.5	37.7	29.0	0.0	100.0
山 平	面積(㎡)	15,973.93	136.81	2,291.36	658.50	4,059.95	0.00	23,120.55
	構成比(%)	69.1	0.6	9.9	2.8	17.6	0.0	100.0
上ノ段	面積(㎡)	8,693.35	126.44	1,106.28	1,881.06	1,128.88	0.00	12,936.01
	構成比(%)	67.2	1.0	8.6	14.5	8.7	0.0	100.0
八 沢	面積(㎡)	6,510.39	703.93	490.95	5,974.26	1,508.92	0.00	15,188.45
	構成比(%)	42.9	4.6	3.2	39.3	9.9	0.0	100.0
丘ノ上	面積(㎡)	10,317.75	0.00	870.01	207.19	672.78	0.00	12,067.73
	構成比(%)	85.5	0.0	7.2	1.7	5.6	0.0	100.0
新万郡	面積(㎡)	11,620.02	845.56	1,262.03	1,316.69	5,804.38	0.00	20,848.68
	構成比(%)	55.7	4.1	6.1	6.3	27.8	0.0	100.0
富田町	面積(㎡)	2,867.10	232.96	386.76	2,455.28	5,432.11	0.00	11,374.21
	構成比(%)	25.2	2.0	3.4	21.6	47.8	0.0	100.0
上塩淵	面積(㎡)	4,812.50	0.00	988.88	430.51	885.68	0.00	7,117.57
	構成比(%)	67.6	0.0	13.9	6.0	12.4	0.0	100.0
中 島	面積(㎡)	11,356.21	274.67	3,465.23	4,339.64	7,169.72	0.00	26,605.47
	構成比(%)	42.7	1.0	13.0	16.3	26.9	0.0	100.0
中 畑	面積(㎡)	14,739.45	0.00	2,205.90	1,328.95	1,401.40	0.00	19,675.70
	構成比(%)	74.9	0.0	11.2	6.8	7.1	0.0	100.0
川 西	面積(㎡)	25,832.00	0.00	492.11	528.22	1,265.22	0.00	28,117.55
	構成比(%)	91.9	0.0	1.8	1.9	4.5	0.0	100.0
伊 谷	面積(㎡)	10,285.46	0.00	1,614.65	0.00	2,046.46	0.00	13,946.57
	構成比(%)	73.7	0.0	11.6	0.0	14.7	0.0	100.0
中 組	面積(㎡)	17,034.15	0.00	3,214.45	1,128.66	8,907.53	0.00	30,284.79
	構成比(%)	56.2	0.0	10.6	3.7	29.4	0.0	100.0
中 部	面積(㎡)	4,307.42	0.00	977.29	1,457.09	662.71	0.00	7,404.51
	構成比(%)	58.2	0.0	13.2	19.7	9.0	0.0	100.0
黒川渡	面積(㎡)	4,137.41	0.00	109.07	273.38	556.04	0.00	5,075.90
	構成比(%)	81.5	0.0	2.1	5.4	11.0	0.0	100.0
杭ノ原	面積(㎡)	8,263.40	0.00	753.60	163.29	174.72	0.00	9,355.01
	構成比(%)	88.3	0.0	8.1	1.7	1.9	0.0	100.0
用途地域 指定区域	面積(㎡)	209,846.05	3,188.66	24,462.68	41,722.69	53,174.60	1,612.90	334,007.58
	構成比(%)	62.8	1.0	7.3	12.5	15.9	0.5	100.0

資料：固定資産土地・家屋課税データ(令和元年12月31日)

C0401-6② 建物年齢別現況

用途地域指定区域の全建物の棟数は2,820棟であり、建物年齢別に割合の多い順番にみると30年以上2,188棟(77.6%)、20～24年203棟(7.2%)、25～29年166棟(5.9%)、15～19年135棟(4.8%)、10～14年54棟(1.9%)、0～4年42棟(1.5%)、5～9年32棟(1.1%)で全体の約7割が30年以上の建物となっている。

建物年齢を地区別にみると、全地区において30年以上の建物が最も多い割合を占めており、特に高い割合を占めているのは本町、門前、旭町、上ノ段、中畑、山平、八沢で80%を超えている。一方、建物年齢が比較的若い地区は新町で、14年以下の建物が地区の13.6%を占めている。

表4-4 地区別建物年齢別現況

地区名		0～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上 (S57以降)	30年以上 (S56以前)	全建物 棟数
旭町	棟数(棟)	1	1	0	2	6	9	14	102	135
	構成比(%)	0.7	0.7	0.0	1.5	4.4	6.7	10.4	75.6	100.0
青木町	棟数(棟)	0	6	1	9	3	3	4	41	67
	構成比(%)	0.0	9.0	1.5	13.4	4.5	4.5	6.0	61.2	100.0
新町	棟数(棟)	3	0	3	2	6	2	3	25	44
	構成比(%)	6.8	0.0	6.8	4.5	13.6	4.5	6.8	56.8	100.0
門前	棟数(棟)	1	0	3	3	2	2	12	63	86
	構成比(%)	1.2	0.0	3.5	3.5	2.3	2.3	14.0	73.3	100.0
城山	棟数(棟)	2	2	3	6	16	4	16	88	137
	構成比(%)	1.5	1.5	2.2	4.4	11.7	2.9	11.7	64.2	100.0
大手町	棟数(棟)	0	0	0	7	3	2	10	33	55
	構成比(%)	0.0	0.0	0.0	12.7	5.5	3.6	18.2	60.0	100.0
関町	棟数(棟)	1	1	0	1	1	4	9	20	37
	構成比(%)	2.7	2.7	0.0	2.7	2.7	10.8	24.3	54.1	100.0
上町	棟数(棟)	0	3	0	2	9	7	3	71	95
	構成比(%)	0.0	3.2	0.0	2.1	9.5	7.4	3.2	74.7	100.0
本町	棟数(棟)	1	0	5	1	3	4	9	114	137
	構成比(%)	0.7	0.0	3.6	0.7	2.2	2.9	6.6	83.2	100.0
山平	棟数(棟)	4	2	5	9	6	9	18	155	208
	構成比(%)	1.9	1.0	2.4	4.3	2.9	4.3	8.7	74.5	100.0
上ノ段	棟数(棟)	0	2	1	10	2	3	7	95	120
	構成比(%)	0.0	1.7	0.8	8.3	1.7	2.5	5.8	79.2	100.0
八沢	棟数(棟)	1	0	0	6	7	9	17	92	132
	構成比(%)	0.8	0.0	0.0	4.5	5.3	6.8	12.9	69.7	100.0
丘ノ上	棟数(棟)	2	2	3	11	5	6	13	94	136
	構成比(%)	1.5	1.5	2.2	8.1	3.7	4.4	9.6	69.1	100.0
新万郡	棟数(棟)	2	0	4	0	14	20	16	82	138
	構成比(%)	1.4	0.0	2.9	0.0	10.1	14.5	11.6	59.4	100.0
富田町	棟数(棟)	0	0	1	8	3	3	8	47	70
	構成比(%)	0.0	0.0	1.4	11.4	4.3	4.3	11.4	67.1	100.0
上塩淵	棟数(棟)	1	1	0	3	5	7	7	42	66
	構成比(%)	1.5	1.5	0.0	4.5	7.6	10.6	10.6	63.6	100.0
中島	棟数(棟)	1	0	8	7	23	16	31	110	196
	構成比(%)	0.5	0.0	4.1	3.6	11.7	8.2	15.8	56.1	100.0
中畑	棟数(棟)	6	2	3	6	10	3	11	148	189
	構成比(%)	3.2	1.1	1.6	3.2	5.3	1.6	5.8	78.3	100.0
川西	棟数(棟)	2	3	2	25	27	21	19	121	220
	構成比(%)	0.9	1.4	0.9	11.4	12.3	9.5	8.6	55.0	100.0
伊谷	棟数(棟)	5	1	1	5	11	3	9	71	106
	構成比(%)	4.7	0.9	0.9	4.7	10.4	2.8	8.5	67.0	100.0
中組	棟数(棟)	7	3	2	3	22	12	39	137	225
	構成比(%)	3.1	1.3	0.9	1.3	9.8	5.3	17.3	60.9	100.0
中部	棟数(棟)	1	1	1	5	8	6	7	47	76
	構成比(%)	1.3	1.3	1.3	6.6	10.5	7.9	9.2	61.8	100.0
黒川渡	棟数(棟)	0	0	4	2	4	7	3	29	49
	構成比(%)	0.0	0.0	8.2	4.1	8.2	14.3	6.1	59.2	100.0
杭ノ原	棟数(棟)	1	2	4	2	7	4	13	63	96
	構成比(%)	1.0	2.1	4.2	2.1	7.3	4.2	13.5	65.6	100.0
用途地域 指定区域	棟数(棟)	42	32	54	135	203	166	298	1,890	2,820
	構成比(%)	1.5	1.1	1.9	4.8	7.2	5.9	10.6	67.0	100.0

資料:固定資産土地・家屋課税データ(令和元年12月31日)

図4-4 地区別・用途別建物延べ床面積現況(用途地域指定区域)

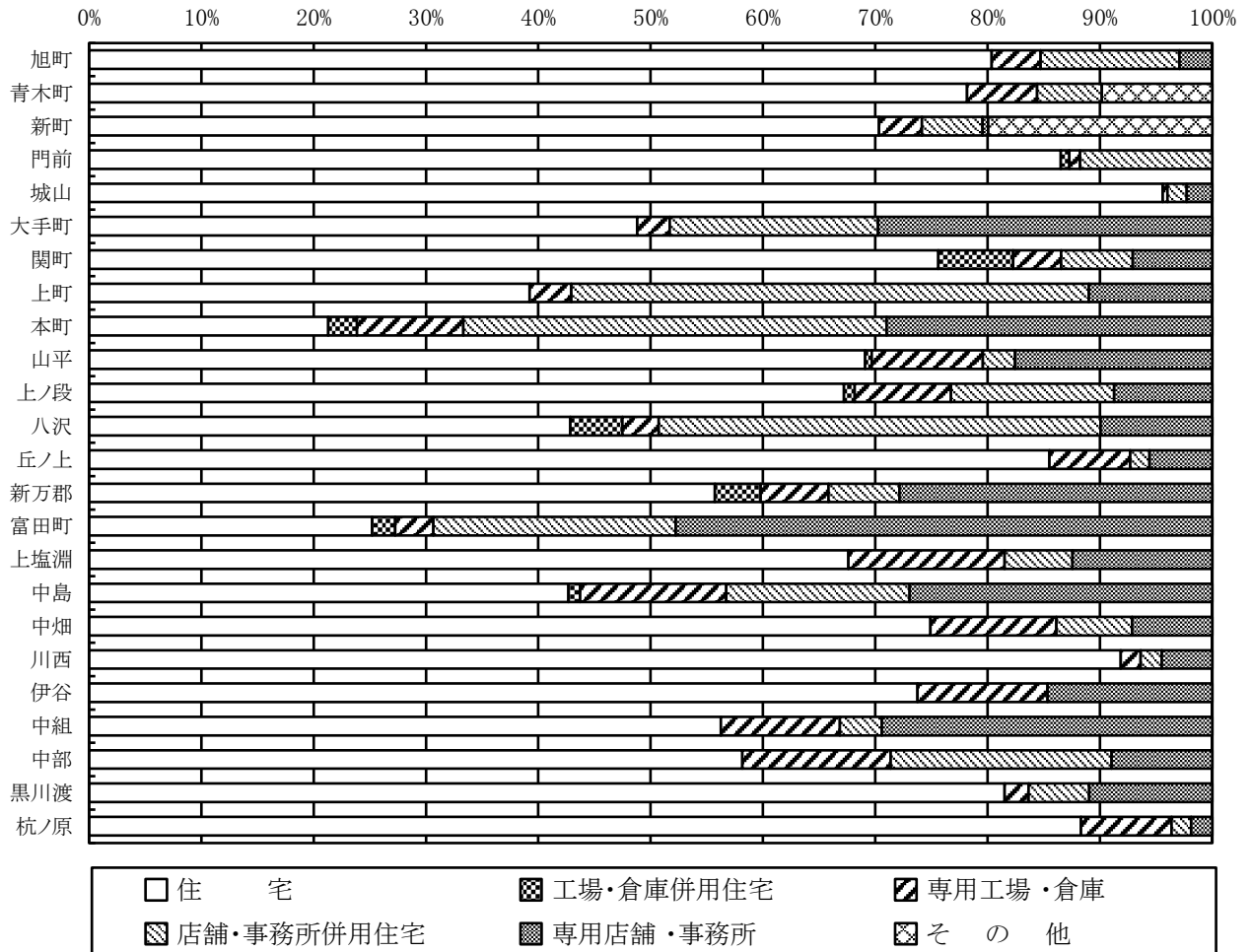
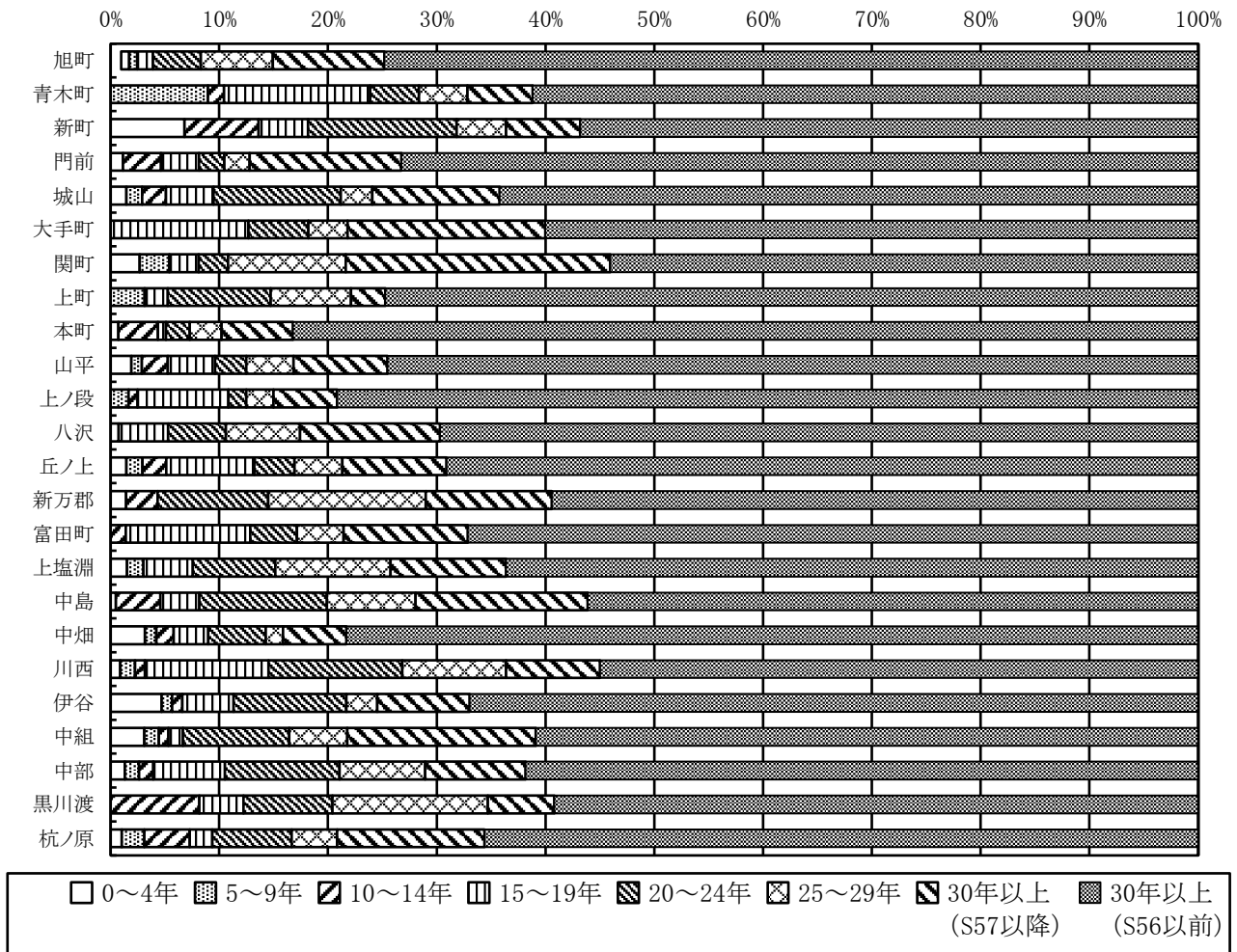


図4-5 地区別建物年齢別現況(用途地域指定区域)



C0402 大規模小売店舗等の立地状況

本町における大規模小売店舗立地法に基づく届出の状況は、大規模小売店舗が3店舗となっている。

表4-5 大規模小売店舗等の立地状況

大規模小売店舗※1	大規模集客施設※1	開設年	延床面積(m ²)	施設用途	
				施設名称	分類※2
○		平成2年11月19日	1,454	木曾ミスボウル	専(ホームセンター)
○		平成3年11月21日	2,274	イオン木曾福島店	スーパー
○		平成19年9月30日	1,703	JA木曾総合施設	生協・農協

※1 該当するものに○を記載。(大規模集客施設は、建築基準法に基づく大規模集客施設(床面積1万m²超の店舗、映画館、アミューズメント施設、展示場等)に当てはまるもの)

※2 大規模小売店舗については「食品スーパー」「百貨店・スーパー・ショッピングセンター・寄合百貨店・小売市場」「ホームセンター・専門店(家具・家電・書籍等)」、「その他」に区分、大規模小売店舗でない大規模集客施設は「店舗以外」とする。

資料:産業労働部 創業・サービス産業振興室 大規模小売店舗一覧(令和2年3月31日現在)

5. 都市施設

C0501① 都市施設調書

都市施設の整備状況は、都市計画道路については現在9路線8.4kmが都市計画決定されており、その整備状況は令和元年度末現在2.61kmで、整備率は31.1%となっている。

都市公園については、都市計画決定したものはないが、開設済み公園は2カ所、2.30haで、都市計画区域人口(平成27年4,817人)1人当たり面積は、4.8m²となっている。

公共下水道整備は、計画面積290haの整備が完了している。

表5-1 都市施設の整備状況

決定年月日	都市施設名称	都市計画決定事項	事業期間
昭和25年6月9日	3・5・1 国道19号線	延長2,700m 幅員12m	昭和55年2月20日
昭和25年6月9日	3・6・2 城山線	延長500m 幅員8~12m	昭和55年2月20日
昭和25年6月9日	3・6・3 開田福島線	延長1,100m 幅員12m	昭和55年2月20日
昭和25年6月9日	3・6・4 駅西線	延長500m 幅員8m	昭和55年2月20日
昭和25年6月9日	3・7・5 福島停車場線	延長1,200m 幅員6m	昭和55年2月20日
昭和25年6月9日	3・7・6 福島駒ヶ岳線	延長1,200m 幅員6m	昭和55年2月20日
昭和25年6月9日	3・6・7 福島三岳線	延長1,000m 幅員8m	昭和55年2月20日
昭和25年6月9日	3・5・8 中島中畑線	延長300m 幅員12m	昭和55年2月20日
昭和25年6月9日	3・7・9 上町山平線	延長600m 幅員6m	昭和55年2月20日
		計 8.4km	完了済 2.61km
平成12年6月22日	公共下水道 木曾福島処理区	計画面積 290ha 計画人口 4,740人	自:平成14年 至:令和3年

6. 交通

C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度

本町の主要道路の平成27年における12時間交通量は、一般国道19号が約8,600台～12,000台と多く、次いで推定値ではあるが一般県道鳥居本町線が6,761台、一般国道361号(日義547)の2,992台、主要地方道 開田三岳福島線(三岳9522)の2,936台、一般国道361号(新開5146)の2,657台などとなっている。

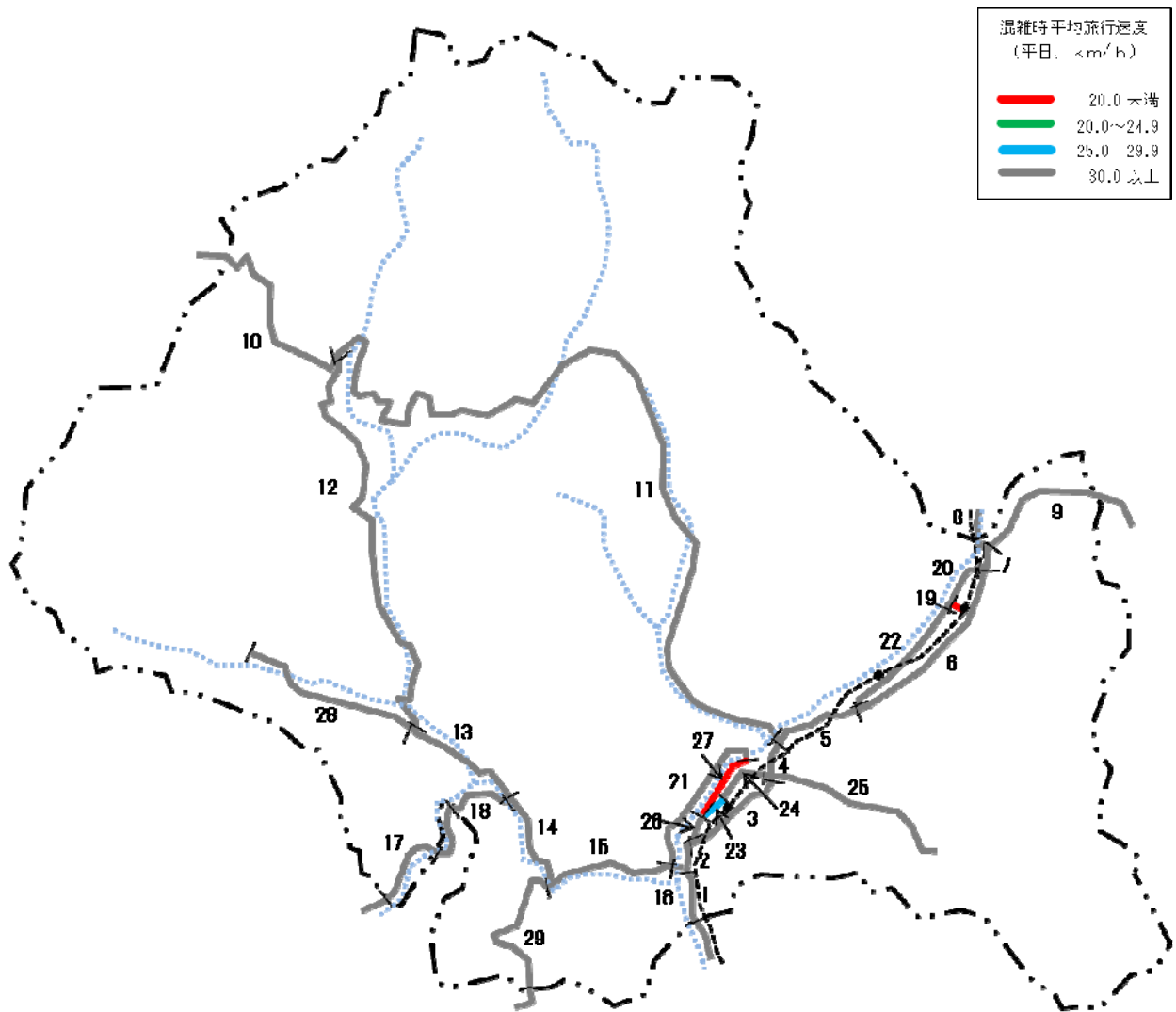
表6-1 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度(平成27年)

路線名	観測地点名	平日12時間 交通量	平日24時間 交通量	大型車 混入率	混雑度	混雑時平均 旅行速度
		台	台	%		上り
1 一般国道19号	木曾郡木曾町新開	8,605	11,942	30.8	1.41	43.0
2 一般国道19号	木曾郡木曾町新開	8,605	11,942	30.8	1.36	47.0
3 一般国道19号	木曾郡木曾町新開	8,605	11,942	30.8	1.43	47.3
4 一般国道19号	木曾郡木曾町新開	8,605	11,942	30.8	1.43	36.5
5 一般国道19号	木曾郡木曾町日義	11,920	15,673	23.2	1.57	43.1
6 一般国道19号	木曾郡木曾町日義	11,920	15,673	23.2	1.57	44.7
7 一般国道19号	木曾郡木曾町日義	9,903	13,602	26.4	1.48	40.0
8 一般国道19号	木曾郡木曾町日義	9,903	13,602	26.4	1.48	40.9
9 一般国道361号	木曾郡木曾町日義547	2,992	3,710	18.2	0.47	44.2
10 一般国道361号	木曾郡木曾町開田高原西野6063	337	380	8.9	0.04	46.2
11 一般国道361号	木曾郡木曾町新開5146	2,657	3,268	8.9	0.38	49.7
12 主要地方道 開田三岳福島線	木曾郡木曾町開田高原西野6850	513	585	5.5	0.09	43.4
13 主要地方道 開田三岳福島線	木曾郡木曾町三岳3788	1,381	1,657	10.4	0.18	44.1
14 主要地方道 開田三岳福島線	木曾郡木曾町三岳9522	2,936	3,611	8.7	0.54	41.0
15 主要地方道 開田三岳福島線	木曾郡木曾町三岳9522	2,936	3,611	8.7	0.54	44.0
16 主要地方道 開田三岳福島線	木曾郡木曾町三岳9522	2,936	3,611	8.7	0.54	38.8
17 一般県道 御岳王滝黒沢線	木曾郡木曾町三岳9111	1,452	1,728	13.5	0.38	50.1
18 一般県道 御岳王滝黒沢線	木曾郡木曾町三岳9111	1,452	1,728	13.5	0.41	46.3
19 一般県道 宮ノ越停車場線	-	648	739	13.7	0.43	13.7
20 一般県道 宮ノ越停車場線	-	648	739	13.7	0.43	39.2
21 一般県道 川合中畑線	-	547	624	2.1	0.10	34.2
22 一般県道 オコシ宮ノ越停車場線	木曾郡木曾町日義 下町集会所	1,306	1,541	4.0	1.10	42.7
23 一般県道 木曾福島停車場線	-	2,207	2,670	4.1	0.35	27.0
24 一般県道 木曾福島停車場駒ヶ岳線	木曾郡木曾町福島伊谷1249-1	2,105	2,526	5.4	0.43	33.2
25 一般県道 木曾福島停車場駒ヶ岳線	-	1,115	1,327	9.9	0.17	30.1
26 一般県道 鳥居本町線	-	6,761	8,722	5.9	0.65	33.8
27 一般県道 鳥居本町線	-	6,761	8,722	5.9	0.65	16.4
28 一般県道 上松御岳線	-	1,160	1,392	8.4	0.65	34.7
29 一般県道 上松御岳線	-	1,645	1,974	16.0	0.35	36.5

注) 斜体の数値は推定値。

資料: 平成27年度 全国道路交通情勢調査(道路交通センサス)

図6-1 混雑時平均旅行速度分布図(平成27年)



C0603 鉄道・路面電車等の状況

本町の主要駅はJR中央本線の木曽福島駅である。平成29年の一日平均乗車人員は、754人で平成4年以降減少傾向が続いている。宮ノ越駅は平成5年、原野駅は平成10年を境に減少傾向が続いている。

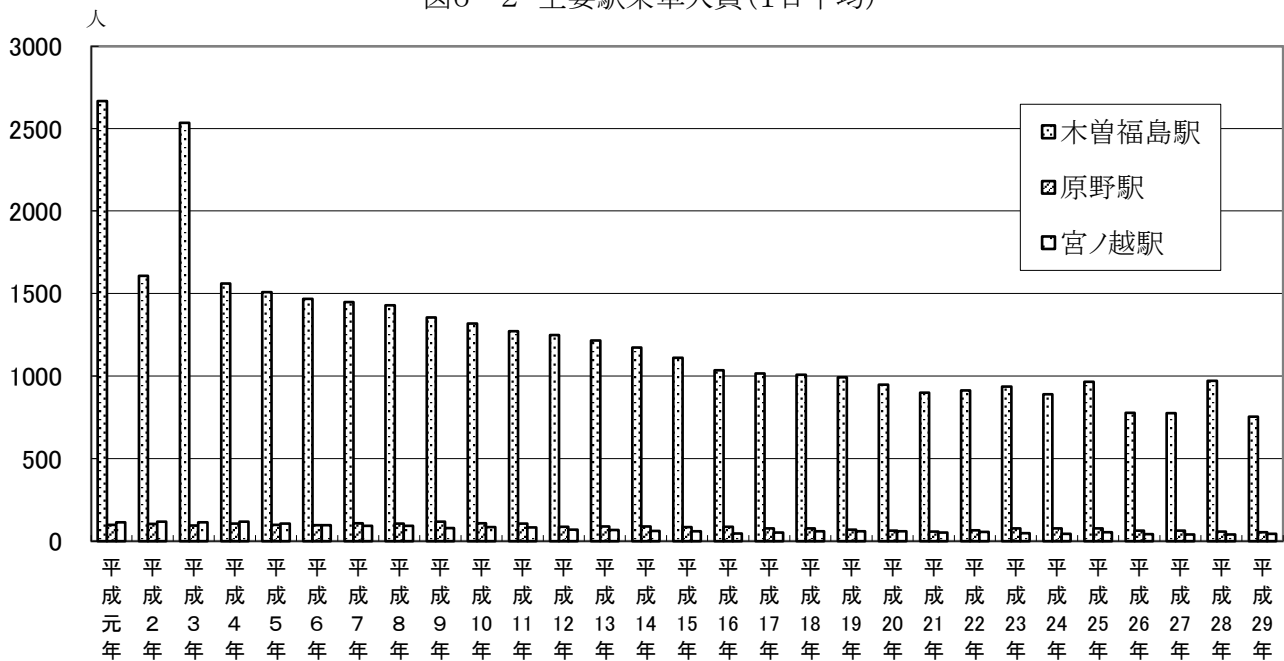
表6-2 主要駅乗車人員(1日平均)

単位:人

年次	木曽福島駅	原野駅	宮ノ越駅	年次	木曽福島駅	原野駅	宮ノ越駅
平成元年	2,666	98	113	平成16年	1,034	85	46
平成2年	1,607	103	117	平成17年	1,016	77	51
平成3年	2,535	93	114	平成18年	1,007	76	58
平成4年	1,561	106	117	平成19年	991	68	58
平成5年	1,509	98	106	平成20年	948	63	58
平成6年	1,468	95	96	平成21年	899	57	51
平成7年	1,447	108	92	平成22年	912	64	54
平成8年	1,428	105	91	平成23年	936	76	47
平成9年	1,355	117	78	平成24年	889	76	43
平成10年	1,318	107	83	平成25年	964	77	53
平成11年	1,271	105	82	平成26年	776	63	41
平成12年	1,248	85	69	平成27年	774	63	40
平成13年	1,215	87	66	平成28年	971	57	40
平成14年	1,172	88	60	平成29年	754	52	43
平成15年	1,111	83	58				

資料:長野県統計書

図6-2 主要駅乗車人員(1日平均)



7. 地 価

C0701 地価の状況

令和2年の地価調査地点は10箇所あり、そのうち3箇所が地価公示、7箇所は長野県地価調査である。

調査地点別土地価格は、商業地域が31,300～33,000円/㎡、住宅系地域は第1種住居地域が24,600円/㎡、第1種中高層住居専用地域が15,900～18,600円/㎡、第2種中高層住居専用地域が18,400円/㎡となっている。

過去5年間における地価変動の推移は、全ての地点において土地価格が下落しており、商業地域で19～22%、住宅系地域(都市計画区域内)は16～19%価格が下がっている。

表7-1 地価の変動

地番又は住居表示	年度	価格 (円/㎡)	変化 (%)	土地利用の状況	調査種別
木曾福島町新開4977番7	平成12年	36,900	△	第2種中高層住居専用地域	長野県 地価調査
〃	平成17年	30,700	△ 20.2	〃	
木曾町新開4977番7	平成22年	26,900	△ 14.1	中規模一般住宅が多い新興住宅地域	
〃	平成27年	21,700	△ 24.0	〃	
〃	令和2年	18,400	△ 17.9	〃	
木曾福島町1993番1	平成12年	39,400	△	第1種中高層住居専用地域	長野県 地価調査
〃	平成17年	32,000	△ 23.1	〃	
木曾町福島1993番1	平成22年	27,500	△ 16.4	中規模一般住宅が建ち並ぶ駅裏の住宅地域	
〃	平成27年	21,800	△ 26.1	〃	
〃	令和2年	18,600	△ 17.2	〃	
日義村2748番3	平成12年	12,900	△	都市計画区域外 住宅	長野県 地価調査
〃	平成17年	12,400	△ 4.0	〃	
木曾町日義2748番3	平成22年	11,900	△ 4.2	〃	
〃	平成27年	10,800	△ 10.2	〃	
〃	令和2年	9,720	△ 11.1	〃	
日義村3228番1	平成12年	16,100	△	都市計画区域外 住宅	長野県 地価調査
〃	平成17年	15,400	△ 4.5	〃	
木曾町日義3228番1	平成22年	14,800	△ 4.1	〃	
〃	平成27年	12,600	△ 17.5	〃	
〃	令和2年	11,400	△ 10.5	〃	
開田村大字西野4667番	平成12年	4,770	△	都市計画区域外 住宅	長野県 地価調査
〃	平成17年	4,730	△ 0.8	〃	
木曾町開田高原西野4667番	平成22年	4,690	△ 0.9	〃	
〃	平成27年	4,360	△ 7.6	〃	
〃	令和2年	4,020	△ 8.5	〃	
三岳村6363番1	平成12年	9,850	△	都市計画区域外 住宅	長野県 地価調査
〃	平成17年	9,650	△ 2.1	〃	
木曾町三岳6363番1	平成22年	9,270	△ 4.1	〃	
〃	平成27年	8,370	△ 10.8	〃	
〃	令和2年	7,230	△ 15.8	〃	
木曾福島町5383番2	平成12年	121,000	△	商業地域	長野県 地価調査
〃	平成17年	64,700	△ 87.0	〃	
木曾町福島5383番2	平成22年	51,400	△ 25.9	小売店舗が建ち並ぶ商業地域	
〃	平成27年	37,400	△ 37.4	〃	
〃	令和2年	31,300	△ 19.5	〃	
木曾福島町字堅門前5751番3	平成12年	54,200	△	第1種住居地域	国土交通省 地価公示
〃	平成17年	44,900	△ 20.7	〃	
木曾町福島5751番3	平成22年	36,700	△ 22.3	一般住宅が建ち並ぶ木曾川北側の既成住宅地域	
〃	平成27年	29,300	△ 25.3	〃	
〃	令和2年	24,600	△ 19.1	〃	
木曾福島町6457番1	平成12年	31,600	△	第1種中高層住居専用地域	国土交通省 地価公示
〃	平成17年	27,600	△ 14.5	〃	
木曾町福島6457番1	平成22年	22,700	△ 21.6	一般住宅、寮等が混在する木曾川沿いの住宅地域	
〃	平成27年	18,400	△ 23.4	〃	
〃	令和2年	15,900	△ 15.7	〃	
木曾福島町5142番1	平成12年	132,000	△	商業地域	国土交通省 地価公示
〃	平成17年	72,100	△ 83.1	〃	
木曾町福島5142番1	平成22年	50,400	△ 43.1	低層の小売り店舗が建ち並ぶ中心的商業地域	
木曾町福島5143番1	平成27年	40,200	△ 25.4	〃	
〃	令和2年	33,000	△ 21.8	〃	

※平成17年の町村名は、合併以前の名称。(木曾福島町・日義村・開田村・三岳村→木曾町)資料:長野県地価調査・地価公示

8. 自然的環境等

C0802 気象状況

本町の海拔は700mを越える高い地域で、気温は年較差、日較差の大きい典型的な内陸性気候を示し、平成22年から令和2年までの10年間の最高気温は36.1℃、最低気温は-15.9℃とその較差は著しく、冬季において降雪量は少ないものの寒さが厳しい。しかしながら、太平洋岸の影響を受けるため県内の他地域と比べると、同10年間における平均気温は、約10.8℃と比較的温暖で、全体としては過ごしやすい穏やかな気候となっている。

表8-1 気象概況

年	気 温 (℃)			降 水 量 (mm)		最 多 風 向	最 大 風 速 時 風 向
	平 均	最 高	最 低	総 量	日 最 大 降 水 量		
平成22年	11.2	35.4	-11.2	2554.5	89.5	南 西)	南 南 西
平成23年	10.6	33.8	-13.8	2118.0	117.0	南 西)	南 西
平成24年	10.5	34.1	-15.9	1720.0	71.0	南 西)	南 西
平成25年	12.0	34.2	-14.4	1744.5	84.0	南 西)	南 南 西
平成26年	6.5	27.8	-11.4	1803.0	93.0	南 西)	西 南 西
平成27年	11.2	34.2	-12.5	2064.0	71.0	南 西)	南
平成28年	11.8	34.5	-14.6	2125.5	84.0	南 西)	南 西
平成29年	10.5	33.3	-13.5	1533.5	82.0	南 西)	南 西
平成30年	11.6	35.6	-14.4	2225.0	131.0	南 西)	南 南 西
令和元年	11.6	36.1	-11.0	1974.5	131.5	南 西)	南

注:)は対象資料が許容範囲で欠けている準正常値。(正常値(資料が欠けていない)と同等に扱う) 資料: 気象庁 気象統計情報 観測地点: 木曽福島

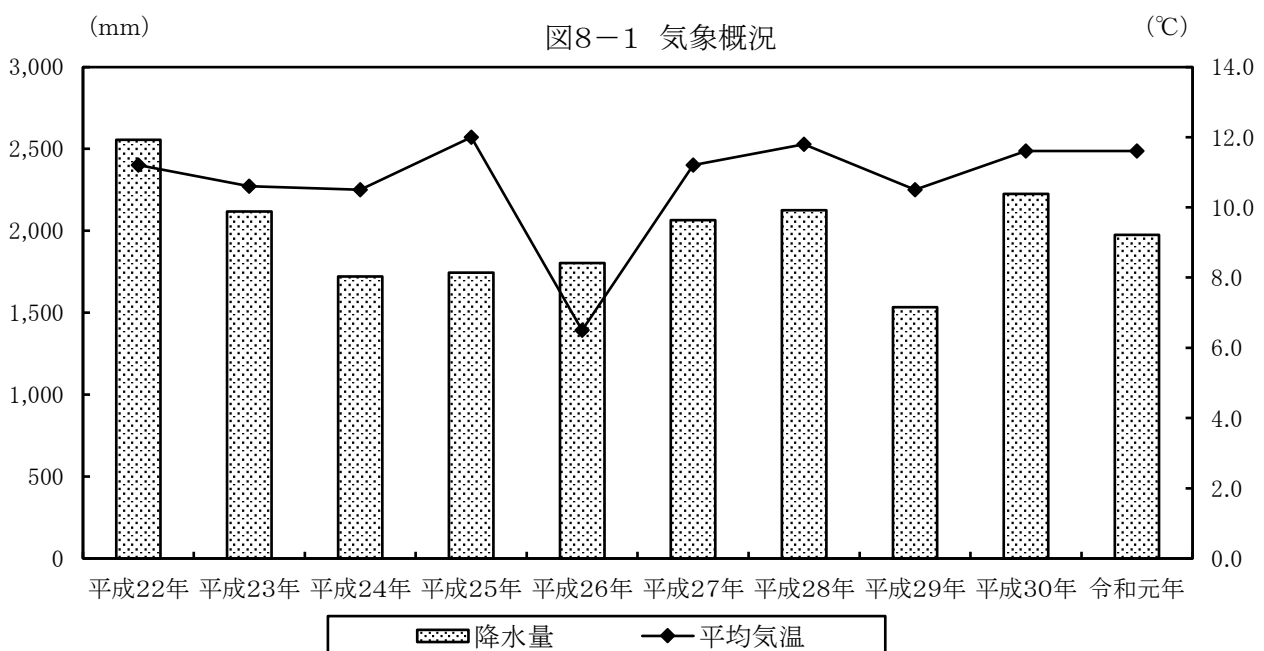
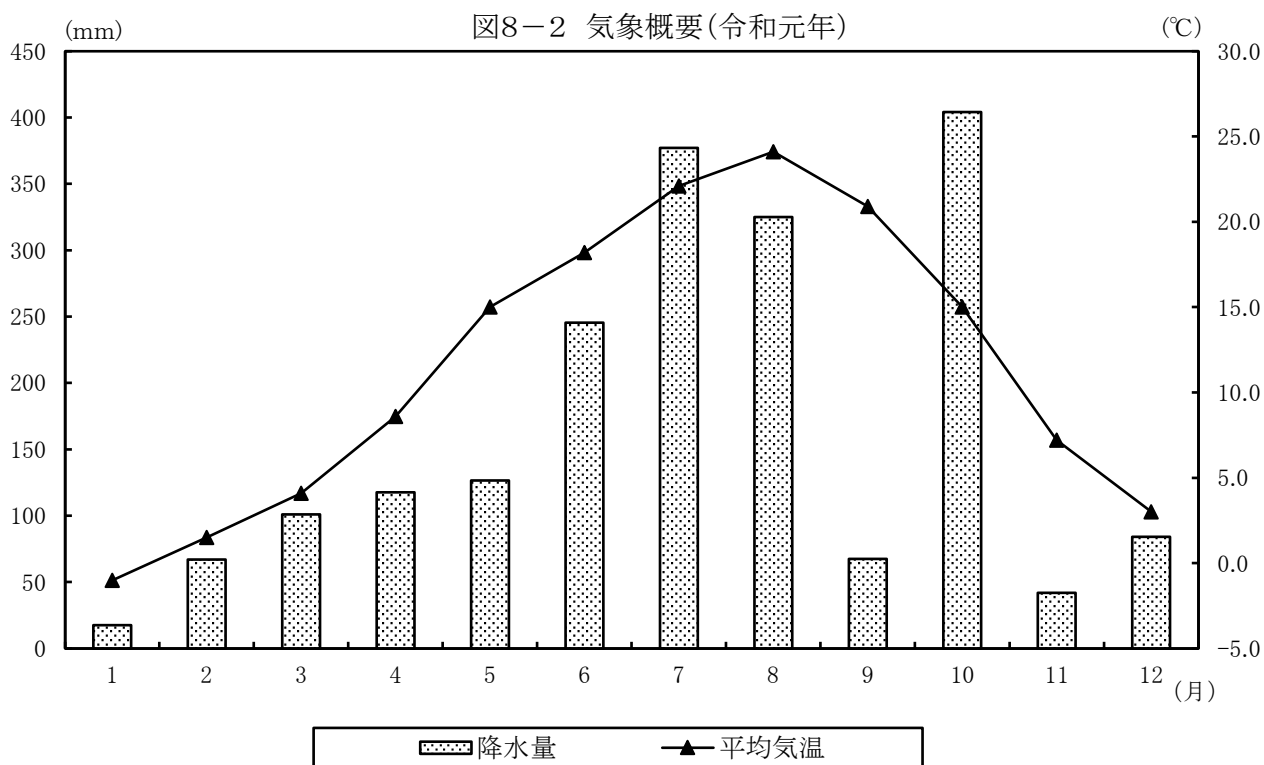


表8-2 気象概要(令和元年)

月	気 温 (°C)			降 水 量 (mm)		最 風 多 向	最 大 風 速 時 風 向
	平 均	最 高	最 低	総 量	日 最 大 降 水 量		
1	-1.0	10.8	-11.0	17.5	8.0	南 南 西	南 西
2	1.5	16.8	-9.5	67.0	25.0	北 北 東)	南 西
3	4.1	20.3	-6.7	101.0	21.5	南 西)	南 南 西
4	8.6	26.0	-5.5	117.5	42.5	南 西)	南 南 西
5	15.0	31.3	-0.9	126.5	67.5	南 西	北 北 東
6	18.2	29.5	10.1	245.5	47.0	南 西	南 南 西
7	22.1	34.4	17.0	377.0	103.5	南 西)	北 北 東
8	24.1	36.1	13.7	325.0	70.0	南 西	南
9	20.9	32.7	10.3	67.5	21.5	北 北 東	南 西
10	15.0	28.8	6.8	404.0	131.5	北 北 東	北 北 東
11	7.2	20.9	-3.7	42.0	14.0	北 北 東	南
12	3.0	15.8	-6.2	84.0	32.5	北 北 東)	南

注:)は対象資料が許容範囲で欠けている準正常値。(正常値(資料が欠けていない)と同等に扱う) 資料:気象庁 気象統計情報
観測地点:木曾福島



C0803 緑の状況

都市計画区域における現存緑地面積は394.1haであり、そのうち山林が75.0%、農地等が10.4%となっており、この2種類で85.4%を占めている。その他の緑地では水面が4.9%、水辺が3.9%、学校・企業厚生施設等が2.9%、公共緑地が1.3%、社寺等が1.4%などとなっている。

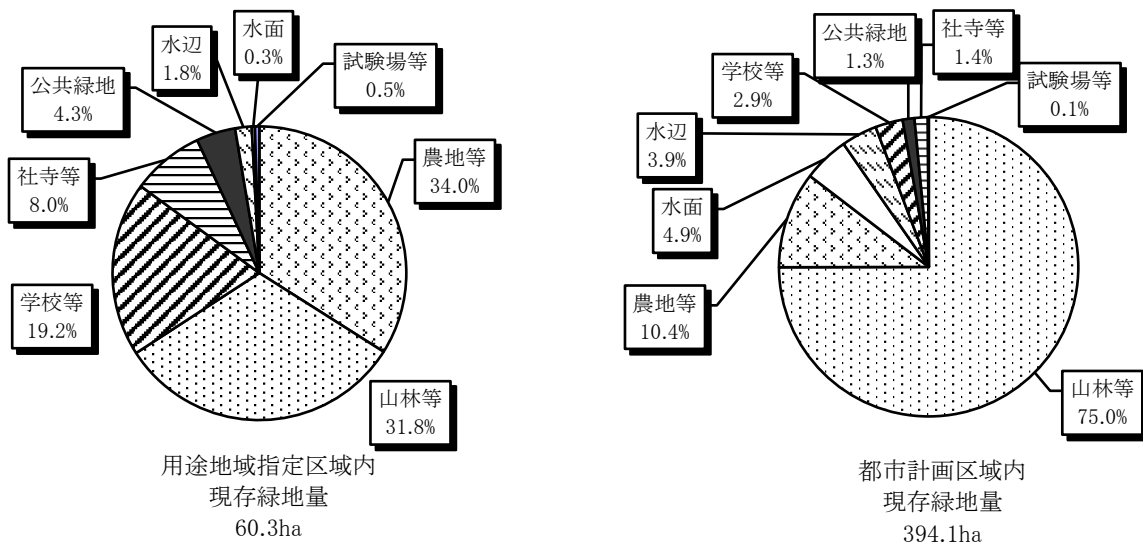
用途地域指定区域における現存緑地面積は60.3haで、都市計画区域の全緑地面積の15.3%を占めている。そのうち農地等が現存緑地全体の34.0%、山林等が31.8%、学校・企業厚生施設等が19.2%、社寺等が8.0%、公共緑地が4.3%などとなっており、用途地域指定区域にも広い面積の山林や農地が残されている。

表8-3 現存緑地量の計量

(単位:ha)

区 分	用 途 地 域 指 定 区 域			用途地域指定外区域 (4)	都市計画区域 (3)+(4)=(5)	
	人口集中 地区 (1)	(1)を除く 区域 (2)	小 計 (1)+(2)=(3)			
公 共 緑 地	公 園 ・ 緑 地	-	1.1	1.1	0.1	1.2
	広 場 ・ 運 動 場	-	1.5	1.5	2.4	3.9
	墓 園	-	0.0	0.0	0.0	0.0
	そ の 他	-	-	0.0	-	0.0
そ の 他 の 緑 地	水面：河川・湖沼・水路	-	0.2	0.2	19.3	19.5
	水辺：海浜・河岸・湖畔	-	1.1	1.1	14.2	15.3
	山林・原野等に類するもの	-	19.2	19.2	276.3	295.5
	農地・牧草地等に類するもの	-	20.5	20.5	20.6	41.1
	社寺・境内地・墓地等に類するもの	-	4.8	4.8	0.8	5.6
	給排水その他処理施設の 公共公益施設附属緑地	-	0.0	0.0	0.0	0.0
	遊園地・私設公園・私設分区園等 に類する民営施設	-	0.0	0.0	0.0	0.0
	共同住宅・工場緑地等に類する施設	-	0.0	0.0	0.0	0.0
	学校・企業厚生施設等に類する施設	-	11.6	11.6	0.0	11.6
	林業試験場・農業試験場等 に類する施設	-	0.3	0.3	0.1	0.4
合 計	0.0	60.3	60.3	333.8	394.1	

図8-3 現存緑地量の計量



9. 災害

C0901 災害の発生状況

過去10年間に大規模な災害は発生していないが、近年豪雨による災害が増えており、災害への備えが重要視されている。

C0902 防災拠点・避難場所

居住者、滞在者等の生命、身体の安全を確保するために、避難予定場所を地域毎に定めており、災害時の避難場所として、災害時の避難所、避難場所として、避難施設105箇所が指定されている。

表9-1-1 防災拠点・避難場所

No.	地区	指定緊急避難場所 指定避難所	所在地	指定緊急避難場所					指定 避難所
				災害種類ごとの適否					
				洪水	土砂 災害	地震	大規模 火災	融雪 泥流	
1	福島	木曾町文化交流センター	福島 5129	△	×	○	○	○	△
	福島	木曾町文化交流センター前	福島 5129	×	×	○	○	○	
2	福島	福島小学校校庭	福島 5807-2	○	×	○	○	○	
	福島	福島小学校	福島 5807-2	○	×	○	○	○	△
3	福島	木曾郡民会館	福島 5808-3	×	×	×	○	○	△
4	福島	木曾福島保健センター	福島 5764-5	○	×	○	○	○	△
5	福島	木曾幼稚園	福島 1800-1	○	×	○	○	○	△
6	福島	山平クラブ	福島 4857-13	○	○	○	○	○	○
7	福島	木曾青峰高等学校体育館	福島 1827-2	○	○	○	○	○	○
8	福島	中島集会所	福島 6229-2	×	×	○	○	○	△
9	福島	老人憩の家	福島 2216	○	×	○	○	○	△
10	福島	木曾福島高齢者生活福祉センター	福島 6305	○	×	○	○	○	△
11	福島	川合生活改善センター	福島 7219	○	○	×	○	○	△
12	福島	北部クリーンセンター	福島 7720	○	×	○	○	○	△
13	福島	木曾福島浄化センター	福島 3767-1	○	×	○	○	○	△
14	福島	川上正沢公民館	福島 392-2	○	×	○	○	○	△
15	福島	大原分館	新開 180	○	×	×	○	○	△
16	福島	根曾生活改善センター	新開 1156-ハ	○	×	○	○	○	△
17	福島	旧上田小学校校庭	新開 1942	○	×	○	○	○	
	福島	旧上田小学校	新開 1937	○	×	×	○	○	△
18	福島	旧上田保育園	新開 2135	×	○	×	○	○	△
19	福島	中部コミュニティセンター	新開 2358	×	○	○	○	○	△
20	福島	木曾町中学校校庭	新開福 4112	×	○	○	○	○	
	福島	木曾町中学校	新開福 4112	△	×	○	○	○	△
21	福島	熊沢多目的集会所	新開 3099-1	○	×	○	○	○	△
22	福島	木曾福島体育館	新開 4371-1	○	×	○	○	○	△
23	福島	きそふくしま保育園	新開 4236-.5	○	×	○	○	○	△
24	福島	黒川下条農業生活改善センター	新開 5143-3	○	○	○	○	○	○
25	福島	御料館	福島 5471 番地 1	○	×	○	○	○	△
26	福島	西洞生活改善センター	新開 5879	○	×	○	○	○	△
27	福島	川西集会所	福島 6900-2	×	×	○	○	○	△
28	福島	ふるさと体験館きそふくしま広場	新開 6959	○	×	○	○	○	
	福島	ふるさと体験館きそふくしま	新開 6956-1	○	×	×	○	○	△
29	福島	下中入生活改善センター	新開 6436-1	○	×	○	○	○	△

資料:木曾町地域防災計画

表9-1-2 防災拠点・避難場所

No.	地区	指定緊急避難場所 指定避難所	所在地	指定緊急避難場所					指定 避難所
				災害種類ごとの適否					
				洪水	土砂 災害	地震	大規模 火災	融雪 泥流	
30	福島	上中入生活改善センター	新開 7574-1	○	×	○	○	○	△
31	福島	上小川生活改善センター	新開 8079-1	○	×	○	○	○	△
32	福島	上条生活改善センター	新開 9073-6	○	×	○	○	○	△
33	福島	ふれあい交流センター	新開 10202-イ	○	×	○	○	○	△
34	福島	木曽青峰高等学校校庭	福島 1827-2	○	○	○	○	○	
35	福島	木曽福島駅前公園	福島 2014-14	○	×	○	○	○	
36	福島	(旧)県民木曽運動広場	新開 129-1	○	×	○	○	○	
37	福島	町民相撲場	新開 1305	○	×	○	○	○	
38	日義	神谷集会所	日義 757	○	×	○	○	○	△
39	日義	砂ヶ瀬センター	日義 986-1	○	×	×	○	○	△
40	日義	野上生活改善センター	日義 1379-4	○	×	×	○	○	△
41	日義	德音寺コミュニティーセンター	日義 411-3	○	×	○	○	○	△
42	日義	向小路生活改善センター	日義 233-2	○	○	○	○	○	○
43	日義	巾生活改善センター	日義 2273-1	○	×	×	○	○	△
44	日義	旭町生活改善センター	日義 2414-2	○	×	○	○	○	△
45	日義	義仲館	日義 290-1	○	○	○	○	○	○
46	日義	上町集会所	日義 2428	○	×	○	○	○	△
47	日義	山吹館	日義 94-1	○	×	×	○	○	△
48	日義	本町集会所	日義 2460-2	○	○	×	○	○	△
49	日義	日義高齢者ふれあいセンター	日義 2657-2	○	○	○	○	○	○
50	日義	下町会館	日義 1837-1	○	×	○	○	○	△
51	日義	日義小中学校校庭	日義 1795	○	×	○	○	○	
	日義	日義小中学校	日義 1795	○	×	○	○	○	△
52	日義	日義農村環境改善センター	日義 1620-1	○	○	○	○	○	○
53	日義	上村生活改善センター	日義 1597-5	○	○	×	○	○	△
54	日義	日義公民館駐車場	日義 1600-1	○	○	○	○	○	
	日義	日義公民館	日義 1600-1	○	○	○	○	○	○
55	日義	日義保育園	日義 1590-3	○	○	○	○	○	○
56	日義	日義保健センター	日義 1622-1	○	○	×	○	○	△
57	日義	日義体育館	日義 3623	○	×	○	○	○	△
58	日義	日義高齢者コミュニティーセンター	日義 3897-2	○	×	○	○	○	△
59	日義	日義高齢者生きがい創造センター	日義 4313-2	○	○	○	○	○	○
60	日義	原野分館	日義 3433	○	○	○	○	○	○
61	日義	元原生活改善センター	日義 5246-1	○	○	○	○	○	○
62	日義	小沢センター	日義 3120-2	○	○	○	○	○	○
63	日義	駒見生活改善センター	日義 4789-12	○	○	○	○	○	○
64	日義	新地アクティビティーセンター	日義 5180-5	○	○	○	○	○	○
65	日義	中川生活改善センター	日義 4422-1	○	○	○	○	○	○
66	日義	渡沢集会所	日義 4983-1	○	×	○	○	○	△
67	日義	正沢原分館	日義 4898-37	○	○	○	○	○	○
68	日義	日義野球場	日義 3622	○	×	○	○	○	
69	日義	木曽駒森林公園	日義 4898-30	○	×	○	○	○	
70	開田	西野分館	開田高原西野 2790-1	○	○	×	○	○	△
71	開田	把之沢分館	開田高原西野 616-8	○	×	×	○	○	△

資料:木曽町地域防災計画

表9-1-3 防災拠点・避難場所

No.	地区	指定緊急避難場所 指定避難所	所在地	指定緊急避難場所					指定 避難所
				災害種類ごとの適否					
				洪水	土砂 災害	地震	大規模 火災	融雪 泥流	
72	開田	末川分館	開田高原末川 5581	○	○	○	○	○	○
73	開田	開田小学校校庭	開田高原末川 2776	×	○	○	○	○	
	開田	開田小学校	開田高原末川 2776	△	○	○	○	○	△
74	開田	開田中学校校庭	開田高原西野 841	○	○	○	○	○	
	開田	開田中学校	開田高原西野 841	○	○	○	○	○	○
75	開田	開田高原末川研修センター	開田高原末川 1895-10	○	○	○	○	○	○
76	開田	開田高原西野研修センター	開田高原西野 2762-1	○	○	○	○	○	○
77	開田	下条生活改善センター	開田高原西野 6323-385	○	×	○	○	○	△
78	開田	開田母子健康センター	開田高原西野 618	○	×	○	○	○	△
79	開田	開田高原体育館	開田高原西野 5227-65	○	○	○	○	○	○
80	開田	旧西小学校校庭	開田高原西野 2776	○	○	○	○	○	
81	開田	開田高原総合運動場	開田高原西野 5227-65	○	○	○	○	×	
82	開田	駒背グラウンド	開田高原西野 3127	○	×	○	○	○	
83	開田	旧中学校グラウンド	開田高原西野 586	○	×	○	○	○	
84	三岳	三岳公民館	三岳 6311	○	×	×	○	○	△
85	三岳	三岳小学校校庭	三岳 6634	○	○	○	○	○	
	三岳	三岳小学校	三岳 6608-1	○	○	○	○	○	○
86	三岳	旧三岳中学校	三岳 6634-1	○	○	○	○	○	○
87	三岳	木曾町三岳交流促進センター	三岳 6452-1	○	×	○	○	○	△
88	三岳	三岳公民館北部分館庭	三岳 2002-4	○	×	○	○	○	
	三岳	北部分館	三岳 2002-4	○	×	×	○	○	△
89	三岳	中央部分館	三岳 3089-6	○	×	○	○	○	△
90	三岳	中部分館	三岳 3791-18	○	×	○	○	×	△
91	三岳	本洞分館	三岳 4542	○	○	○	○	○	○
92	三岳	三岳公民館三尾分館庭	三岳 8470-3	○	×	○	○	○	
	三岳	三尾分館	三岳 8470-3	○	×	×	○	○	△
93	三岳	沢頭集会所	三岳 1034-1	○	○	×	○	○	△
94	三岳	小奥集会所	三岳 761-1	○	×	×	○	○	△
95	三岳	倉本集会所	三岳 354-3	○	×	○	○	○	△
96	三岳	永井野集会所	三岳 1600	○	×	×	○	○	△
97	三岳	野中集会所	三岳 1798	○	×	×	○	○	△
98	三岳	井原地区集会所	三岳 2280	○	×	○	○	○	△
99	三岳	屋敷野地区集会所	三岳 2969-2	○	×	○	○	○	△
100	三岳	小島集会所	三岳 9244-1	○	○	○	○	○	○
101	三岳	日向生活改善センター	三岳 9797	○	×	×	○	○	△
102	三岳	桑原地区集会所	三岳 8727-1	○	×	○	○	○	△
103	三岳	白川地区集会所	三岳 2579	○	○	○	○	○	○
104	三岳	三岳野球場	三岳 10823	○	×	○	○	×	
105	三岳	太陽の丘公園	三岳 3772	○	×	○	○	×	

資料:木曾町地域防災計画